

8

令和4年度

主要な施策の成果に関する報告書

< その2 >

多賀城市まちづくり報告書

(第六次多賀城市総合計画進捗状況報告)

令和5年9月

多 賀 城 市

目 次

8<その2>

この報告書は、3分冊で構成されています。この冊子は「8<その2>」です。

1	多賀城市まちづくり報告書(第六次多賀城市総合計画進捗状況報告)とは	
(1)	施策別評価の概要	3
2	全体の動向	
(1)	将来都市像指標の動き	4
(2)	指標全体のうごき(施策・基本事業別)	4
(3)	政策別の指標全体のうごき(施策・基本事業合計)	5
(4)	指標全体の目標達成度(施策・基本事業別)	6
(5)	政策別の指標全体の目標達成度(施策・基本事業合計)	7
3	施策・基本事業の動向(成果指標等一覧)	
(1)	施策・基本事業評価の見方	8
	政策1	みんなの力で減災 安全で安心に暮らせるまちづくり(安全安心) 11
	政策2	健やかで優しい 支え合いのあるまちづくり(健康福祉) 23
	政策3	夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり(教育文化) 47
	政策4	都市と自然の環境調和 快適で潤いのあるまちづくり(生活環境) 63
	政策5	地域の資源と知恵をいかす 活気あふれるまちづくり(産業活気) 77
	政策6	地域の未来を共に創る 絆と誇りを築くまちづくり(地域創生) 89
	政策7	縮減社会への対応 持続可能な行財政経営(行財政経営) 97
	(参考)多賀城市まちづくりアンケート調査結果<令和4年度実施>	109

この「主要な施策の成果に関する報告書」は、第六次多賀城市総合計画に基づく令和4年度の事業と決算のあらましについて、3分冊で構成されています。

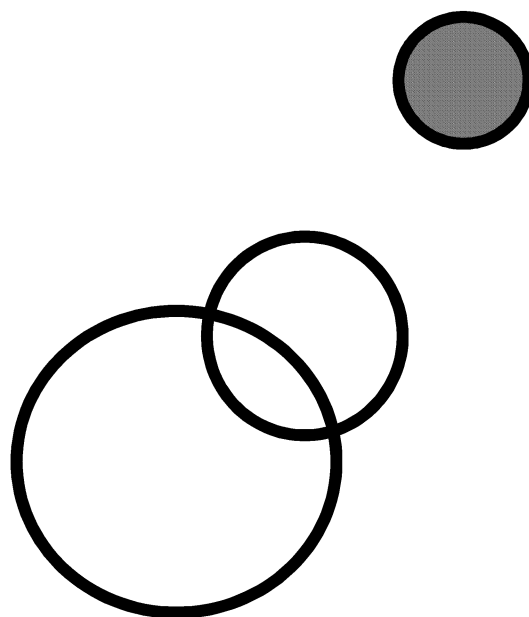
7<その1>では、「各会計の決算概要」を掲載しており、あわせて参考資料も掲載しています。
8<その2>では、「多賀城市まちづくり報告書」として施策・基本事業の動向等を掲載しています。
9<その3>では、実施計画事業及び主要事業の「事務事業評価表」を掲載しています。

この報告書は、市民と行政とがまちづくりの進み具合を共有するための資料として作成し、公表しています。

なお、すでに公表している令和3年度までの本報告書については、市ホームページでもご覧いただけます。

IV 多賀城市まちづくり報告書

(第六次多賀城市総合計画進捗状況報告)



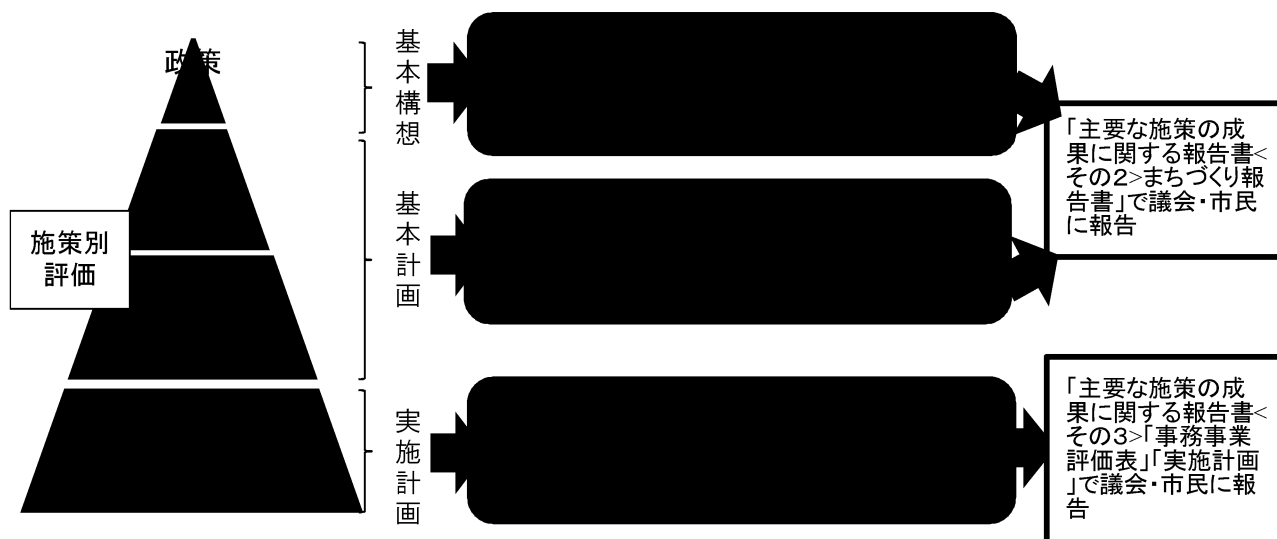
多賀城市まちづくり報告書(第六次多賀城市総合計画進捗状況報告)とは

多賀城市まちづくり報告書は、総合計画の目指すまちの姿の実現に向けて、まちづくりがどの程度進んでいるのか、事業の成果は上がっているのかといったことを示すため、令和4年度の決算を踏まえて、まちづくりの成果報告書として作成しています。

施策、基本事業における成果指標の推移を踏まえた成果状況等の結果を「施策別評価」として示すことで、総合計画の進捗状況等を明らかにしています。

また、複数年での指標の推移を確認することにより、指標のうごきが外的要因による突発的なものなのか、社会情勢の変化等による必然的なものなのかを見る目安となり、限られた行財政経営資源の「選択と集中」及び行政活動の「改革と改善」への活用が期待されます。

一般的には、事務事業の成果が向上することで基本事業の成果が向上し、基本事業の成果が向上することで施策の成果が向上する仕組みになっています。



施策別評価の概要

① 施策別評価とは

施策別評価は、階層分けした施策及び基本事業について、指標の推移を踏まえた成果状況やその原因分析等の評価結果を施策ごとに示すものであり、これにより総合計画の進捗状況等を明らかにするとともに、その評価結果を次の施策や事業展開に活かしていくこととしています。

施策や基本事業に対して、その目的がどの程度達成されたのかを測るものさしとして「指標」を設定し、成果状況を数値で表すことで、総合計画の進捗状況や事業の成果状況を客観的に把握し、分析していくこととしています。

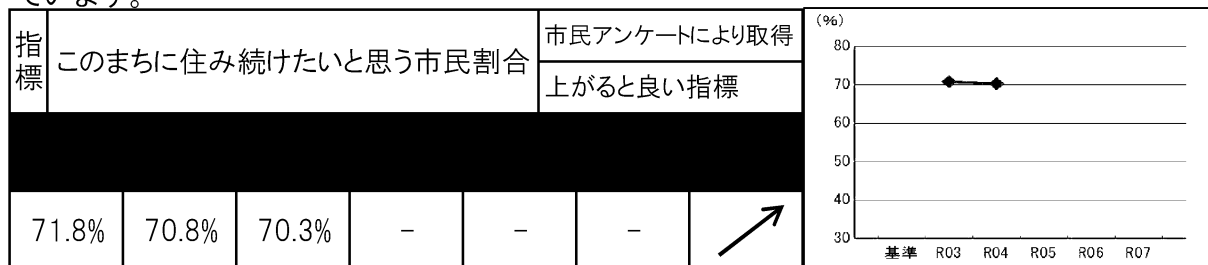
② 指標のうごきからみるまちづくりの状況

施策・基本事業の指標の動向を前期基準値に対する「指標のうごき」で捉えるとともに、指標の令和7年度前期目標値に対する「目標達成度」を捉えることとし、これらをもとに総合計画の進捗状況を示しています。

全体の動向

将来都市像指標のうごき

本市の将来都市像「日々のよこびふくらむまち 史都 多賀城」実現に向けたまちづくり全体の達成状況とまち全体に対する市民の実感・満足度を測るものとして、次の指標を設定しています。



指標全体のうごき(施策・基本事業別)

指標のうごきは、指標の前期基準値からの推移状況をもとに下表のとおりです。「晴れ(向上)」、「晴れ(横ばい)」、「曇り(横ばい)」、「雨(低下)」の4段階の区分で表しています【9ページ「指標のうごき」参照】。

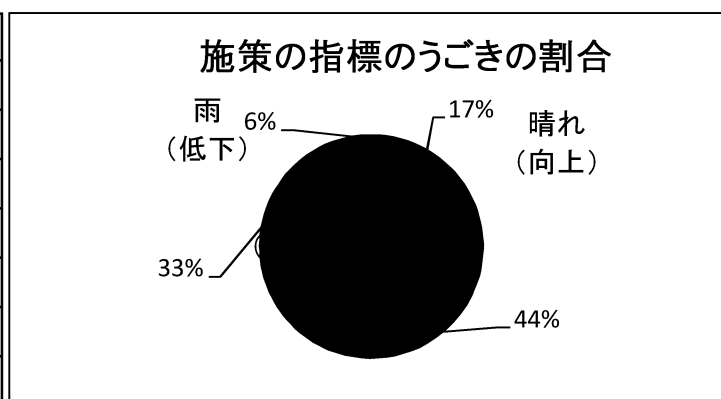
施策と基本事業の「指標のうごき」の状況は下図のとおりとなっています。

成果が向上している主な施策・基本事業の指標は、「子育てしやすいまちであると思う保護者割合」、「教育・保育施設等の定員数」、「連携している在宅医療機関、介護事業所の数」、「スポーツ等の教室・大会の参加者数」、「子どもを対象とした環境教育の参加者数」、「事業系ごみの年間排出量」、「観光客の満足度」、「新たな魅力が創出された地域資源等の個数」、「市民参画や協働を取り入れている事業数」、「歴史文化資源活用事業参加者数」、「経常収支比率(水道事業)」、「市税の収納率」、「ICTの活用により効率化が図られた業務数」です。

成果が低下している主な施策・基本事業の指標は、「出産後の支援について満足している者の割合」、「妊娠や出産、子育てに関する市の相談窓口を知っている保護者の割合」、「市民を対象とした環境保全に関する環境講座の参加者数」、「観光客入込数」、「自治会・町内会活動の必要性を理解している市民割合」、「ふれあいの場・機会への参加者数」です。

① 施策数、指標数及び指標のうごきの割合等

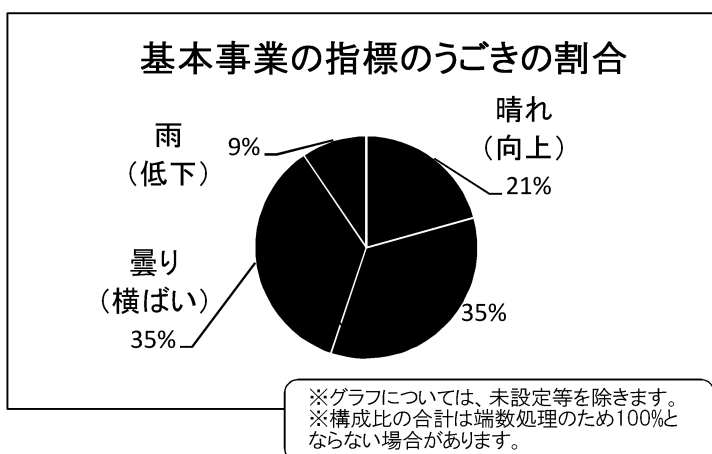
施策数	29
指標数	38
(内訳)	
晴れ(向上)	6
晴れ(横ばい)	16
曇り(横ばい)	12
雨(低下)	2
未設定等	2



※グラフについては、未設定等を除きます。
※構成比の合計は端数処理のため100%と
ならない場合があります。

②基本事業数、指標数及び指標のうごきの割合等

基本事業数	90
指標数	140
(内訳)	
晴れ(向上)	24
晴れ(横ばい)	40
曇り(横ばい)	41
雨(低下)	11
未設定等	24



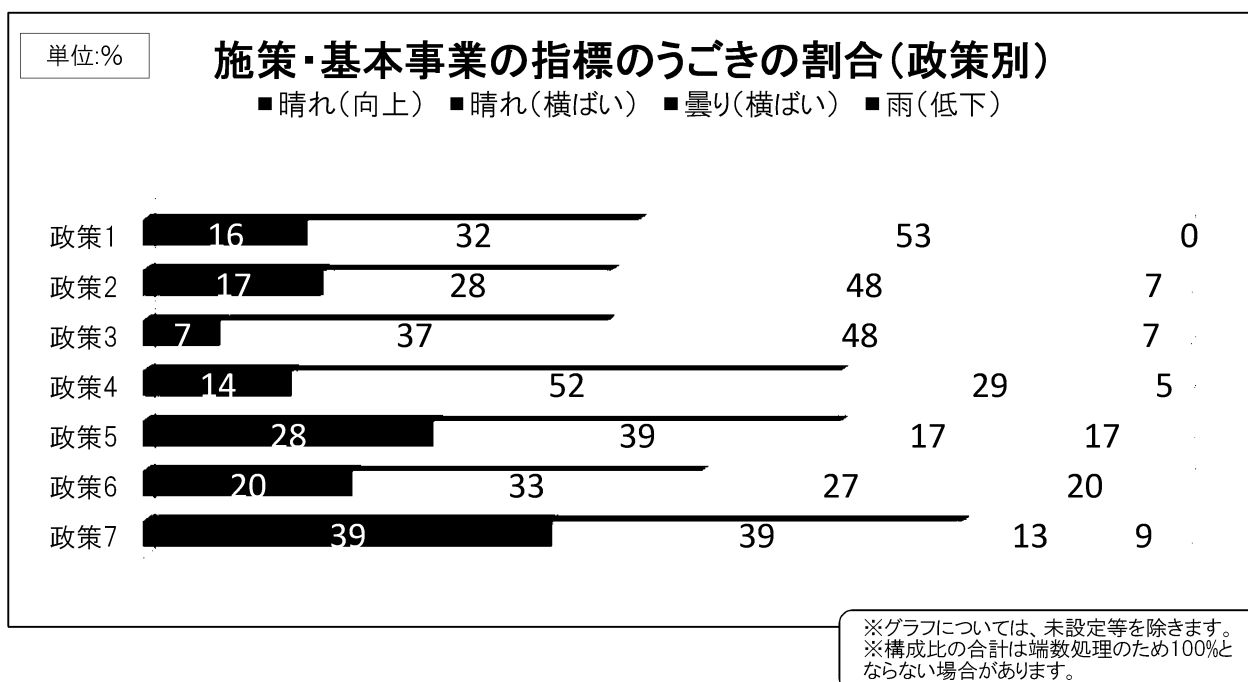
政策別の指標全体のうごき(施策・基本事業合計)

① 全体の傾向

施策と基本事業の指標を「政策」ごとにまとめた政策別の指標のうごきの状況は下図のとおりとなっています。

◎施策・基本事業の指標数及び指標のうごき

	晴れ(向上)	晴れ(横ばい)	曇り(横ばい)	雨(低下)	未設定等	計
政策1	3	6	10	0	1	20
政策2	5	8	14	2	13	42
政策3	2	10	13	2	2	29
政策4	3	11	6	1	5	26
政策5	5	7	3	3	0	18
政策6	3	5	4	3	0	15
政策7	9	9	3	2	5	28
計	30	56	53	13	26	178



指標全体の目標達成度(施策・基本事業別)

指標の令和4年度における前期計画目標値への目標達成度を、「達成(前期目標値を達成しているもの)」、「高(令和6年度までに達成する可能性が高いもの)」、「中(令和7年度(前期目標年度)で達成する可能性が高いもの)」、「低(令和7年度(前期目標年度)で達成することが難しいもの)」の4段階の区分で表しています【9ページの目標達成度参照】。

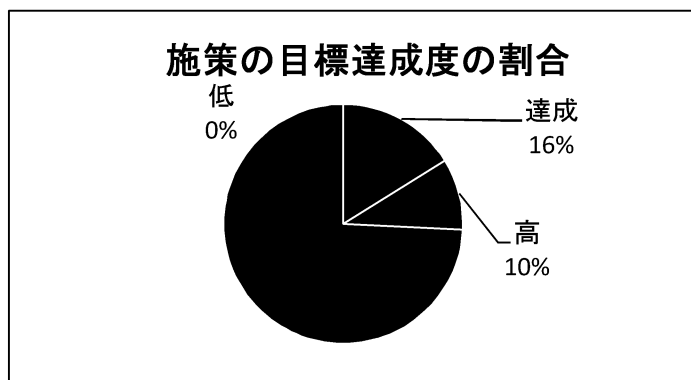
施策と基本事業の「目標達成度」の状況は、下図のとおりとなっています。

前期目標値を達成している主な施策・基本事業の指標は、「子育てしやすいまちであると思う保護者割合」、「自立高齢者の割合」、「適切な療育サービスが受けられていると思う保護者割合」、「子どもを対象とした環境教育の参加者数」、「事業系ごみの年間排出量」、「担い手農業者数」、「歴史文化資源活用事業参加者数」、「経常収支比率(水道事業、下水道事業)」、「市税の収納率」、「ICTの活用により効率化が図られた業務数」です。

前期目標年度で達成することが難しいと見込まれる主な施策・基本事業の指標は、「教育・保育施設等の定員数」、「社会体育施設等の利用者数」、「市の創業支援を受けて創業した人の数(累計)」、「ふれあいの場・機会への参加者数」、です。

① 施策数、指標数及び目標達成度の割合等

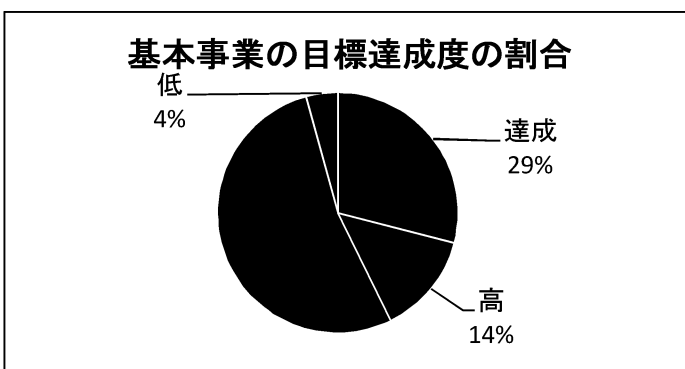
施策数	29
指標数	38
(内訳)	
達成	5
高	3
中	23
低	0
未設定等	7



※グラフについては、未設定等を除きます。
※構成比の合計は端数処理のため100%と
ならない場合があります。

② 基本事業数、指標数及び目標達成度の割合等

基本事業数	90
指標数	140
(内訳)	
達成	34
高	16
中	62
低	5
未設定等	23



※グラフについては、未設定等を除きます。
※構成比の合計は端数処理のため100%と
ならない場合があります。

政策別の指標全体の目標達成度(施策・基本事業合計)

① 全体の傾向

施策と基本事業の指標を「政策」ごとにまとめた政策別の目標達成度の状況は下表のとおりとなっています。

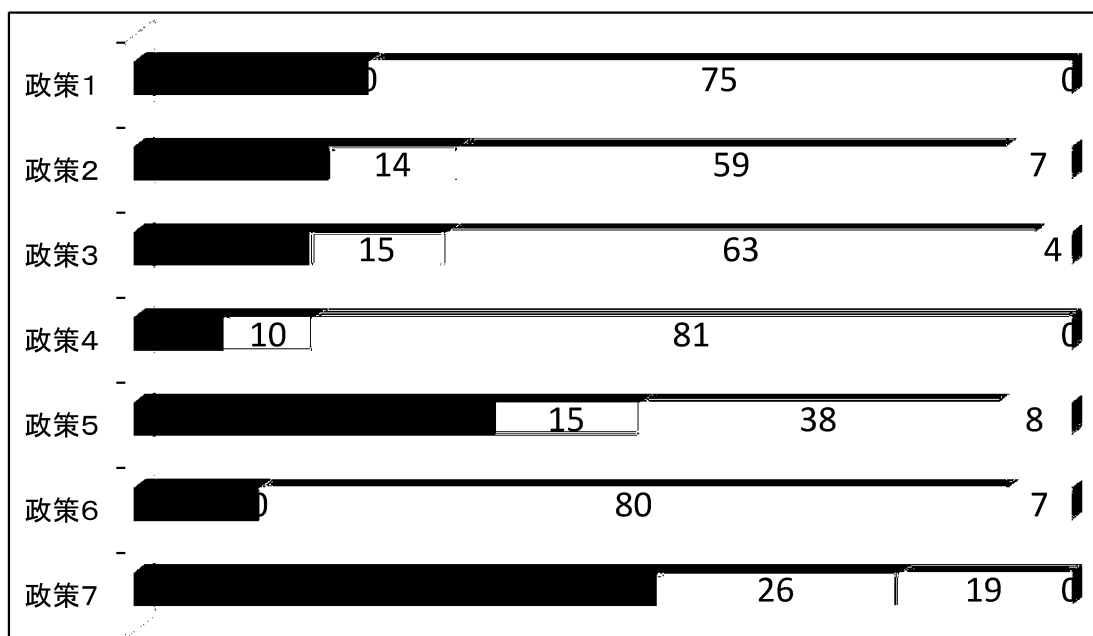
◎施策・基本事業の指標数及び目標達成度(政策別)

	達成	高	中	低	未設定等	計
政策1	4	0	12	0	4	20
政策2	6	4	17	2	13	42
政策3	5	4	17	1	2	29
政策4	2	2	17	0	5	26
政策5	5	2	5	1	5	18
政策6	2	0	12	1	0	15
政策7	15	7	5	0	1	28
全体	39	19	85	5	30	178

単位:%

施策・基本事業の目標達成度の割合(政策別)

■達成 ■高 ■中 ■低



※グラフについては、未設定等を除きます。
 ※構成比の合計は端数処理のため100%とならない場合があります。

3 施策・基本事業の動向(成果指標等一覧)

施策・基本事業評価の見方

施策の成果状況は、左側のページとなるよう調整しています。

施策の目指す姿

大規模災害の経験をいかし、みんなの力で災害に強いまちが形成されることで、安全・安心に暮らすことができています。

【指標の区分】

目指す姿の実現具合を測るものさしとして設定している指標は、その特性により次の3つに区分しています。

成果：目指す姿の達成度を示すもの

社会：事業状況を指標化したものの、行政の関与よりも社会経済情勢等の影響が大きいもの

代替：成果の指標化が難しい場合に、代替指標として行政の活動量等を設定したもの

【取得方法】

市民アンケート：毎年定期的に市民3,000人を対象に行う多賀城市まちづくりアンケートにより取得する方法

職員アンケート：毎年定期的に職員を対象に行うアンケートにより取得する方法

業務取得：業務内で取得する方法

課独自調査：指標を取得するために各課等が行うアンケート等により取得する方法

【指標特性】

上がると良い：数値が上がると良い指標

下がると良い：数値下がると良い指標

その他：数値の増減でよし悪しを判断できない指標

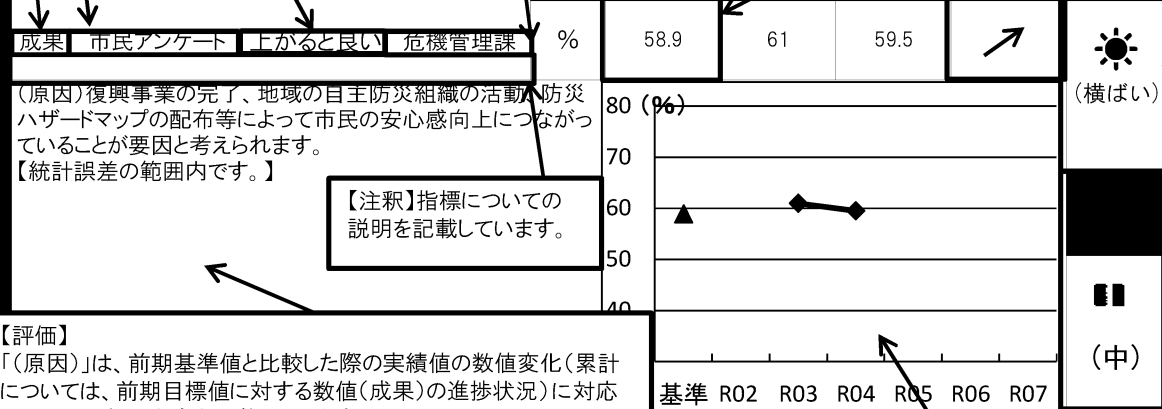
【前期基準値】

原則として、次のような取得年度となっています。これ以外の年度に取得している場合には、評価欄に記載しています。
市民アンケート、職員アンケート指標：令和2年度に取得
業務取得、課独自調査指標：平成31年度に取得

【担当部署】令和5年度担当部署を記載しています。

施策の成果状況と評価

まち(市民、地域、行政)の防災・減災体制に安心感を持つ市民割合

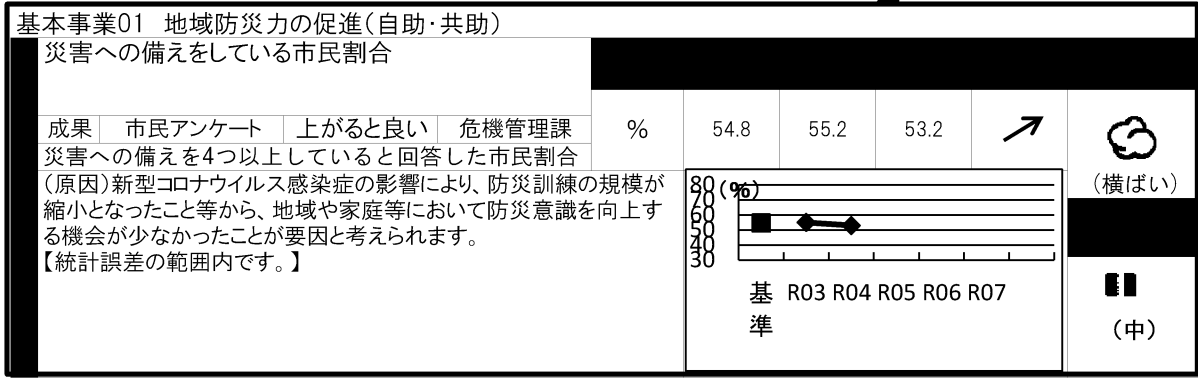


【掲載している施策・基本事業は、掲載例です。実際の内容とは異なります。】

□基本事業の成果状況と評価

基本事業の成果状況は、はじまりが右側のページとなるよう調整しています。

施策評価と見方は一緒です。



【目標値】
目標値は、次の3つのパターンで表しています。
数値：業務データから現状値を把握するもの
矢印：目標値を数値で表しにくいもの(アンケートによる把握、取得方法変更等)と現状維持のもの
※アンケート指標については、統計誤差の関係があるため、方向性を矢印で表しています。
—：指標区分が「社会」のもの及び目標設定がなじまないもの

【指標のうごき】
前期基準値(又は取得初年度)と比較した際の令和4年度の成果指標のうごきを、次の区分により示しています。
なお、市民アンケートから数値を取得しているものは、一定の統計誤差を考慮しています。
▲(向上)：数値(成果)が前期基準値(又は取得初年度)に比べ向上しているもの
▲(横ばい)：数値(成果)が前期基準値(又は取得初年度)に比べ微向上(横ばい)であるもの
●(横ばい)：数値(成果)が前期基準値(又は取得初年度)に比べ微低下(横ばい)であるもの
▼(低下)：数値(成果)が前期基準値(又は取得初年度)に比べ低下しているもの
—：累計以外で前期基準値がないもの、令和4年度に実績値がないもの、指標特性が「その他」のもの、取得初年度のもの
※累計については、目標値に対する数値(成果)の進捗状況に応じて、区分しています。

【目標達成度】
成果指標の前期目標値への令和7年度(前期目標年度)を基準とした、達成度見込みを示しています。
👑(達成)：前期目標値を達成しているもの
■■■(高)：令和6年度までに達成する可能性が高いもの
■■(中)：令和7年度(前期目標年度)で達成する可能性が高いもの
■(低)：令和7年度(前期目標年度)で達成することが難しいもの
—：前期目標値が「—」のもの、令和4年度に実績値がないもの

政策1

みんなの力で減災 安全で安心して暮らせるまちづくり
(安全安心)

施策の目指す姿

大規模災害の経験をいかし、みんなの力で災害に強いまちが形成されることで、安全・安心に暮らすことができます。

施策の成果状況と評価

まち(市民、地域、行政)の防災・減災体制に安心感を持つ市民割合								
成果	市民アンケート	上がると良い	危機管理課	%	58.9	61	59.5	→
(原因)復興事業の完了、地域の自主防災組織の活動、防災ハザードマップの配布等によって市民の安心感向上につながっていることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】				(横ばい)				
				(中)				

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 地域防災力の促進（自助・共助）

災害への備えをしている市民割合											
成果	市民アンケート	上がると良い	危機管理課	%	54.8	55.2	53.2	→			
災害への備えを4つ以上準備していると回答した市民割合										☁️ (横ばい)	
(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、防災訓練の規模が縮小となったこと等から、地域や家庭等において防災意識を向上する機会が少なかったことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】										▬ (中)	

基本事業01 地域防災力の促進（自助・共助）

災害時に地域で助け合いができると思う市民割合											
成果	市民アンケート	上がると良い	危機管理課	%	57.4	56	57.6	→			
災害時に地域で助け合いができると思う市民割合										☀️ (横ばい)	
(原因) 地域の自主防災組織の活動等が徐々に活発化してきたことにより、助け合いを実感していることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】										▬ (中)	

基本事業02 公的機関防災体制の確保（公助）

災害時に職員として果たすべき役割や初動を理解している職員割合											
成果	職員アンケート	上がると良い	危機管理課	%	100	98.7	98.7	→			
災害時に職員として果たすべき役割や初動を理解している職員割合										☁️ (横ばい)	
(原因) ほぼすべての職員が、災害時に行うべき初動体制や果たすべき役割について、総合防災訓練等を通じて理解していることが要因です。										🏰 (達成)	

基本事業02 公的機関防災体制の確保（公助）

災害用備蓄品の備蓄率											
成果	業務取得	上がると良い	危機管理課	%	100	100	100	→			
必要数を超えている場合、備蓄率は100%と表現										☀️ (横ばい)	
(原因) 既存備蓄品の保存期限等を適正に管理し、計画的に新規購入等を実施していることが要因です。										🏰 (達成)	

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 災害経験の伝承

市民に災害経験を伝承する機会を設けた数									
成果	業務取得	上がると良い	危機管理課	回/年	5	3	3	5	
				(回/年)					(横ばい)
(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、災害経験を伝承するイベント等、他者との接触する機会が制限されたことが要因です。								(中)	

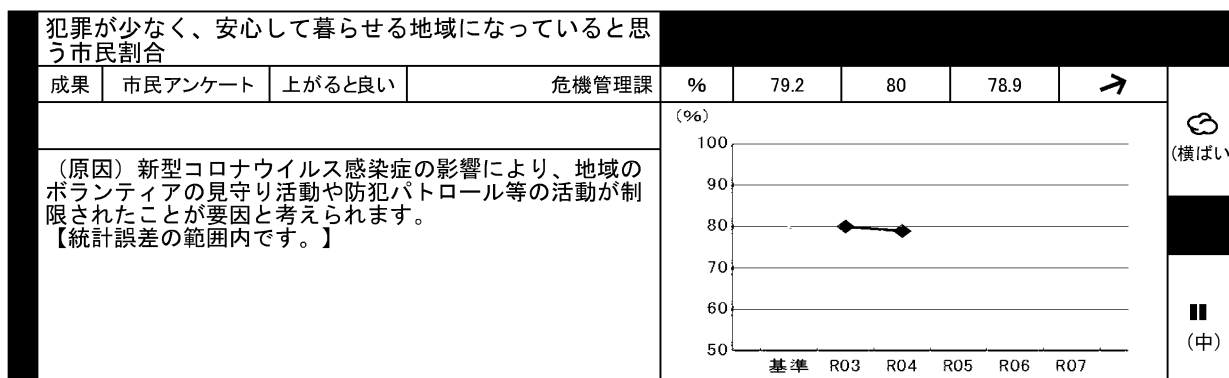
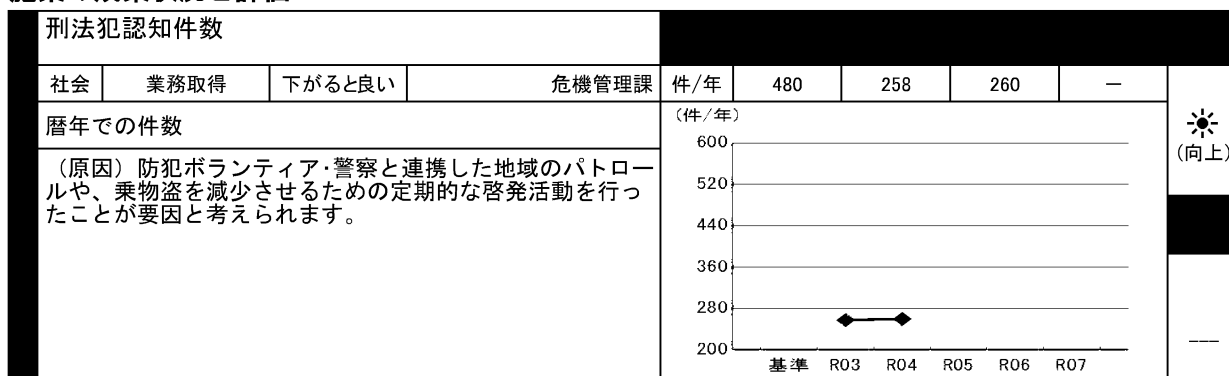
基本事業03 災害経験の伝承

災害の経験を周囲に伝えている市民割合									
成果	市民アンケート	上がると良い	危機管理課	%	69.2	66.2	66.2	→	
				(%)					(横ばい)
(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、防災訓練等の規模が縮小となったこと等から、災害で経験したことを周囲の人に伝える機会等、他者との接触の機会が制限されたことが要因です。 【統計誤差の範囲内です。】								(中)	

施策の目指す姿

犯罪に関する総合的な取組が進み、市民一人ひとりの防犯意識が高まることで、みんなの力で犯罪に遭わない、起こさせない地域が形成され、安全・安心に暮らすことができています。

施策の成果状況と評価



□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 地域ぐるみでの防犯体制の促進

防犯対策に取り組んでいる市民割合										
成果	市民アンケート	上がると良い	危機管理課	%	70.9	68.7	67.4	→		
防犯対策を2つ以上していると回答した市民割合										(横ばい)
(原因) 自宅の戸締りについては、大半の市民が実施しているものの、それ以外の対策に取り組んでいる割合が低くなっていることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】										(中)

基本事業01 地域ぐるみでの防犯体制の促進

防犯活動に取り組んでいる市民割合										
成果	市民アンケート	上がると良い	危機管理課	%	24.6	22.7	24.5	→		
防犯活動に取り組んでいる市民割合										(横ばい)
(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、地域とのコミュニケーションの希薄化が進んだことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】										(中)

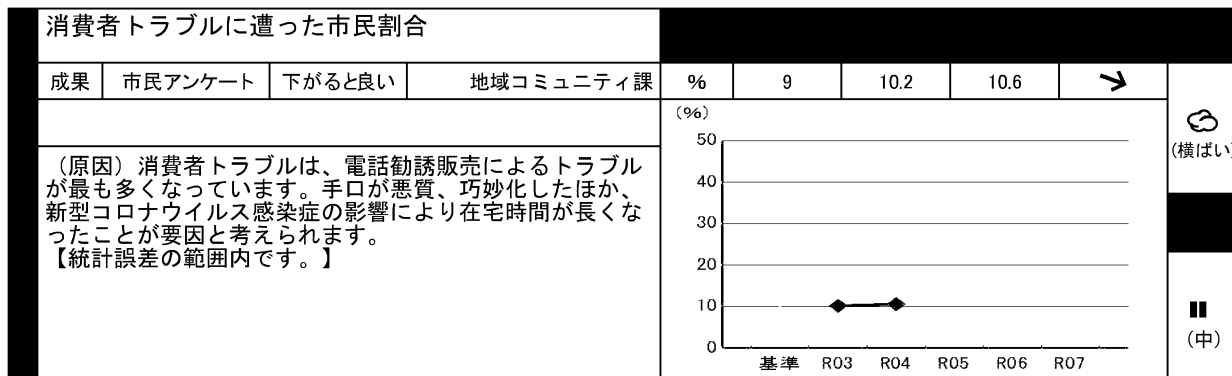
基本事業02 防犯機能を有する施設・設備の保全と整備

防犯機能を有する施設・設備の整備件数 (累計)										
代替	業務取得	その他	危機管理課	件	—	7	17	60		
前期目標値及び実績値は、令和3年度を初年度とする5年間の累計。防犯街路灯と防犯カメラの合計										(中)
(原因) 防犯街路灯補助制度によって、自主的に防犯機能を有する施設や設備を設置する地域が増加していることが要因です。										(中)

施策の目指す姿

消費生活に関する知識を深めることで自立した消費者が増え、かつ、相談体制を整備することで消費者トラブルが減少し、安全で安心な消費生活を営むことができます。

施策の成果状況と評価



□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 消費生活情報の発信

消費者トラブルに関する対応を知っている市民割合								
成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	88.2	88.4	89.1	→
(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年度は開催できなかったトラブルから身を守るための消費者講座や出前講座を再開できたことや市ホームページ、広報多賀城等で啓発に努めたことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】								(横ばい)
								(中)

基本事業02 消費生活相談の推進

消費者相談で解決策を提示した割合								
成果	業務取得	上がると良い	地域コミュニティ課	%	100	100	100	→
他機関への紹介を含む。 (原因) 相談のあった消費生活相談の全てに解決策を提示しています。消費生活相談員が研修会への積極的な参加や、参考図書等での事例案件を整理することで、個々の相談解決スキルの向上が図られていることが要因と考えられます。								(横ばい)
								(達成)

施策の目指す姿

市民一人ひとりの交通安全意識とまちの交通安全環境を良好に保つことで、交通事故が減少し、安全・安心に暮らすことができます。

施策の成果状況と評価

交通事故発生件数（人身事故）								
社会	業務取得	下がると良い	危機管理課	件/年	178	142	129	—
暦年での件数				(件/年)				
(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、外出する機会が減少したこと及び警察による取り締まりや交通安全関係団体と連携した啓発活動により市民一人ひとりの交通安全に対する意識が高まっていることが要因と考えられます。								

市民が第1当事者となった交通事故発生件数								
社会	業務取得	下がると良い	危機管理課	件/年	169	138	114	—
暦年での件数				(件/年)				
(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、外出する機会が減少したこと及び警察や交通安全団体等との連携による交通安全運動や啓発活動により市民一人ひとりの交通安全に対する意識が高まっていることが要因と考えられます。								

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 交通安全情報の発信

交通安全啓発活動人数								
代替	業務取得	上がると良い	危機管理課	人/年	8,528	3,998	5,273	→
(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、市民総ぐるみ運動の出発式や高齢者向けサボカー体験等の各種イベントの規模を縮小して開催したことが要因です。				(人/年)				☁️ (横ばい) ■ (中)

基本事業01 交通安全情報の発信

飲酒運転検挙者数								
社会	業務取得	下がると良い	危機管理課	人/年	13	9	13	-
暦年での件数 (原因) 飲酒運転の根絶に向けて、交通安全推進関係団体、塩釜警察署、仙台育英学園等と連携し、継続的に交通安全啓発活動を行ったことが要因と考えられます。				(人/年)				☁️ (横ばい) ---

基本事業02 交通安全環境の保全と整備

交通安全施設整備率								
代替	業務取得	上がると良い	都市整備課	%	100	100	100	100
(原因) 道路パトロールによる危険個所の発見、安全施設設置要望があった場合には、設置基準に基づき迅速な対応の実施及び通学路の路面標示や区画線等を適正に整備していることが要因です。				(%)				☀️ (横ばい) 🏰 (達成)

政策2

健やかで優しい 支え合いのあるまちづくり

(健康福祉)

施策の目指す姿

地域で助け合い、支え合いができる環境が整うことで、誰もが心豊かで安心して暮らすことができます。

施策の成果状況と評価

地域で手助けしたり、されたりする環境が整っていると思う市民割合									
成果	市民アンケート	上がると良い	社会福祉課	%	46.1	42	43.3	→	
<p>(原因) 年代が上がるほど割合は高くなっているものの、20代及び30代の若い年代の割合が低い傾向がみられます。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、自治会・町内会や地域の活動が減少傾向にあり、地域における助け合い、支え合いを実感しにくかったことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】</p>									

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 地域福祉意識の醸成と多様な担い手の育成支援

福祉活動に取り組む意識がある市民割合										
成果	市民アンケート	上がると良い	社会福祉課	%	50.3	49.7	51.6	→		
福祉活動とは、手助けしたり助け合う取組です。					(%)					☀ (横ばい)
(原因) 30代及び40代の世代において福祉活動への関心及び参加の意向を持つ人が増えたことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】										
									▬ (中)	

基本事業01 地域福祉意識の醸成と多様な担い手の育成支援

福祉活動に取り組んだことがある市民割合										
成果	市民アンケート	上がると良い	社会福祉課	%	8.4	7.4	9.5	→		
福祉活動とは、手助けしたり助け合う取組です。					(%)					☀ (横ばい)
(原因) 40代及び50代の世代で、福祉活動を行っている方が増加しました。地域社会でのつながりや生きがいとして福祉活動に参加する人が増加したことが要因の1つと考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】										
									▬ (中)	

基本事業02 地域で見守り合う仕組みづくり

要配慮者を助け合う仕組みが整っていると思う市民割合										
成果	市民アンケート	上がると良い	社会福祉課	%	24	21.4	21.9	→		
要配慮者を助け合う仕組みが整っていると感じている割合が低くなっています。また、「わからない」と回答した方が約3割であり、地域で助け合う仕組みやその必要性が共有できていないことも要因の1つと考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】					(%)					☁ (横ばい)
									▬ (中)	

施策の目指す姿

一人ひとりが自らの健康管理や病気などの予防に取り組むことで、健康に暮らすことができている。

施策の成果状況と評価

自分が健康だと思う市民割合																						
成果	市民アンケート	上がると良い	健康長寿課	%	76.7	75.6	76.4	→														
(原因) 新型コロナウイルス感染症による健康への不安や、感染対策のための行動制限等による生活の変化が続いたことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】				(横ばい)																		
				(中)																		
				<table border="1"> <caption>自分が健康だと思う市民割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>76.7</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>76.7</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>75.6</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R07</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					年度	割合 (%)	基準	76.7	R03	76.7	R04	75.6	R05		R06		R07	
年度	割合 (%)																					
基準	76.7																					
R03	76.7																					
R04	75.6																					
R05																						
R06																						
R07																						

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 生活習慣の改善

健康に良い生活習慣の平均実践項目数								
成果	市民アンケート	上がると良い	健康長寿課	項目	5.72	5.56	5.54	→
全12項目中				(項目)				(横ばい)
(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、各種事業への参加機会が減少し、市民に生活習慣の改善を直接呼びかける機会が減少したことが要因と考えられます。一方で、「何もしていない」と回答した方の割合は減少し、「就寝前に歯みがきをしている」と回答した方の割合は増加しており、「お口からはじまる健康づくり」をはじめとした事業展開の影響から、健康に対する意識醸成への傾向も見て取れます。								■ (中)

基本事業01 生活習慣の改善

毎日朝食をとっている市民割合								
成果	市民アンケート	上がると良い	健康長寿課	%	71.8	70.6	69.2	→
				(%)				(横ばい)
(原因) 若い世代ほど欠食率が高く、生活スタイルの多様化による時間的余裕のなさが要因と考えられます。【統計誤差の範囲内です。】								■ (中)

基本事業02 疾病予防・早期発見・早期治療等の推進

定期的に健康診査を受けている市民割合								
成果	市民アンケート	上がると良い	健康長寿課	%	79.1	79.9	78	→
				(%)				(横ばい)
(原因) 新型コロナウイルス感染症の長期化により健診受診控え等が続いていることが要因と考えられます。【統計誤差の範囲内です。】								■ (中)

基本事業02 疾病予防・早期発見・早期治療等の推進

各種がん検診を受けている市民割合								
成果	市民アンケート	上がると良い	健康長寿課	%	63	64.9	62.7	→
				(%)				(横ばい)
(原因) 新型コロナウイルス感染症の長期化により健診受診控え等が続いていることが要因と考えられます。【統計誤差の範囲内です。】								■ (中)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 母子保健の充実

乳幼児健診の平均受診率				
成果	業務取得	上がると良い	子ども家庭課	
				% 98.6 95.6 97.7 →
指標は、集団健診の平均受診率です(個別受診数を含みません。) (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、健診日直前に、体調不良や濃厚接触者にもなう欠席や、延期の連絡が多くみられたことが要因です。				(横ばい) (高)

基本事業03 母子保健の充実

出産後の支援について満足している者の割合				
成果	課独自調査	上がると良い	子ども家庭課	
				% 90.9 83.7 82 →
3~4か月児健診時のアンケート調査結果 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、両親学級等の事業にてグループワークや育児体験を中止し、会話を控え、見学を中心にしたことが要因と考えられます。				(低下) (中)

施策の目指す姿

子どもの育ちや子育て家庭を支える地域社会が形成されることで、不安なく子育てを行い、子ども一人ひとりが健やかに育つことができます。

施策の成果状況と評価

子育てしやすいまちであると思う保護者割合								
成果	市民アンケート	上がると良い	子ども政策課	%	46.1	52	55.5	→
中学生以下の子どもの保護者対象				(%) 	(向上)			
(原因) 子ども医療費助成の所得制限撤廃等の実施により子育ての恒常的な経済負担が軽減されたことや、教育・保育施設等が計画どおり整備されたことが要因と考えられます。								

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 親子の健やかな育ちの支援

妊娠や出産、子育てに関する市の相談窓口を知っている保護者の割合								
成果	市民アンケート	上がると良い	子ども家庭課	%	86.4	81.2	77.4	→
小学生までの子どもを持つ保護者対象		(%)						
(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響で各施設でイベント等の中止や規模縮小が続き、知る機会が減少したことが要因と考えられます。一方で、子育てサポートセンター、保育所、幼稚園、児童館など身近な場所に相談の場を設定していることで、大きな低下にはつながりませんでした。						☂ (低下)		
						▬ (中)		

基本事業01 親子の健やかな育ちの支援

自分の子ども(乳幼児)に対して、育てにくさを感じている保護者割合								
成果	課独自調査	下がると良い	子ども家庭課	%	20.7	27.1	23.2	→
3歳児健診時のアンケート調査結果		(%)						
(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響による事業の制限や変更等が続き、経年的に支援を受ける機会が減ったことが要因と考えられます。一方で、子育て世代包括支援センター事業等で、妊娠期から切れ目なく子育ての悩みに対する支援を強化し実施したことで、令和3年度よりも改善しています。						☁ (横ばい)		
						▬ (中)		

基本事業02 地域における子ども・子育て支援の充実

地域子育て支援拠点の利用者数								
代替	業務取得	上がると良い	子ども政策課	人/年	52,099	34,800	41,789	55,000
		(人/年)						
(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響によるイベントの中止や利用制限を行ったことが要因です。						☁ (横ばい)		
						▬▬ (高)		

基本事業03 安定した保育の提供

教育・保育施設等の待機児童数(国定義)								
成果	業務取得	下がると良い	子ども政策課	人	46	16	13	0
各年度4月1日現在の数値		(人)						
(原因) 定員増となった教育・保育施設等や認定こども園に移行した幼稚園があったことにより、全体の定員数が増加していることが要因です。						☀ (向上)		
						▬ (低)		

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 安定した保育の提供

教育・保育施設等の定員数									
代替	業務取得	上がると良い	子ども政策課	人	1,334	1,420	1,459	1,628	
各年度4月1日現在の数値				(人)					 (向上)
(原因) 定員増となった教育・保育施設等や認定こども園に移行した幼稚園があったことが要因です。				(低)					



基本事業04 子育ての経済的負担の軽減

子育ての経済負担の軽減総額									
代替	業務取得	その他	子ども政策課	百万円	1,612	2,614	1,744	—	
各年度4月1日現在の数値				(百万円)					--- ---
(原因) 子ども医療費助成の所得制限撤廃や子育て応援臨時給付金等の各種給付金の実施が要因です。一方で、子育て世帯への臨時特別給付金等が終了したことで、令和3年度よりも大きく減額しています。									

施策の目指す姿

高齢者が自立し、いきいきと活躍できる社会が形成されることで、生涯にわたり安心してその人らしく暮らすことができます。

施策の成果状況と評価

自立高齢者の割合									
成果	業務取得	上がると良い	介護・障害福祉課	%	83.9	83.9	84	82.3	
(原因) 全国的に高齢化が進み、本市においても同様の状況のため要介護認定者数の増加が見込まれるものの、介護予防事業(総合事業)の推進や、地域での介護予防活動等により、要介護等出現率の抑制が図られたことが要因と考えられます。				(%)				 (横ばい)	
								 (達成)	

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 生きがい活動の推進

生きがいを持っている高齢者の割合									
成果	市民アンケート	上がると良い	健康長寿課	%	94.2	94.3	93.1	→	
									(横ばい)
(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響から、高齢者が生きがいを感じられる活動が制限されたことが、要因の1つと考えられます。一方で、新型コロナウイルス感染症の影響下ではあるものの、高齢者の活動の場は確保されており、一部の活動が継続できていたことで、横ばいを維持できています。 【統計誤差の範囲内です。】									(達成)

基本事業02 介護予防の推進

介護保険の認定を新たに受けた市民割合									
代替	業務取得	その他	介護・障害福祉課	%	3.3	3.6	3.7	—	
介護保険認定を新たに受けた人数/第1号被保険者数									---
(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛の期間が長期化したことにより、身体能力が低下する高齢者が増えたことが要因と考えられます。									---

基本事業02 介護予防の推進

介護予防のための行動平均実践項目数									
成果	市民アンケート	上がると良い	健康長寿課	項目	6.02	5.89	5.86	→	
40歳以上の市民対象									(横ばい)
(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、介護予防につながる行政及び地域での各種事業への参加者の制限が長期化していることが要因と考えられます。一方で、新型コロナウイルス感染症の影響から、外出控え等による数値の悪化が懸念されていましたが、定期的な運動教室の実施や自宅ですることができる介護予防の取組の発信により、微減にとどめることができています。									(中)

基本事業03 日常生活の支援

介護予防・日常生活支援総合事業サービスの利用者数									
代替	業務取得	その他	介護・障害福祉課	人/年	572	688	744	—	

(原因) サービスの利用者数は増加しており、65歳以上人口に対する利用者割合は前期基準値取得年度の平成31年度は2.7%、令和4年度は4.7%となっています。新型コロナウイルス感染症の影響により、外出や交流機会の減少が長期化し、フレイル状態や認知機能が低下した方が増えたことが要因と考えられます。									---

□基本事業の成果状況と評価

基本事業04 地域包括ケアの充実

連携している在宅医療機関、介護事業所の数									
成果	業務取得	上がると良い	介護・障害福祉課	か所	70	76	79	80	
(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、感染のリスクを考え、参加を控えていた入所施設の介護事業所の参加が増えたことが要因と考えられます。				(か所)					(向上) (高)
				基準 R03 R04 R05 R06 R07					

基本事業05 認知症対策の推進

認知症の方への対応方法を知っている市民数									
成果	業務取得	上がると良い	介護・障害福祉課	人	3,551	3,825	4,016	6,901	
認知症サポーター養成講座受講者数の累計 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により開催できなかった市内中学生向けの講座や企業向けの講座の開催、地区住民からの出前講座の依頼があったことが要因です。				(人)					(横ばい) (中)
				基準 R03 R04 R05 R06 R07					

施策の目指す姿

障害者(児)がその適性や能力に応じて、安心して暮らすことができます。

施策の成果状況と評価

障害者(児)がその適性や能力に応じて安心して暮らしていると思う割合								
成果	課独自調査	上がると良い	介護・障害福祉課	%	62.8	—	—	→
障害者計画策定時実施のアンケート結果								
(原因) 障害者(児)を対象にしたアンケートによる指標であり、令和4年度はアンケートを実施していないため、実績値を取得していません。※次回は令和5年度実施【前期基準値取得年度は、平成29年度です。】								

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 自立支援の推進

自立支援給付の延べ利用者数									
代替	業務取得	その他	介護・障害福祉課	人/年	1,172	1,304	1,388	—	
					(人/年)				---
<p>(原因) 障害者の人数が増えていることによって、全体的にサービス利用者数が増加していることが要因です。特に放課後等デイサービス及び就労系サービス(就労移行支援、就労継続支援A型)の利用者数が増加しており、サービス利用に必要となる計画相談利用者数も増加しています。</p>									---

基本事業02 地域生活支援事業の利用促進

地域生活支援事業の延べ利用者数									
代替	業務取得	その他	介護・障害福祉課	人/年	10,002	10,101	10,013	—	
					(人/年)				---
<p>(原因) 障害者の人数が増えていることによって、日常生活用具の利用者数が増加していることが要因です。特にストマ装具及び紙おむつの利用者数が増加しています。</p>									---

基本事業03 児童発達支援の推進

適切な療育サービスが受けられていると思う保護者割合									
成果	課独自調査	上がると良い	介護・障害福祉課	%	100	100	100	→	
児童発達支援利用者対象のアンケート結果					(%)				☀ (横ばい)
<p>(原因) 児童の状態等を踏まえた個別支援計画を作成し、専門職による適切な支援を行うことで、児童の発達を促し、保護者の不安軽減にもつながっていることが要因と考えられます。</p>									🏰 (達成)

基本事業03 児童発達支援の推進

発達相談を受けた児童の数									
代替	業務取得	その他	介護・障害福祉課	人/年	181	196	154	—	
児童発達支援センターと母子健康センターで発達相談(専門職相談)を受けた児童の数					(人/年)				---
<p>(原因) 児童発達支援センター太陽の家を中核とした相談支援体制の充実を図っています。支援の中で通院や診断が必要なケースについては、児童発達支援センターで相談・検査をするのではなく、医療機関も含めた連携の中で、病院による発達相談や検査につないでいるケースが増えていることが要因です。</p>									---

□基本事業の成果状況と評価

基本事業04 各種手当・医療費等助成の給付

延べ特別障害者手当等給付件数																						
代替	業務取得	その他	介護・障害福祉課	件/年	935	951	919	—														
				(件/年)	<table border="1"> <caption>延べ特別障害者手当等給付件数 (件/年)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>935</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>919</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R07</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>				年度	件数	基準	—	R03	935	R04	919	R05	—	R06	—	R07	—
年度	件数																					
基準	—																					
R03	935																					
R04	919																					
R05	—																					
R06	—																					
R07	—																					
(原因) 新規で支給開始した人数と、死亡等により受給資格喪失を喪失した人数は同数ですが、支給開始・喪失月の差によるものが要因です。																						

基本事業04 各種手当・医療費等助成の給付

延べ心身障害者医療費助成件数																						
代替	業務取得	その他	国保年金課	件/年	27,805	27,298	27,274	—														
				(件/年)	<table border="1"> <caption>延べ心身障害者医療費助成件数 (件/年)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>27,805</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>27,298</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>R07</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>				年度	件数	基準	—	R03	27,805	R04	27,298	R05	—	R06	—	R07	—
年度	件数																					
基準	—																					
R03	27,805																					
R04	27,298																					
R05	—																					
R06	—																					
R07	—																					
(原因) 受給対象者数が微減となったことが要因と考えられます。																						

施策の目指す姿

社会保障制度等により、市民の生活基盤が確保されることで、誰もが安心して暮らすことができます。

施策の成果状況と評価

	その他	社会福祉課		-	-	-	-	-	
-									
国の政策等の影響が大きいため成果指標は設定していません。									---

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 保険制度の適正な運営

国民健康保険税の現年度収納率									
成果	業務取得	上がると良い	国保年金課	%	93.4	93.7	94.1	→	
				(%)					☀ (横ばい)
(原因) 低所得者世帯に対する負担軽減措置やキャッシュレス決済の普及などが要因と考えられます。								■ (中)	

基本事業01 保険制度の適正な運営

後期高齢者医療保険料の現年度収納率									
成果	業務取得	上がると良い	国保年金課	%	99.2	99.3	99.5	→	
				(%)					☀ (横ばい)
(原因) 本制度の被保険者数の増加に伴い、年金からの特別徴収により保険料を納付する被保険者数も増加していることが要因と考えられます。								🏰 (達成)	

基本事業01 保険制度の適正な運営

介護保険料の現年度収納率									
成果	業務取得	上がると良い	介護・障害福祉課	%	99.4	99.5	99.5	→	
				(%)					☀ (横ばい)
(原因) 介護保険被保険者数の増加に伴い、年金からの特別徴収により保険料を納付する被保険者数も増加していることが要因と考えられます。								🏰 (達成)	

基本事業01 保険制度の適正な運営

1人当たりの国民健康保険医療費									
代替	業務取得	その他	国保年金課	円/年	378,790	411,886	422,198	—	
				(円/年)					---
(原因) 前期高齢者の加入割合が高くなっていることが要因と考えられます。								---	

□基本事業の成果状況と評価

基本事業02 生活保護受給者（世帯）への自立支援

自立による生活保護廃止世帯件数（累計）									
代替	業務取得	上がると良い	社会福祉課	世帯	—	31	50	175	
前期目標値及び実績値は、令和3年度を初年度とする5年間の累計									(横ばい)
<p>(原因) 令和4年度の廃止世帯64世帯中、就労や収入の増加に伴う廃止が19世帯であり、就労支援員及び担当ケースワーカーによる各種支援の効果が一定程度見られますが、保護受給者の大半が高齢者や疾病を持っている方であり、就労による自立を目指すことが困難な方々が増加していることが要因と考えられます。</p>									(中)

基本事業02 生活保護受給者（世帯）への自立支援

生活保護受給世帯数									
代替	業務取得	その他	社会福祉課	世帯	571	607	632	—	
<p>(原因) 高齢世帯や傷病等による収入の不安定さを理由とした保護開始件数が増加したことが要因です。一方で、新型コロナウイルス感染症や電力・ガス・食料品等価格高騰の影響が懸念されましたが、各種生活困窮者向け緊急経済対策等による支援があったことで、急増には至っていません。</p>									---

基本事業03 公営住宅の適正な運営

低所得者の入居割合									
代替	業務取得	その他	都市計画課	%	90.2	92.9	94.2	—	
収入超過していない世帯の割合									---
<p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響などにより入居者の収入減によって収入超過世帯が減少したことが要因と考えられます。</p>									---

基本事業04 生活困窮者への自立支援

生活困窮者に係る支援により課題が解決した件数（累計）									
代替	業務取得	上がると良い	社会福祉課	件	—	432	770	1,500	
前期目標値及び実績値は、令和3年度を初年度とする5年間の累計									(横ばい)
<p>(原因) 複数年度にわたる相談を継続的に実施していることや、新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響により、生活困窮に陥った方に対する様々な制度支援の適切な紹介を行ったことが要因と考えられます。</p>									(中)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業05 介護保険サービスの適切な利用

施設サービスを利用している市民数									
代替	業務取得	その他	介護・障害福祉課	人/年	461	473	489	—	
				(人/年)					---
(原因) 地域密着型特定施設入居者生活介護の利用者が増加していることが主な要因です。									---

基本事業05 介護保険サービスの適切な利用

介護サービス事業者・施設への実地指導件数（累計）									
代替	業務取得	上がると良い	介護・障害福祉課	件	—	7	14	25	
前期目標値及び実績値は、令和3年度を初年度とする5年間の累計				(件)					☀ (向上)
(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業所への立入りが制限されていたことから、施設への実地指導を文書審査により実施したことが要因です。								■ (高)	

政策3

夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり

(教育文化)

施策の目指す姿

学校・家庭・地域が連携し、子どもたちの学びを支える地域社会が形成されることで、子どもたちがいきいきと安全に暮らすことができます。

施策の成果状況と評価

学校・家庭・地域が連携し、子どもたちの豊かな育ちを支え合う地域がつくられていると思う市民割合								
成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	38.6	37.3	36.2	→
(原因) 学校・家庭・地域が連携して地域ぐるみで児童・生徒の成長を支援する事業や地域行事は再開傾向にありますが、新型コロナウイルス感染症拡大前と比較して、その回数が減り、市民が参加する機会が減少したことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】				(横ばい)				
				(中)				

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 学校・家庭・地域の教育連携・協働の推進

学校・家庭・地域が連携した取組に参加している市民割合									
成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	16.4	12.4	12.7	→	
教育活動状況調査の結果				(%)					
(原因) 学校・家庭・地域が連携して地域ぐるみで児童・生徒の成長を支援する事業や地域行事は再開傾向にありますが、新型コロナウイルス感染症拡大前と比較して、その回数が減り、市民が参加する機会が減少したことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】									☁ (横ばい)
									▬ (中)

基本事業01 学校・家庭・地域の教育連携・協働の推進

学校だけでは得られない知識や経験を地域住民から学ぶことができていると感じている児童の割合 (小学生)									
成果	課独自調査	上がると良い	生涯学習課	%	77.3	73.8	74.7	→	
教育活動状況調査の結果				(%)					
(原因) 学校・家庭・地域が連携して地域ぐるみで児童の学びを支援する事業や地域行事は再開傾向にありますが、新型コロナウイルス感染症拡大前と比較して、その回数が減り、児童が参加する機会が減少したことが要因と考えられます。 【前期基準値取得年度は、令和2年度です。】									☁ (横ばい)
									▬▬ (高)

基本事業01 学校・家庭・地域の教育連携・協働の推進

学校だけでは得られない知識や経験を地域住民から学ぶことができていると感じている生徒の割合 (中学生)									
成果	課独自調査	上がると良い	生涯学習課	%	80.9	66.3	69.2	→	
教育活動状況調査の結果				(%)					
(原因) 学校・家庭・地域が連携して地域ぐるみで生徒の学びを支援する事業や地域行事は再開傾向にありますが、新型コロナウイルス感染症拡大前と比較して、その回数が減り、生徒が参加する機会が減少したことが要因と考えられます。 【前期基準値取得年度は、令和2年度です。】									☂ (低下)
									▬ (中)

基本事業02 青少年の健全育成

青少年育成活動事業の延べ参加者数									
代替	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	839	839	1,643	→	
令和3年度から事業内容に大きな変更がありました。				(人/年)					
(原因) 地域住民が小学校で放課後の空き教室などを活用して子どもに体験の場を提供する放課後子ども教室や、授業などを支援する学校支援活動について、感染症対策をした上で回数を増加させたことが要因です。 【前期基準値取得年度は、令和3年度です。】									☀ (向上)
									👑 (達成)

施策の目指す姿

児童・生徒の確かな学力、豊かな心、健やかな体が育まれることで、夢や希望が持てる充実した学校生活を送ることができています。

施策の成果状況と評価

学校生活が楽しいと思う児童割合（小学生）									
成果	課独自調査	上がると良い	教育総務課	%	92.3	88.3	87.3	→	
教育活動状況調査の結果				(%)					(横ばい)
(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、学校活動に様々な制限がある中で指標値は若干低下したものの、ICTの活用による学習の充実など各校の様々な工夫により微減傾向にとどまったことが要因と考えられます。								(中)	

学校生活が楽しいと思う生徒割合（中学生）									
成果	課独自調査	上がると良い	教育総務課	%	81	85.4	82.2	→	
教育活動状況調査の結果				(%)					(横ばい)
(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、学校活動に様々な制限がある中で、各校の工夫により、学習や行事活動、部活動等に取り組むことができたことが要因と考えられます。								(達成)	

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 確かな学力の育成

授業がわかると答える児童割合（小学生）											
成果	課独自調査	上がると良い	教育総務課	%	90.3	88.1	86.4	→			
教育活動状況調査の結果										☁ (横ばい)	
(原因) ICT機器の活用により学習方法を工夫したことで大きな変動はありませんでしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、児童の学び合い活動が制限されたことが要因と考えられます。										■ (中)	

基本事業01 確かな学力の育成

授業がわかると答える生徒割合（中学生）											
成果	課独自調査	上がると良い	教育総務課	%	80.7	84.1	79.3	→			
教育活動状況調査の結果										☁ (横ばい)	
(原因) ICT機器の活用により学習方法を工夫したことで大きな変動はありませんでしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、生徒の学び合い活動が制限されたことが要因と考えられます。										■ (高)	

基本事業02 豊かな心の育成

不登校出現率											
代替	業務取得	下がると良い	教育総務課	%	2.4	2.8	3	→			
児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査を基に算出										☁ (横ばい)	
(原因) 学校生活や家庭生活に対する悩みや不安を抱え学校不応や登校渋りとなる児童・生徒が増加しています。新型コロナウイルス感染症の影響による学校活動の制限により、学級活動や学校行事の規模が縮小され、人間関係の構築を図る機会が減少したことなど、様々な不安、ストレスによる影響が生じていることが要因と考えられます。										■ (中)	

基本事業02 豊かな心の育成

再登校率											
代替	業務取得	その他	教育総務課	%	19.8	35.2	42.8	—			
児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査を基に算出										---	
(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響等により不登校児童生徒数や不登校出現率が微増傾向にある中で、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる相談対応、学び支援教室等の別室登校による対応、心のケアハウスの運営など、予防を含めた様々な支援を行ってきたことが要因と考えられます。 【令和3年度から指標のとり方を変更しています。】										---	

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 健やかな体の育成

基本的な生活習慣を身に付けている児童割合（小学生）									
成果	業務取得	上がると良い	教育総務課	%	87.1	90.3	86.3	→	
全国学力・学習状況調査の結果									(横ばい)
(原因) 朝食を食べる習慣や適切な睡眠などの基本的な生活習慣について、学校や家庭で声掛け等を推進してきたことが微減傾向にとどまった要因と考えられます。									(中)

基本事業03 健やかな体の育成

基本的な生活習慣を身に付けている生徒割合（中学生）									
成果	業務取得	上がると良い	教育総務課	%	81.7	87.8	84.6	→	
全国学力・学習状況調査の結果									(横ばい)
(原因) 朝食を食べる習慣や適切な睡眠などの基本的な生活習慣について、学校や家庭での声掛け等を推進してきたことが要因と考えられます。									(達成)

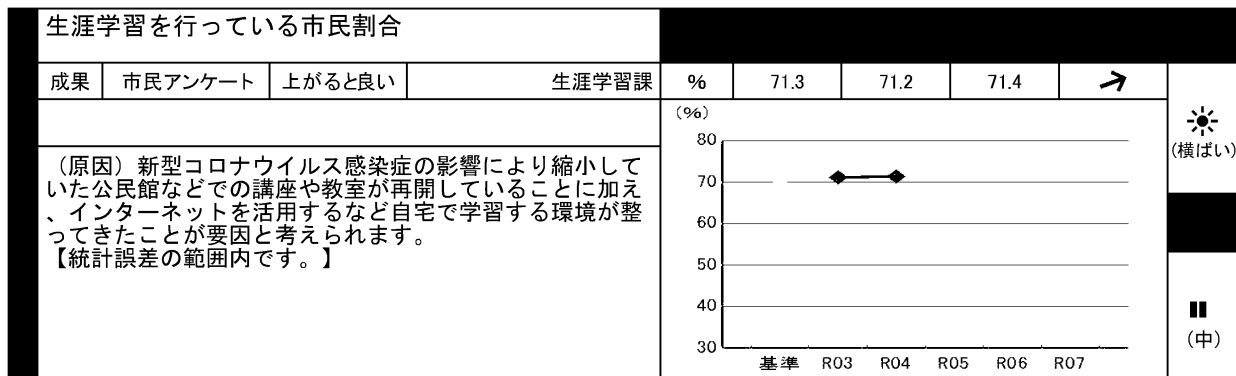
基本事業04 教育環境の保全と運営

授業及び学校生活に支障をきたした件数									
成果	業務取得	下がると良い	教育総務課	件/年	0	0	0	0	
									(横ばい)
(原因) 学校施設の維持管理に当たっては、定期的に施設設備の点検を行い、不具合発生前に修繕箇所を手当するなど、きめ細かい対応を行ったことが要因です。									(達成)

施策の目指す姿

生涯を通じて学び、活躍できる機会や場があることで、生きがいを持って社会に参加し、心豊かに暮らすことができます。

施策の成果状況と評価



□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 学びと発揮の機会の確保

学習機会に満足している市民割合									
成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	88.3	86.2	86.8	→	
(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により中止してきた各種講座等の再開や、インターネットなど多様な方法で学習できる環境が整ってきたことにより復調傾向にあります。新型コロナウイルス感染症の影響前と比較すると、学習活動に参加する機会が減少していることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲です。】					(%) 				☁ (横ばい)
									▬ (中)

基本事業01 学びと発揮の機会の確保

学習成果を生かしている市民割合									
成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	66.4	65.8	66.4	→	
(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、学習や発表の機会などが制限される期間が長期化する中、仕事・就職・趣味・健康・日常生活などで学習成果を生かしていると答えた方の割合が高かったことが横ばいの要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】					(%) 				☀ (横ばい)
									▬ (中)

基本事業02 文化芸術の振興

文化芸術の直接鑑賞をしている市民割合									
成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	53.3	49.9	57.8	→	
(原因) 歌唱・音楽演奏、映画や文化財・史跡などを鑑賞した方の割合が増加しました。新型コロナウイルス感染症の影響で減少していた鑑賞の機会が増加していることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】					(%) 				☀ (横ばい)
									▬ (中)

基本事業02 文化芸術の振興

文化芸術活動をしている市民割合									
成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	18.6	17.1	18.9	→	
(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響で減少していた文化芸術活動の機会が増加してきたことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】					(%) 				☀ (横ばい)
									▬ (中)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 生涯学習施設の保全と運営

生涯学習施設を利用している市民割合																							
代替	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	52.2	55	50.5	→															
(原因) 市民会館の利用について大幅に減少しており、大ホール、練習室等の改修により、一部施設を閉館していることが要因です。 【統計誤差の範囲内です。】				(横ばい)																			
				<table border="1"> <caption>生涯学習施設を利用している市民割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>50.5</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>52.2</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R07</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					年度	割合 (%)	基準	50.5	R03	52.2	R04	55	R05		R06		R07		(中)
年度	割合 (%)																						
基準	50.5																						
R03	52.2																						
R04	55																						
R05																							
R06																							
R07																							

施策の目指す姿

運動・スポーツに親しむ機会や場があり、生涯を通じて、運動・スポーツの楽しさや感動を分かち合うことで、活力をもって暮らすことができます。

施策の成果状況と評価

週1回以上運動・スポーツをしている市民割合																		
成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	46.2	46.5	45.7	→										
(原因)新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、集団でスポーツを行う人は減少傾向にありますが、ウォーキングやランニング、体操など個人で運動・スポーツを行う人の割合が増えていることが、横ばいの要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】				(横ばい)														
				<table border="1"> <caption>週1回以上運動・スポーツをしている市民割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>45.7</td> </tr> <tr> <td>R03</td> <td>46.2</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>46.5</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R07</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					年度	割合 (%)	基準	45.7	R03	46.2	R04	46.5	R05	
年度	割合 (%)																	
基準	45.7																	
R03	46.2																	
R04	46.5																	
R05																		
R06																		
R07																		

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 スポーツ機会の確保

運動・スポーツ機会に満足している市民割合										
成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	81.7	82.1	83.3	→		
(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により運動・スポーツが制限される期間が長期化するなか、自宅や屋外などで個人で取り組んでいることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】					(人/年)					☀️ (横ばい)
					基準 R03 R04 R05 R06 R07					■ (高)

基本事業01 スポーツ機会の確保

スポーツ等の教室・大会の参加者数										
代替	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	5,330	4,748	7,131	5,500		
(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により休止していた社会体育事業やスポーツ団体の活動が再開されたことが要因です。					(人/年)					☀️ (向上)
					基準 R03 R04 R05 R06 R07					🏰 (達成)

基本事業02 社会体育施設等の保全と運営

社会体育施設等の利用者数										
代替	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	296,806	215,082	235,053	350,000		
市内公有社会体育施設及び学校開放施設の利用者数です。 (原因) 新型コロナウイルス感染症への対策を行いながら社会体育施設運営を行ったものの、屋内施設の利用が低調であったことが要因と考えられます。					(人/年)					☔️ (低下)
					基準 R03 R04 R05 R06 R07					■ (低)

施策の目指す姿

文化財が適切に保護・継承され、まちづくりに有効に活用されることで、市民が歴史と文化を身近に感じることができています。

施策の成果状況と評価

市の歴史と文化を身近に感じている市民割合									
成果	市民アンケート	上がると良い	文化財課	%	55.2	56.1	58.3	→	
(原因) 日本遺産の普及啓発や南門等復元整備の進捗に伴いメディアで取り上げられたことや、見学会等を実施したことにより、市内の文化財を知る機会が増えたことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】				(％) 					☀ (横ばい)
									■ (中)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 文化財の調査・保存の推進

適正に調査・保護された文化財の件数											
代替	業務取得	その他	文化財課	件	188	244	187	—			
周知の埋蔵文化財包蔵地の届出等件数及び特別史跡内現状変更申請件数										---	
(原因) 近年は高い住宅需要を反映し、届出件数が高水準で推移しています。											

基本事業02 文化財の活用促進

活用されている文化財の面積											
成果	業務取得	上がると良い	文化財課	㎡	193,393	248,995	288,406	360,895			
(原因) 中央公園整備地の供用開始に伴い史跡の活用面積が増加したことが要因です。										☀️ (横ばい)	
										▬ (高)	

基本事業02 文化財の活用促進

市内所在の文化財等訪問者数											
代替	業務取得	上がると良い	文化財課	人/年	135,009	81,434	130,498	170,000			
(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により中止されていた各種イベントの再開等により、復調傾向にあります。新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、屋内での体験等の利用が低調であったことが要因と考えられます。										☁️ (横ばい)	
										▬ (中)	

基本事業03 文化財の普及啓発

市内所在文化財等の平均認知項目数											
成果	市民アンケート	上がると良い	文化財課	項目	8.06	7.8	7.6	➔			
(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、文化財を知るきっかけとなる屋内展示施設の入館者数が低調であったことが要因と考えられます。										☁️ (横ばい)	
										▬ (中)	

政策4

都市と自然の環境調和 快適で潤いのあるまちづくり

(生活環境)

施策の目指す姿

市民、事業者、行政により地球環境に優しい取組と生活環境を守る取組が行われることで、調和のとれた自然環境と生活環境の中で暮らすことができます。

施策の成果状況と評価

地球環境に優しい取組のうち主要対策に取り組んでいる市民割合											
成果	市民アンケート	上がると良い	環境施設課	%	48	48.7	51.1	→			
				(%)						☀️ (横ばい)	
(原因)「ごみの減量・分別・適正な処理やリサイクルを行っている」、「マイバック、マイバスケットを持参し、不要な包装は断っている」の割合が高く、「冷房は28℃以上、暖房は20℃以下に設定している」の割合も伸びていることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】									▬ (中)		

市内の自然環境が適切に保全されていると思う市民割合											
成果	市民アンケート	上がると良い	環境施設課	%	54.1	57.3	57.1	→			
				(%)						☀️ (横ばい)	
(原因)コンパクトな市域内に史跡を含む里山的自然環境、水田や河川などを有していることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】									▬ (中)		

快適な生活環境になっていると思う市民割合											
成果	市民アンケート	上がると良い	環境施設課	%	63.2	64.7	64.5	→			
				(%)						☀️ (横ばい)	
(原因)騒音、犬・猫の管理、樹木・雑草の繁茂、ごみ集積所の管理等の改善要望はあるものの、改善要望に対して適切に対応していることや環境出前講座等による啓発を行っていることなどにより、意識向上が図られていることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】									▬ (中)		

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 環境啓発の推進

市民を対象とした環境保全に関する環境講座の参加者数									
代替	業務取得	上がると良い	環境施設課	人/年	1,556	909	1,072	1,711	
(原因) 環境講座は一定程度開催できたものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、講座への参加者数が伸び悩んでいることが要因です。					(人/年) 				☂ (低下)
									▬ (中)

基本事業01 環境啓発の推進

子どもを対象とした環境教育の参加者数									
代替	業務取得	上がると良い	環境施設課	人/年	946	1,048	1,032	1,027	
(原因) 児童数が減少傾向にあるものの、小学校の全面的な協力により、対象児童に対して環境副読本を提供していることやこどもエコ日記の回収率が高くなっていることが要因です。					(人/年) 				☀ (向上)
									🏰 (達成)

基本事業02 生活公害等の抑制

生活公害苦情件数									
社会	業務取得	その他	環境施設課	件/年	67	121	95	—	
(原因) 騒音や悪臭のほか、空地や隣地の雑草や樹木の繁茂に対する苦情が半数以上を占めており、適正に管理がされていないことが要因と考えられます。					(件/年) 				---

基本事業02 生活公害等の抑制

事業者・事業所に関する苦情件数									
社会	業務取得	その他	環境施設課	件/年	24	35	32	—	
(原因) 騒音に対する苦情が多数を占めており、適正に管理されていないことが要因と考えられます。					(件/年) 				---

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 水質環境等の向上

河川の水質基準の達成割合									
社会	業務取得	その他	環境施設課	%	99	99	100	—	
市・県の公共用水域水質測定の結果				(%) 					---
(原因) 市と県により砂押川3か所および貞山運河1か所で4検体ずつ毎月実施している水質測定のほか、定期的に現地確認をしていることが要因と考えられます。									---

基本事業03 水質環境等の向上

特定事業所の水質基準の達成割合									
成果	業務取得	上がると良い	施設整備課	%	76	100	81.3	100	
				(%) 					☀ (横ばい)
(原因) 計画的に特定事業所への指導を実施していることが要因と考えられます。									■ (高)

施策の目指す姿

ごみの適切な処理と再資源化の促進により、環境負荷の少ない循環型社会を形成することができています。

施策の成果状況と評価

市民1人当たり年間最終処分量（家庭ごみ）									
成果	業務取得	下がると良い	環境施設課	kg/年	50	50	51	48	
(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、生活スタイルが変化し、家で過ごす時間が増えたことが要因と考えられます。				(kg/年)					☁ (横ばい)
									■ (中)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 ごみの適切な処理

市民1人当たり年間可燃ごみ排出量（家庭ごみ）									
成果	業務取得	下がると良い	環境施設課	kg/年	185	193	188	176	
				(kg/年)					☁ (横ばい)
<p>(原因) 広報多賀城や市ホームページによりごみ減量・分別の周知啓発を行ってきたものの、新型コロナウイルス感染症の影響で生活スタイルが変化したことが要因と考えられます。</p>								▬ (中)	

基本事業01 ごみの適切な処理

事業系ごみの年間排出量									
成果	業務取得	下がると良い	環境施設課	t/年	6,059	5,537	5,469	5,817	
				(t/年)					☀ (向上)
<p>(原因) ごみ減量指導員による事業系ごみの啓発を行ってきたことや新型コロナウイルス感染症の影響で生活スタイルが変化したことが要因と考えられます。</p>								🏰 (達成)	

基本事業02 再資源化等の促進

分別・リサイクルに取り組んでいる市民割合									
成果	市民アンケート	上がると良い	環境施設課	%	70.9	72.4	72	➔	
				(%)					☀ (横ばい)
<p>(原因) 環境出前講座や広報多賀城等により啓発を行っているほか、社会的に脱プラスチックなどの取組が進んでいることで、「ごみの減量・分別・適正な処理やリサイクルを行っている」割合が高くなっていることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】</p>								▬ (中)	

基本事業02 再資源化等の促進

小型家電回収量									
成果	業務取得	上がると良い	環境施設課	kg/年	7,085	9,149	9,968	12,044	
				(kg/年)					☀ (向上)
<p>(原因) 環境出前講座や広報多賀城等により啓発を行っていることで、小型家電回収に対する認知度が上がっていることが要因と考えられます。</p>								▬ (中)	

施策の目指す姿

住環境と景観を守る取組が行われることで、緑ある快適なまちなみが形成されています。

施策の成果状況と評価

良好なまちなみの保全に満足している市民割合								
成果	市民アンケート	上がると良い	都市計画課	%	87.5	89.1	86.6	→
(原因)「多賀城市都市計画マスタープラン」に基づいてまちづくりを進めているとともに、多賀城駅周辺の中心市街地整備が進んだこと、地区計画などのまちづくりのルールが徹底されていることにより、現状を維持している要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】				(横ばい)				
				(中)				

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 住環境づくりの推進

住宅の耐震化率									
成果	業務取得	上がると良い	都市計画課	%	86.8	—	—	95	
昭和56年以前建築物が対象。県に準じた算定方式で、住宅・土地統計調査(5年に1度)の結果									
(原因) 令和4年度は、住宅・土地統計調査の結果が国から公表されていないため、実績値を取得していません。【前期基準値取得年度は、平成30年度です。】									

基本事業01 住環境づくりの推進

耐震改修工事の補助件数 (累計)									
代替	業務取得	上がると良い	都市計画課	件	—	9	19	50	
前期目標値及び実績値は、令和3年度を初年度とする5年間の累計									
(原因) 固定資産税の納税通知書に併せて全世帯に耐震化促進のための案内を送付したことや、広報多賀城等でも積極的に周知したことが要因と考えられます。									

基本事業02 公園の保全と整備

公園の維持管理状況に満足している市民割合									
成果	市民アンケート	上がると良い	都市整備課	%	80.8	81.1	79.3	➔	
(原因) 定期的な公園パトロールの実施や情報収集等により、異常箇所の早期発見及び早期に修繕を実施したことや樹木の維持管理を行ってきたことが要因と考えられます。【統計誤差の範囲内です。】									

基本事業03 都市景観と都市施設の保全

まちなみの景観に満足している市民割合									
成果	市民アンケート	上がると良い	都市計画課	%	83.2	83.8	83.2	➔	
(原因) 用途地域や地区計画における秩序ある良好なまちなみの形成、街路樹や公園等の整備による緑の確保、生垣助成による緑化の推進、市民による花のまちづくりの活動等を実施していることが要因と考えられます。【統計誤差の範囲内です。】									

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 都市景観と都市施設の保全

まちなかの緑化状況に満足している市民割合								
成果	市民アンケート	上がると良い	都市計画課	%	82.2	82.7	81.9	→
(原因) 開発行為や中高層建築物に関する緑の確保、地区計画による生垣の設置、また、生垣や花のまちづくり補助による緑化など都市緑化を推進していることにより、現状を維持していると考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】				(横ばい)				
				(中)				

施策の目指す姿

インフラが計画的に保全されることで、安全で快適な生活環境を保つことができます。

施策の成果状況と評価

都市インフラの保全に満足している市民割合									
成果	市民アンケート	上がると良い	都市計画課	%	84.3	85.1	83.4	→	
(原因) 清水沢多賀城線、笠神八幡線整備事業等の復興事業が完了し、東日本大震災からの復興が目に見える形となり、かつ、交通の利便性が向上したことが現状を維持している要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】									(横ばい)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 都市計画の推進

-									
		その他	都市計画課	-	-	-	-	-	
この基本事業は、都市計画に基づくものであるため、指標は設定していません。									

基本事業02 道路の保全と整備

道路の維持管理状況に満足している市民割合									
成果	市民アンケート	上がると良い	都市整備課	%	74.9	76.2	75.3	→	
(原因) 定期的な市道パトロールの実施や情報収集等により、異常箇所の早期発見及び早期に施設の修繕を実施したことや、舗装補修工事及び道路改良工事により生活道路を維持していることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】									
					(横ばい) (中)				

基本事業03 雨水施設の保全と整備

下水道雨水面の整備率									
成果	業務取得	上がると良い	施設整備課	%	51.7	53.2	53.5	55.3	
(原因) 雨水幹線等の整備を計画的に行っていることが要因です。									
					(横ばい) (中)				

基本事業04 水道水の安全で安定的な供給

水道管耐震化率									
成果	業務取得	上がると良い	施設整備課	%	34.8	36.4	36.9	37.3	
対象となる水道管は、口径75mm以上の配水管です。									
(原因) 口径75mm以上の配水管の整備を計画的に行っていることが要因です。									
					(横ばい) (高)				

□基本事業の成果状況と評価

基本事業05 生活交通ネットワークの保全

市内を円滑に移動できると思う市民割合									
成果	市民アンケート	上がると良い	都市計画課	%	77	78.4	79	→	
(原因) 市内の道路整備が計画的に進捗していることや、多賀城駅周辺の交通の利便性が向上したことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】					(横ばい)				
					(中)				

基本事業05 生活交通ネットワークの保全

公共交通の平均利用者数									
社会	業務取得	その他	都市計画課	人/日	12,522	9,720	10,005	—	
多賀城駅、国府多賀城駅及び下馬駅の乗降客数並びに市内運行バスの乗客数の合計 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響による、行動制限が緩和されたことで回復基調にはありますが、外出控えやWeb会議の開催などが原因と考えられます。					(人/日)				

政策5


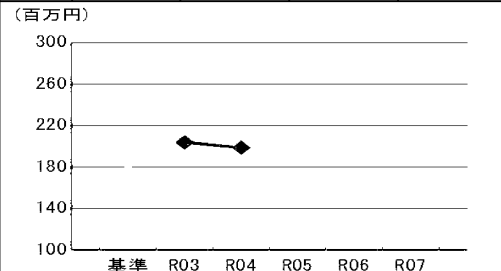
地域の資源と知恵をいかす 活気あふれるまちづくり

(産業活気)

施策の目指す姿

農業生産額が増加し、農業所得が向上することで、農業を将来にわたり希望を持って取り組む産業として継承することができています。

施策の成果状況と評価

農業総生産額									
社会	業務取得	上がると良い	産業振興課	百万円	180	204	199	—	
指標は2か年前の県統計実績値				(百万円)					 (横ばい)
(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、農業者の多くが作付する主食用米の需給バランスが崩れ、価格が下落したことが要因と考えられます。									

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 農地の保全

遊休未利用農地面積									
成果	業務取得	下がると良い	産業振興課	ha	0.8	0.8	0.8	0.8	
				(ha)					☀ (横ばい)
<p>(原因) 計画的な農業経営を実践している認定農業者をはじめとした担い手が、耕作困難となった農地を積極的に受託し、遊休未利用農地の発生防止に努めることにより、現状維持されていることが要因と考えられます。</p>								🏰 (達成)	

基本事業01 農地の保全

農業水利施設の不具合件数									
成果	業務取得	下がると良い	産業振興課	件/年	0	0	0	0	
				(件/年)					☀ (横ばい)
<p>(原因) 宝堰加瀬溜井管理組合が主体となり、農業者の方々が水利施設の点検及びパトロールを実施し、故障等の未然防止に努め、良好な状態を維持していることが要因です。</p>								🏰 (達成)	

基本事業02 農業経営基盤の強化

農地集積率									
成果	業務取得	上がると良い	産業振興課	%	56.7	68.9	68.4	70	
担い手耕作面積/ほ場整備対象農用地面積				(%)					☀ (横ばい)
<p>(原因) 高齢等の理由による担い手への耕作の委託や、大区画ほ場整備促進事業の完了により担い手への集積が進んだことが要因と考えられます。</p>								🏰 (高)	

基本事業02 農業経営基盤の強化

主食用米からの転作作付面積									
成果	業務取得	上がると良い	産業振興課	ha	44.9	101.7	118	100	
				(ha)					☀ (向上)
<p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により主食用米の需要バランスが崩れ、価格が下落し、生産の目安も減少したことに伴い、農業者が容易に転換できる、飼料用米の作付けを推進したことが要因と考えられます。</p>								🏰 (達成)	

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 農業担い手の育成支援

担い手農業者数									
成果	業務取得	上がると良い	産業振興課	人	61	66	66	61	
(原因) 大区画ほ場整備事業により、農地の集約化と作業の効率化、省力化が図られた結果、担い手が増加したことが要因と考えられます。				(人)					☀ (横ばい)
									👑 (達成)

基本事業03 農業担い手の育成支援

農業生産組織数									
代替	業務取得	上がると良い	産業振興課	組織	4	4	4	5	
(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい経営状況にあることから、新たに組織化へ踏み切る経営体が現れないことが要因と考えられます。				(組織)					☀ (横ばい)
									▮ (中)

施策の目指す姿

産業の成長と新たな挑戦を支えることで、地域の商工業が活性化し、意欲と希望のあるなりわいを支えることができます。

施策の成果状況と評価

市内総生産額(第二次産業)									
社会	業務取得	上がると良い	産業振興課	億円	299	335	291	—	
指標は2か年前の県統計実績値				(億円)					☔ (低下)
(原因) 復興需要の収束及び新型コロナウイルス感染症の影響により、建設業、製造業の業績が悪化していることが要因と考えられます。								---	

市内総生産額(第三次産業※公務除く)									
社会	業務取得	上がると良い	産業振興課	億円	1,061	1,171	1,103	—	
指標は2か年前の県統計実績値を基に第三次産業から公務を除いた値				(億円)					☀ (向上)
(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響を受けているものの、東日本大震災による影響から回復している業種が多く見られることが要因です。								---	

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 地域商業の活性化

食料品や日用品を市内で購入している市民割合									
成果	市民アンケート	上がると良い	産業振興課	%	94.4	92.2	92.9	→	
(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う外出控えにより、オンラインショッピングの活用が増加していることが要因と考えられます。ただし、市内に小売店舗が充実していること、経済対策による市内店舗への消費喚起策を行っていることにより、減少幅は低くなっています。 【統計誤差の範囲内です。】					(横ばい)				(達成)

基本事業01 地域商業の活性化

市内の飲食店を利用する市民割合									
成果	市民アンケート	上がると良い	産業振興課	%	63.6	64.5	61.2	→	
(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う外出控えが要因と考えられます。ただし、経済対策により市内店舗への消費喚起策を行ったことにより、減少幅は低くなっています。 【統計誤差の範囲内です。】					(横ばい)				(中)

基本事業02 商工業経営力の向上

市内の事業者数									
社会	業務取得	上がると良い	産業振興課	事業者	1,644	1,644	1,651	—	
(原因) 新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和されてきたことに伴い、飲食サービス業が増加したことが要因です。					(向上)				(低)

基本事業03 起業・挑戦の促進

市の創業支援を受けて創業した人の数（累計）									
成果	業務取得	上がると良い	産業振興課	人	—	1	2	25	
前期目標値及び実績値は、令和3年度を初年度とする5年間の累計 (原因) 創業支援事業を通じ、創業の機運醸成を行っているものの、実際に創業に至るまでには準備等にある程度の期間を要することが要因と考えられます。					(横ばい)				(低)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業04 就労環境向上の促進

有効求人倍率									
社会	業務取得	上がると良い	産業振興課	倍	0.97	0.82	0.85	—	
塩釜公共職業安定所管内における当該年度3月時点の率									(低下)
(原因) 新型コロナウイルス感染症による影響で求人数が減少したことが要因と考えられます。									

施策の目指す姿

本市ならではの魅力的な資源の付加価値を高めることで、観光客が増加し、賑わいを創り出すことができています。

施策の成果状況と評価

まちに賑わいがあると感じる市民割合										
成果	市民アンケート	上がると良い	市民文化創造課	%	27.5	28.3	30.6	→		
(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響下ではあるものの、多賀城跡あやめまつり等のイベントが徐々に再開されたことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】				(％) 					☀️ (横ばい)	
				(中) ■						

観光客入込数										
成果	業務取得	上がると良い	市民文化創造課	千人/年	651	453	596	670		
暦年での人数。県観光統計実績値 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により中止されていた各種イベントが再開されましたが、開催したイベント等の入込数には未だその影響が残っていることが要因と考えられます。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響が発生する前の令和元年の観光客入込数は651,089人であり、観光客入込数は回復傾向にあります。				(千人/年) 					☔️ (低下)	
				(中) ■						

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 観光受入体制の構築

観光客の満足度										
成果	課独自調査	上がると良い	市民文化創造課	%	73	73	92.7	→		
(原因) これまで新型コロナウイルス感染症の影響下にあつて、旅行の自粛やイベントの中止等が続いていた状況が回復し、待ち望んでいた観光客の期待が表れたことが要因と考えられます。 【前期基準値取得年度は、令和3年度です。】				(％) 					☀ (向上)	
									■■■ (高)	

基本事業02 地域資源の付加価値創造

新たな魅力が創出された地域資源等の個数（累計）										
成果	業務取得	上がると良い	市民文化創造課	個	—	1	3	5		
前期目標値及び実績値は、令和3年度を初年度とする5年間の累計 (原因) 古代米を活用したカレーを提供したイベントにより、古代米と歴史という地域資源が活用され、また、将棋を資源として友好都市である天童市とも連携して、交流人口の拡大に取り組む「多賀城市長杯交流将棋大会」が市民活動団体により開催されるなど、新たな魅力創出につながる地域資源活用が行われたことが要因です。				(個) 					☀ (向上)	
									■■ (中)	

政策6

地域の未来を共に創る 絆と誇りを築くまちづくり

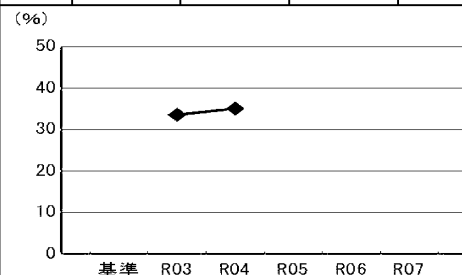
(地域創生)

施策の目指す姿

地域の自治活動などの公益的活動に多くの市民が参加し、自立的で継続的な地域経営が行われ、地域課題の解決やまちの良さの向上が図られることで、人とまちが共に輝く地域づくりを進めることができます。

施策の成果状況と評価

地域自治活動に参加している市民割合								
成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	37.7	33.6	35.1	→
(原因) 地域経営基盤構築事業の実施で、自治活動への意識付けは行っているものの、新型コロナウイルス感染症の影響により地域の活動が行えなかったことで、参加する機会が減少したことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】				(横ばい)				
				(中)				



□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 地域経営の基盤構築

地域経営の仕組みや体制の構築に向けた協議等の回数（累計）									
代替	業務取得	上がると良い	地域コミュニティ課	回	—	6	13	30	
前期目標値及び実績値は、令和3年度を初年度とする5年間の累計				(回) 					☀ (横ばい)
(原因) それぞれの自治会・町内会での取組、課題等について、既存会議の枠組みを活用しながら、情報を共有することができたことが要因です。									▬ (中)

基本事業02 自治会・町内会活動の促進

自治会・町内会活動の必要性を理解している市民割合									
成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	37.9	33.2	32.5	➔	
(原因) 地域自治活動(自治会・町内会、子ども会、老人会、地域清掃、見守り活動など)に参加しているものの、自治会・町内会に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響により、数年間活動が行えず、暮らしやすい生活の場づくりに役立っていると感じる機会が減少したことが要因と考えられます。				(%) 					☂ (低下)

基本事業02 自治会・町内会活動の促進

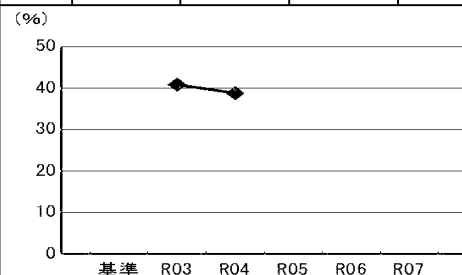
自治会・町内会の加入率									
代替	業務取得	上がると良い	地域コミュニティ課	%	85.1	84.4	84.7	86	
(原因) 自治会・町内会活動の必要性を理解している市民が減少したことが要因と考えられます。				(%) 					☁ (横ばい)

施策の目指す姿

市民活動団体や企業など多様な主体との連携や協働により、活動の輪が広がることで、誰もが暮らしやすいまちを形成することができています。

施策の成果状況と評価

多様な主体がまちづくりに関わっていると思う市民割合								
成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	42.5	40.9	38.8	→
(原因) オンラインによるまちづくりに関わる機会は増えてきているものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、直接対面で関わる機会が減少したことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】				(横ばい)				
				(中)				



□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 市民活動・ボランティア活動の支援

団体情報ファイルに登録されている市民活動団体数									
成果	業務取得	上がると良い	地域コミュニティ課	団体	306	334	343	356	
各年度末の数値。登録団体は近隣2市3町の団体を対象									☀ (向上)
(原因) 福祉、子どもの育成・支援、まちづくり等の分野で登録団体が増加しました。市民活動サポートセンターでの相談対応を経て、新たな取組を始めた団体があったことが要因と考えられます。									■ (中)

基本事業01 市民活動・ボランティア活動の支援

市民活動等への参画意思のある市民割合									
成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	45.9	47.1	47.2	➔	
各年度末の数値。登録団体は近隣2市3町の団体を対象									☀ (横ばい)
(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、市民活動をはじめとする各種活動が感染対策を講じながら開催したことが要因と考えられます。【統計誤差の範囲内です。】									■ (中)

基本事業02 共生社会の推進

性別や国籍等で差別されず、人権が尊重されるまちだと思える市民割合									
成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	52.4	43	43.8	➔	
各年度末の数値。登録団体は近隣2市3町の団体を対象									☂ (低下)
(原因) 「わからない」と回答したポイントが増加している状況から、ポスターやチラシによる啓発をしているものの、多様複雑化している課題でもあるため、地域社会の現状を理解できるような機会が不足していることが要因と考えられます。									■ (中)

基本事業03 職員の協働実践意識の醸成

市民参画や協働を取り入れている事業数									
成果	業務取得	上がると良い	地域コミュニティ課	事業	72	89	115	80	
各年度末の数値。登録団体は近隣2市3町の団体を対象									☀ (向上)
(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、感染対策を講じながら、市民が主体的に関わる取組や、市、市民、市民活動団体等が対等な立場で協力し、各種事業に取り組んだことが要因と考えられます。【前期基準値取得年度は、令和2年度です。】									👑 (達成)

施策の目指す姿

本市ならではの地域資源がいかされることで、このまちへの愛着や誇りといったシビックプライドが醸成され、市民が主体的に創造的な活動を行おうとする環境を育むことができます。

施策の成果状況と評価

暮らしの中に多賀城らしさを感じる市民割合								
成果	市民アンケート	上がると良い	市民文化創造課	%	22.8	24.2	23.4	→
(原因) 多賀城創建1300年記念関連事業として多種多様な事業を実施したほか、史跡を活用したイベントの実施や、多賀城の魅力発信に重点を置いた冊子発行のほか、若い世代にも興味を持ってもらえるよう市SNSによる情報発信を行ったことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】				(横ばい)				
				(中)				

多くのことにチャレンジできるまちだと思える市民割合								
成果	市民アンケート	上がると良い	市民文化創造課	%	18.6	21.1	22.2	→
(原因) 多賀城創建1300年を契機に、ロゴマーク活用による商品開発や創建1300年記念イベントの実施を促す環境が整えられたこと、文化・芸術関連のワークショップ、ビジネスプランコンテスト、デジタルキャンプなど市民参画の取組を多様なチャンネルで実施したことが、要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】				(横ばい)				
				(中)				

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 まちの魅力発見の推進

歴史文化資源活用事業参加者数									
代替	業務取得	上がると良い	市民文化創造課	人/年	7,976	3,634	39,699	12,000	 (向上)
				(人/年)					
(原因) 歴史文化資源を活用した「多賀城 光のインスタレーション」を3年ぶりに開催、昨年秋にオープンした多賀城跡城前官衙エリアでのコンサート等を多数実施したことが、要因と考えられます。									

基本事業02 まちづくり情報の共有と発信

まちの情報を多様な媒体から得ている市民割合									
成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	86	89.2	89.8	➔	 (横ばい)
				(%)					
(原因) 広報多賀城から情報を得ているという回答が最も高く7割を超えており、次いで自治会・町内会の回覧板、テレビ、議会だより、市ホームページ、新聞、市公式LINEの順になっています。市民が自分に合った媒体で市からの情報を得ていることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】									

基本事業02 まちづくり情報の共有と発信

まちづくりへの意見を伝える機会や手段に満足している市民割合									
成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	73.9	76.2	73.7	➔	 (横ばい)
				(%)					
(原因) 市政提言箱「さざんか」のほか、電子メールや市ホームページのメールフォーム等での問合せ環境を整備していることが、現状を維持している要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】									

基本事業03 ふれあい交流の促進

ふれあいの場・機会への参加者数									
代替	業務取得	上がると良い	市民文化創造課	人/年	821	1,161	799	1,200	 (低下)
				(人/年)					
(原因) まちへの親しみを深めることができる多種多様な事業を多数実施しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により市民参加型の舞台公演事業を開催しがたかったことが、要因と考えられます。									

政策7

縮減社会への対応 持続可能な行財政経営

(行財政経営)

施策の目指す姿

行政事務が適正に執行され、市民からの理解と信頼の得られるサービスを提供することができます。

施策の成果状況と評価

市民からの理解と信頼の得られる行政サービスが提供されていると思う市民割合									
成果	市民アンケート	上がると良い	総務課	%	70.9	74.9	73.9	→	
(原因) 令和3年度と同様に行政事務が適正に執行されたことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】				(%)					
				(横ばい)					
					(中)				

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 適正な契約事務の執行

入札契約監視委員会の改善事項数				財政課				
成果	業務取得	下がると良い		件/年	0	0	0	0
入札契約監視委員会は、令和2年度から設置しています。				(件/年) 	--- (達成)			
(原因) 入札契約監視委員会において入札及び契約手続きの状況を審議した結果、改善事項数は0件でした。これは、関係法令に基づき入札及び契約手続きを適正に実施していることやこれまでの入札制度の改善による成果が要因と考えられます。								

基本事業02 適正な会計事務の執行

例月出納検査の指導件数割合				会計課				
代替	業務取得	下がると良い		%	0.03	0.02	0.06	→
例月出納検査の指導件数割合				(%) 	(横ばい) (達成)			
(原因) 適正な出納審査の実施ができていることが要因です。								

基本事業03 適正な選挙事務の執行

選挙に関する事務処理ミス・トラブル件数				選挙管理委員会事務局				
成果	業務取得	下がると良い		件/年	0	1	0	0
選挙に関する事務処理ミス・トラブル件数				(件/年) 	(向上) (達成)			
(原因) 事務従事職員説明会で適切な説明を行ったことや選挙機器を配備したことが要因と考えられます。								

基本事業03 適正な選挙事務の執行

選挙の投票率（参議院）				選挙管理委員会事務局				
社会	業務取得	その他		%	51.94	-	50.59	-
選挙の投票率（参議院）				(%) 	--- ---			
(原因) 有権者(市民)の政治・社会に対する関心が低くなってきていることが要因と考えられます。								

□基本事業の成果状況と評価

基本事業04 公正な監査事務の執行

定期監査指摘事項等の改善率									
代替	業務取得	上がると良い	監査委員事務局	%	100	100	100	→	
(原因) 監査の指摘事項等について、措置状況の報告を求めることを徹底し、改善を促していることが要因と考えられます。				(%) 					☀ (横ばい)
				(達成) 					

基本事業04 公正な監査事務の執行

例月出納検査指摘事項等の改善率									
代替	業務取得	上がると良い	監査委員事務局	%	100	100	100	→	
(原因) 例月出納検査の指摘事項等について、改善内容の報告を求めることで改善を促していることが要因と考えられます。				(%) 					☀ (横ばい)
				(達成) 					

基本事業05 保有情報の適正な管理

情報漏えい事件数									
成果	業務取得	下がると良い	企画課 ICT 推進室	件/年	1	3	7	0	
(原因) 証明書や通知書の送付や書類の受付を行う際の確認体制に不備があったことなどが要因です。				(件/年) 					☂ (低下)
				(中) 					

施策の目指す姿

組織力と職員力が向上し、発揮されることで、めまぐるしく変化する社会環境と、多様化する行政課題に対応することができています。

施策の成果状況と評価

職場にチームワークがあり、活気に満ちていると思う職員割合									
成果	職員アンケート	上がると良い	総務課	%	70.1	72.3	77.2	→	
(原因) 人材育成基本方針に定める求められる多賀城市職員像が、より一層職員の中で浸透したことや新型コロナウイルス感染症の影響によりコミュニケーションに制約がある中であっても、職員間で連携を深めて業務を進めるなどの取組が推進されたことで、チームワークが高まったことが要因と考えられます。									☀ (横ばい)
									■ (高)

組織・職員が、市民・地域の問題や行政課題に関し、迅速かつ適切に対応できていると思う職員割合									
成果	職員アンケート	上がると良い	総務課	%	73.1	75	74.7	→	
(原因) 新たな行政課題の増加や突発的な対応が求められる事案が増加している中であっても、行政評価や育成評価制度の運用によって職員の目的意識が醸成され、改善・解決のための様々な取組が推進されたことが要因と考えられます。									☀ (横ばい)
									■ (高)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 人材の育成

研修受講等によって、能力等の向上が図られたと思う職員割合								
成果	職員アンケート	上がると良い	総務課	%	69.6	71.3	73.7	→
				(%)				☀ (横ばい)
<p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、オンライン研修を実施するなど状況に応じた研修を開催し、職員の能力開発の機会を提供したことや有志の職員が提案・企画し実施する「自主研究グループ企画研修」を実施したこと、また外部の研修機関が主催する研修に積極的に職員を派遣したことなどにより、職員の成長意欲の喚起に繋がったことが、要因と考えられます。</p>							■ (高)	

基本事業02 組織力の向上と適正な人事管理

能力等を発揮し、意欲的に業務に取り組める職場だと思う職員割合								
成果	職員アンケート	上がると良い	総務課	%	73.1	70.7	71.6	→
				(%)				☁ (横ばい)
<p>(原因) 新たな行政課題の増加や突発的な対応が求められる事案が増加していることにより、業務量や業務内容に対する職員の負担感が大きくなっていることが要因と考えられます。</p>							■ (中)	

基本事業03 安全・安心に働ける環境の確保

健康で安心して働くことができると思う職員割合								
成果	職員アンケート	上がると良い	総務課	%	72.8	69.4	75.4	→
				(%)				☀ (横ばい)
<p>(原因) メンタルヘルス不調となる職員の早期発見・早期対応を目指すため、管理職を対象にラインケア研修を開催したことで管理職のマネジメント能力向上が図られたことや時間外勤務労働の縮減により、職員の心理的ストレス軽減に繋がったことが要因と考えられます。</p>							■ (高)	

基本事業03 安全・安心に働ける環境の確保

公務中に発生した労働災害件数								
成果	業務取得	下がると良い	総務課	件/年	5	1	1	0
				(件/年)				☀ (横ばい)
<p>(原因) 公用車の運行に伴う事故の防止を始めとして、公務中における事故や怪我の防止に対する職員の高い意識が組織内で広く浸透していることが要因と考えられます。</p>							■ (高)	

施策の目指す姿

能率的な企業経営が発揮されることで、将来にわたり持続可能な事業運営を行うことができている。

施策の成果状況と評価

経常収支比率（水道事業）									
成果	業務取得	上がると良い	企業経営課	%	107.3	117.6	118.3	109.1	
				(%)					☀ (向上)
<p>(原因) 令和2年度に水道料金の減額改定を行ったため収益は減少していますが、宮城県仙南・仙塩広域水道及び仙台分水の供給料金が引き下げられたことにより、費用が減少したことが要因です。</p>								🏰 (達成)	

経常収支比率（下水道事業）									
成果	業務取得	上がると良い	企業経営課	%	—	103	106.2	105.7	
<p>令和2年度から企業会計方式へ移行したことから、基準値を「—」としています。</p>				(%)					—
<p>(原因) 汚水事業については、汚水処理に要する経費を下水道使用料だけで賄える状況には達していませんが、雨水事業における利益が汚水事業における損失を上回っていることが要因です。</p>								🏰 (達成)	

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 健全な水道事業経営の維持

料金回収率									
成果	業務取得	上がると良い	企業経営課	%	101.8	111.5	112.2	103.7	
								 (向上)	
(原因) 令和2年度に水道料金の減額改定を行ったため収益は減少していますが、宮城県仙南・仙塩広域水道及び仙台分水の供給料金が引き下げられたことにより、費用が減少したことが要因です。								 (達成)	

基本事業01 健全な水道事業経営の維持

企業債残高対給水収益比率									
成果	業務取得	下がると良い	企業経営課	%	183	181	179.9	188.4	
								 (向上)	
(原因) 企業債の計画的な発行や償還に努めた結果、企業債残高が毎年減少していることが要因です。								 (達成)	

基本事業02 健全な下水道事業経営の維持

経費回収率									
成果	業務取得	上がると良い	企業経営課	%	85.2	88.8	88.4	100	
								 (向上)	
(原因) 老朽管調査業務委託料や固定資産除却費が増加したものの、企業債残高の減少に伴い支払利息が減少したことが要因です。								 (中)	

基本事業02 健全な下水道事業経営の維持

企業債残高対事業規模比率									
成果	業務取得	下がると良い	企業経営課	%	719	652.7	664.7	640.2	
								 (向上)	
(原因) 企業債の計画的な発行や償還に努めた結果、企業債残高が毎年減少していることが要因です。								 (中)	

施策の目指す姿

行財政経営資源が適切に把握、投資されることで、時勢の変化に対応した効果的・効率的な行財政経営を行うことができます。

施策の成果状況と評価

効果的・効率的なまちづくりが進められていると思う職員割合									
成果	職員アンケート	上がると良い	企画課	%	67.2	70.7	68.6	→	
(原因) 行政評価システムを活用した行財政経営について、一定の理解が得られていることがうかがえる一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が計画通りに展開できず、効果的・効率的な行財政経営が進めにくかったことが大きな伸びにつながらない要因と考えられます。				(%) 					☀ (横ばい)
									■ (高)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 行政評価による事業のマネジメント

行政評価の考え方を意識して事業を推進している職員割合										
成果	職員アンケート	上がると良い	企画課	%	94.1	94.7	93.7	→		
(原因) 行政評価に関する研修等を実施していますが、退職に伴う職員の入れ替えによって、若手職員が増加し、行政評価の考え方が定着するまでに時間を要していることが要因と考えられます。					(横ばい)					
					(高)					

基本事業02 健全な財政の維持

単年度基礎的財政収支（プライマリーバランス）										
成果	業務取得	上がると良い	財政課	百万円	4,189	1,493	3,041	0		
目標値は0以上。(歳入決算額-市債借入額)-(歳出決算額-市債償還額)					(百万円)					
(原因) 定期償還に加え繰上償還を実施した前期基準年度である平成31年度に比べ、令和4年度においては、定期償還のみを実施したこと及び市庁舎耐震対策等事業や文化センター改修事業等の比較的大きな起債借入れを実施したことが要因と考えられます。					(低下)					
					(達成)					

基本事業02 健全な財政の維持

市税の収納率										
成果	業務取得	上がると良い	収納課	%	97.9	98.1	98.1	→		
税目：市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、都市計画税					(向上)					
(原因) 現年分課税に対する収納率の向上が見られました。個人の所得が新型コロナウイルス感染症の影響からの回復傾向にあり、期限内納付が促進されたことが要因と考えられます。					(達成)					

基本事業03 市有財産の保全と積極活用

計画的な改修達成率										
成果	業務取得	その他	環境施設課	%	90	75	100	100		
公共施設等総合管理計画で当該年度に更新予定の施設数に対する達成率					(達成)					
(原因) 文化センター、多賀城小学校、高崎中学校、学校給食センターなどの設備等の改修を行ったことが要因です。					(達成)					

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 市有財産の保全と積極活用

事故発生による保険金支払い件数									
成果	業務取得	その他	財政課	件/年	0	0	0	0	
(原因) 事故発生による保険金支払い件数は0件でした。これは、事故の未然防止策として市有財産の定期点検等といった適切な管理のもと運営されていることが要因です。				(件/年)					--- (達成)
				基準 R03 R04 R05 R06 R07					

基本事業04 ICT等の積極活用による効率化の推進

Web上で手続きが可能な業務数									
成果	業務取得	上がると良い	企画課ICT推進室	件	12	36	84	➔	
(原因) 国の自治体DX推進計画や多賀城市ICT利活用方針に基づく取組を推進すべく、調整等を進めたことによって、Webフォームによる電子申請に対応した業務数が増加したことが要因です。				(件)					(向上) (達成)
				基準 R03 R04 R05 R06 R07					

基本事業04 ICT等の積極活用による効率化の推進

ICTの活用により効率化が図られた業務数									
代替	業務取得	上がると良い	企画課ICT推進室	業務	53	53	109	➔	
(原因) 国の自治体DX推進計画や多賀城市ICT利活用方針に基づく取組を推進すべく、調整等を進めたことによって、RPAやWebフォームによる電子申請を導入した業務数が増加したことが要因です。 【前期基準値取得年度は、令和3年度です。】				(業務)					(向上) (達成)
				基準 R03 R04 R05 R06 R07					

(参考)
多賀城市まちづくりアンケート調査結果
〈令和4年度実施〉

①多賀城市まちづくりアンケートの令和4年度実施状況

多賀城市まちづくりアンケートは、総合計画の施策や基本事業に設定している指標の進捗状況を調査するため、毎年度実施しています。令和4年度の実施状況は、次のとおりです。

アンケート発送日	令和5年2月1日
アンケート発送数	3,000通
調査対象者数	2,981人
有効回収数	1,625人
回収率	54.5%

②市民の満足度と重要度の調査結果

今後のまちづくりにいかしていくことを目的として、各施策に対する市民ニーズ(満足度、重要度)の状況を、多賀城市まちづくりアンケートによって取得しています。ここでは、アンケートにより把握した29の施策に対する市民満足度と重要度の状況を5点満点で点数化し、前期基本計画の基準値である令和2年度と令和4年度の数値を比較します。

・満足	5点
・どちらかといえば満足	4点
・普通	3点
・どちらかといえば不満	2点
・不満	1点

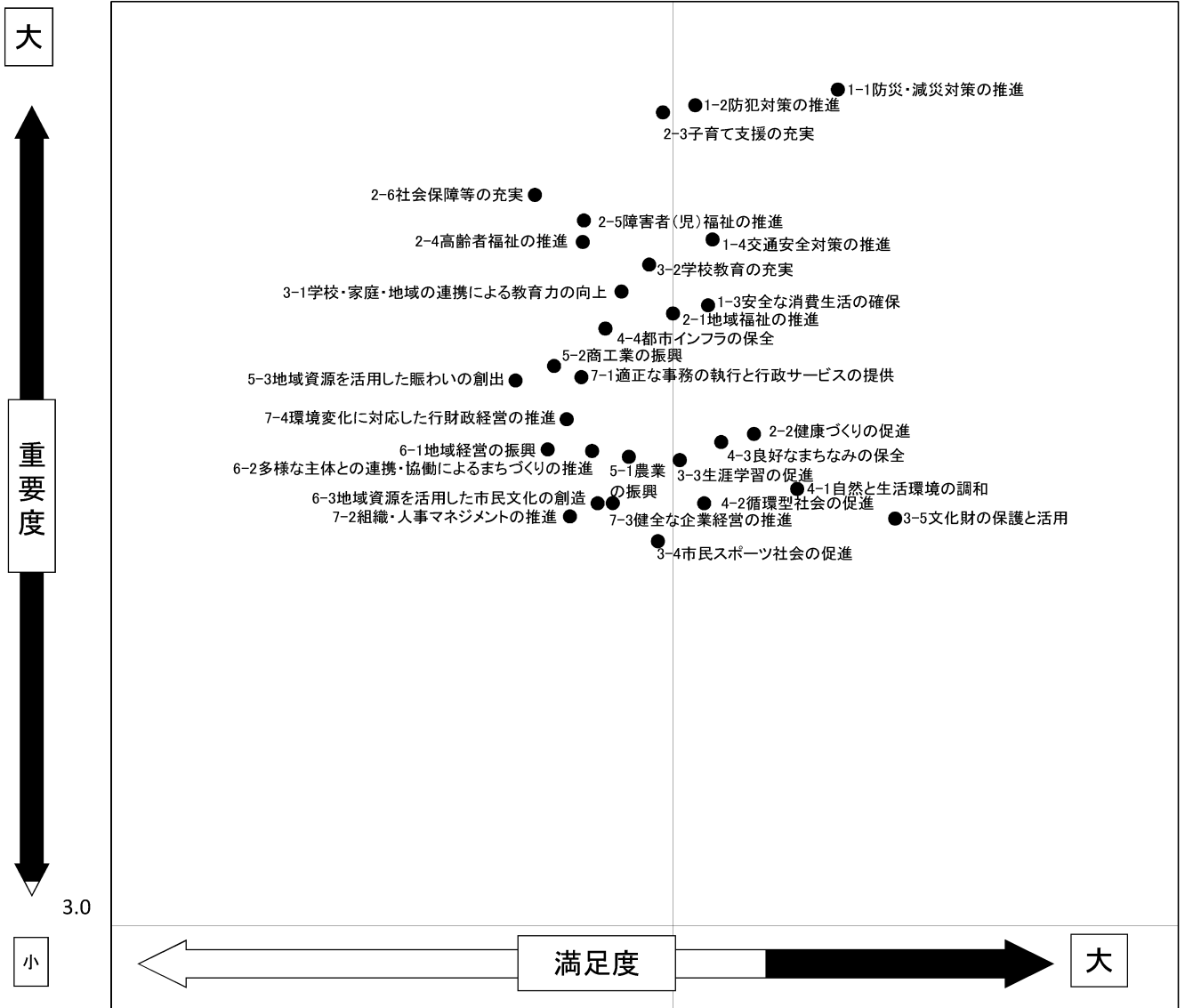
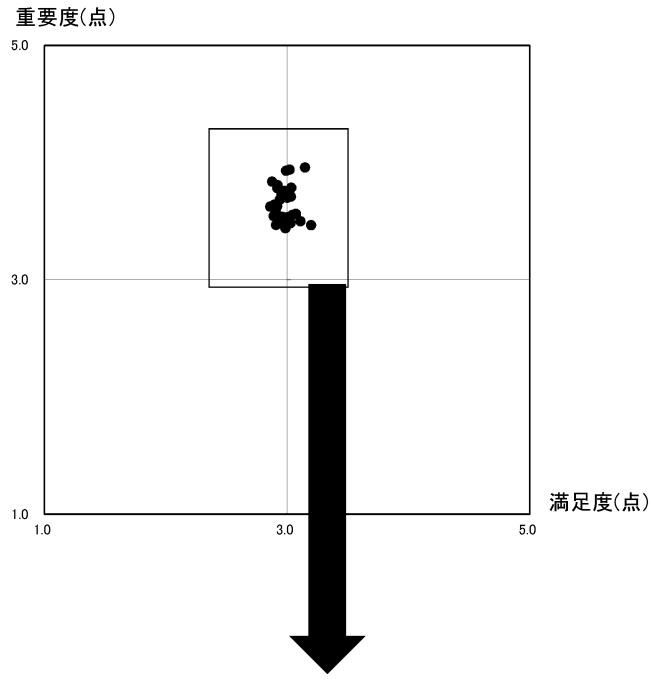
・力を入れるべき	5点
・できれば力を入れるべき	4点
・今のままでよい	3点
・あまり力を入れなくてよい	2点
・力を入れなくてよい	1点

施策番号	施策名	令和2年度	令和4年度	差分	令和2年度	令和4年度	差分
1-1	防災・減災対策の推進	3.13	3.15	0.02	3.93	3.96	0.03
1-2	防犯対策の推進	3.04	3.02	△ 0.02	3.88	3.94	0.06
1-3	安全な消費生活の確保	3.12	3.03	△ 0.09	3.60	3.71	0.11
1-4	交通安全対策の推進	3.02	3.04	0.02	3.76	3.79	0.03
2-1	地域福祉の推進	2.97	3.00	0.03	3.72	3.70	△ 0.02
2-2	健康づくりの推進	3.06	3.07	0.01	3.59	3.56	△ 0.03
2-3	子育て支援の充実	2.97	2.99	0.02	3.88	3.93	0.05
2-4	高齢者福祉の推進	2.92	2.92	0.00	3.84	3.78	△ 0.06
2-5	障害者(児)福祉の推進	2.96	2.92	△ 0.04	3.78	3.81	0.03
2-6	社会保障等の充実	2.89	2.88	△ 0.01	3.81	3.84	0.03

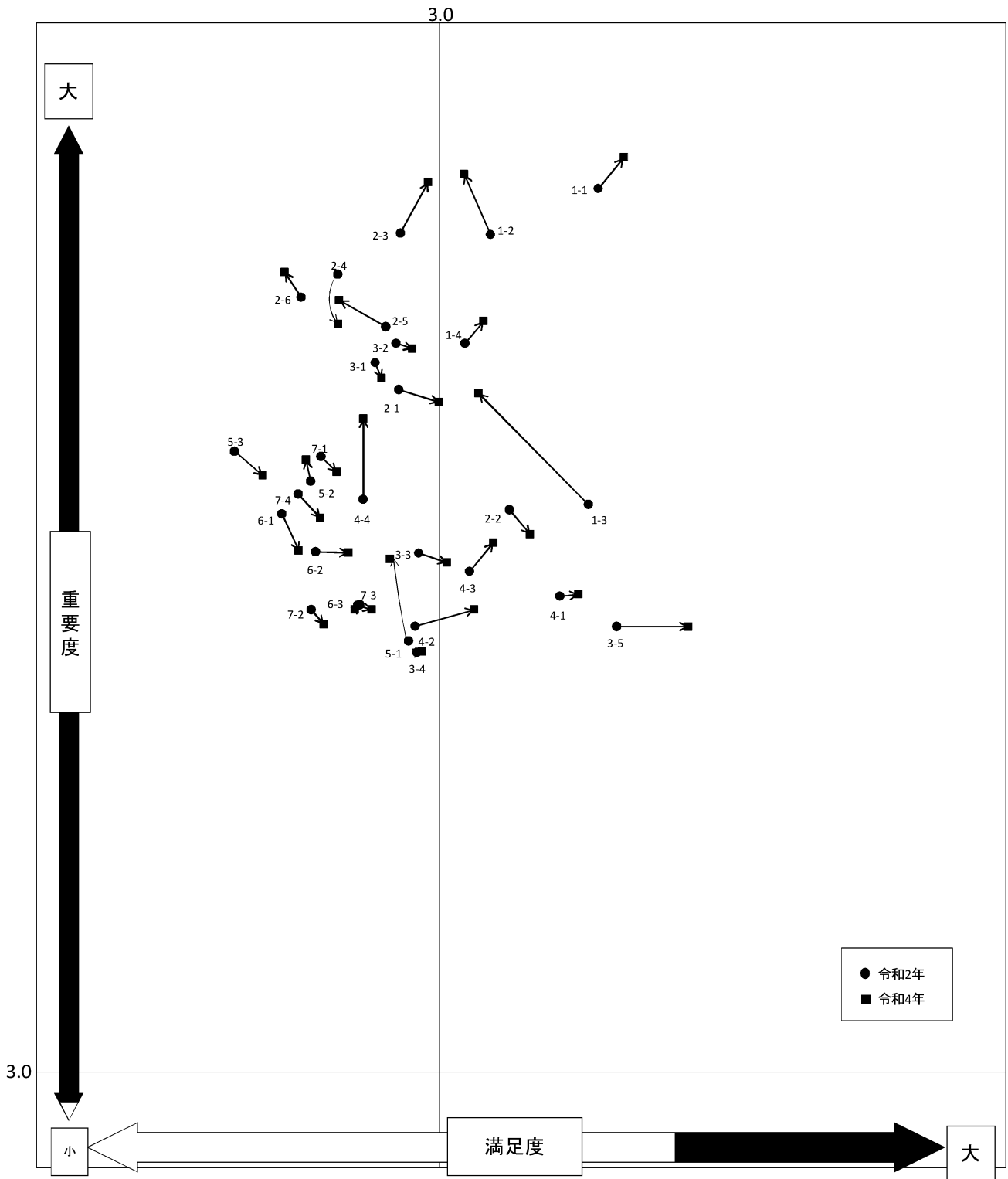
3-1	学校・家庭・地域の連携による教育力の向上	2.95	2.95	0.00	3.74	3.73	△ 0.01
3-2	学校教育の充実	2.97	2.98	0.01	3.76	3.76	0.00
3-3	生涯学習の促進	2.98	3.01	0.03	3.54	3.53	△ 0.01
3-4	市民スポーツ社会の推進	2.98	2.99	0.01	3.44	3.44	0.00
3-5	文化財の保護と活用	3.14	3.20	0.06	3.47	3.47	0.00
4-1	自然と生活環境の調和	3.10	3.11	0.01	3.50	3.50	0.00
4-2	循環型社会の促進	2.98	3.03	0.05	3.47	3.48	0.01
4-3	良好なまちなみの保全	3.02	3.04	0.02	3.53	3.55	0.02
4-4	都市インフラの保全	2.94	2.94	0.00	3.60	3.69	0.09
5-1	農業の振興	2.98	2.96	△ 0.02	3.45	3.54	0.09
5-2	商工業の振興	2.90	2.89	△ 0.01	3.62	3.64	0.02
5-3	地域資源を活用した賑わいの創出	2.84	2.86	0.02	3.65	3.63	△ 0.02
6-1	地域経営の振興	2.88	2.89	0.01	3.59	3.55	△ 0.04
6-2	多様な主体との連携・協働によるまちづくりの推進	2.90	2.93	0.03	3.55	3.54	△ 0.01
6-3	地域資源を活用した市民文化の創造	2.94	2.95	0.01	3.49	3.48	△ 0.01
7-1	適正な事務の執行と行政サービスの提供	2.91	2.92	0.01	3.65	3.63	△ 0.02
7-2	組織・人事マネジメントの推進	2.90	2.91	0.01	3.48	3.47	△ 0.01
7-3	健全な企業経営の推進	2.94	2.93	△ 0.01	3.49	3.48	△ 0.01
7-4	環境変化に対応した行財政経営の推進	2.89	2.91	0.02	3.61	3.58	△ 0.03
	最大	3.14	3.20	/	3.93	3.96	/
	最小	2.84	2.86		3.44	3.44	
	平均	2.97	2.98		3.63	3.65	

●満足度は上がると良い指標であり、重要度は下がると良い指標です。

まちづくりアンケート 満足度重要度結果(令和4年度)



まちづくりアンケート 満足度重要度結果 基準年(令和2年度)・令和4年度比較



- 政策1
 1-1 防災・減災対策の推進
 1-2 防犯対策の推進
 1-3 安全な消費生活の確保
 1-4 交通安全対策の推進
 政策2
 2-1 地域福祉の推進
 2-2 健康づくりの促進
 2-3 子育て支援の充実
 2-4 高齢者福祉の推進
 2-5 障害者(児)福祉の推進
 2-6 社会保障等の充実

- 政策3
 3-1 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上
 3-2 学校教育の充実
 3-3 生涯学習の促進
 3-4 市民スポーツ社会の促進
 3-5 文化財の保護と活用
 政策4
 4-1 自然と生活環境の調和
 4-2 循環型社会の促進
 4-3 良好なまちなみの保全
 4-4 都市インフラの保全
 政策5
 5-1 農業の振興
 5-2 商工業の振興
 5-3 地域資源を活用した賑わいの創出

- 政策6
 6-1 地域経営の振興
 6-2 多様な主体との連携・協働によるまちづくりの推進
 6-3 地域資源を活用した市民文化の創造
 政策7
 7-1 適正な事務の執行と行政サービスの提供
 7-2 組織・人事マネジメントの推進
 7-3 健全な企業経営の推進
 7-4 環境変化に対応した行財政経営の推進

(参考)統計の見方

①アンケートの配布票数及び有効票数について

統計学的には、対象となる方々の性別、年齢、職業、居住地などをバランスよく抽出しアンケート調査を行い、有効回答が概ね1,000票となれば、そのアンケート結果は、対象となる母集団の大小に係わらず、ほぼ変わらないとされています。この有効票数1,000票は、日本国民全体を対象とした場合でもサンプル数としては十分となることから、テレビの支持政党の電話アンケートなどの世論調査でも活用されています。

また、1,000票程度の有効票数が得られれば、違う人を対象に、同じアンケート調査を100回行った場合でも、そのうち95回は、ほぼ同じ結果が得られるとされています。そのため、傾向を判断する場合には、適切な手法ということとなります。ただし、アンケート結果がほぼ同数で回答が分かれるような内容の場合は、統計誤差の関係から、傾向の判断が難しい場合があります。

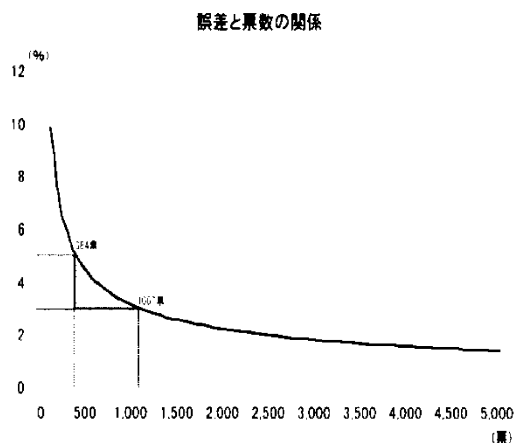
よって、今回実施した「多賀城市まちづくりアンケート」においても、概ね1,000票の有効回答を目標に、これまで多賀城市で実施したアンケート調査結果などから回収率を約33%と想定し、配布数(対象者数)を3,000票としました。

②アンケートの回収票の信頼性

アンケート票数と誤差との関係は、当然アンケート票数が少ないと誤差は大きく、アンケート票数が多いと誤差は少なくなります。しかしその関係は一定ではなく、下図のとおり稜線を描くような関係にあります。【下図参照】

つまり、票数が少ない時は票数を少し増やすことにより誤差が大幅に減少しますが、ある一定の数を超えると、票数を大幅に増やしても誤差はほとんど変わらなくなります。統計学的には、この「一定の数」は、目標誤差:3~5%以内であれば良いとされており、それを下記の計算式で逆算すると概ね400~1,100票程度であることが算出されています。

よって、有効回答票の回収数がこの程度あれば、住民意向の把握として十分信頼性の高い数字になると言えます。



【上記は3%~5%の範囲を示しています。】

《参考》

サンプル数(アンケートの有効回答票数)と誤差との関係式

必要なサンプル数

$$= (\text{有意水準}^2 \times P(1-P)) \div \text{目標誤差}^2$$

有意水準: 統計学の「正規分布表」から有意水準5%の定数(=1.96)

P: 誤差が一番大きくなるのは50%のときなので0.5

目標誤差: 3~5%以内であれば良いとされている。

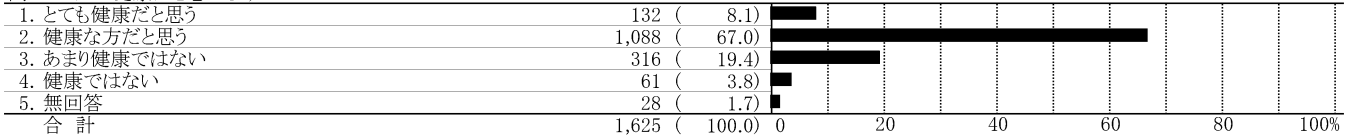
③回収票数と誤差

実施の結果として仮に1,000票の回答があったとすると、上記の式に入れて逆算すると、誤差は3.1%となります。これは、例えば違う人を対象にして、今回と同じ調査を複数回実施しても、結果の%の値が±3.1ポイント以内でしか変わらないということです。

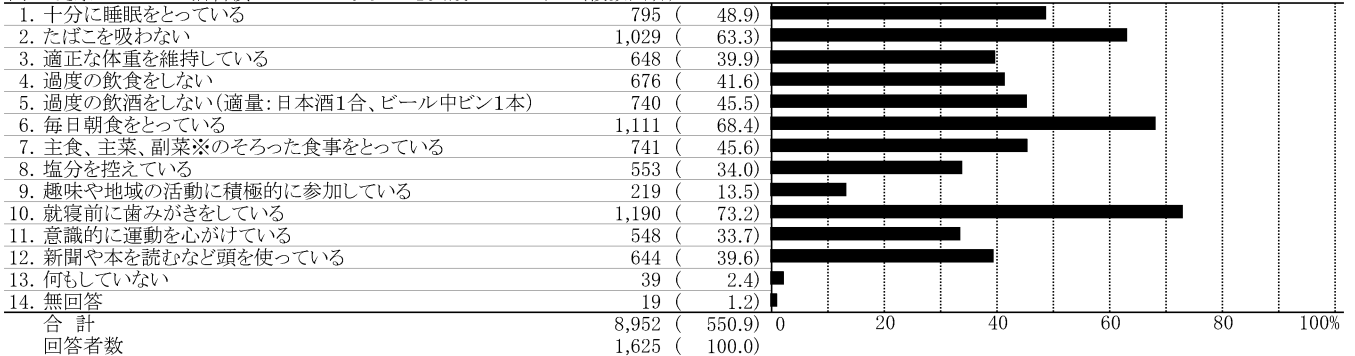
このことから、まちづくり報告書においては、異なる年度との比較を行う際には、5.0ポイントまでの差については、統計誤差として処理することとしています。

多賀城市 まちづくりアンケート

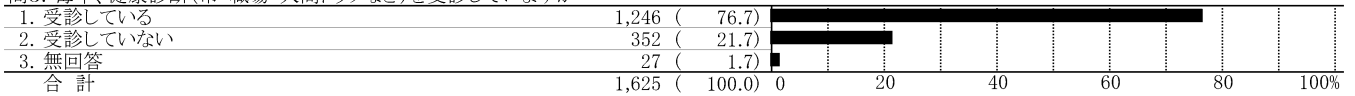
問1. ふだん健康だと思いますか



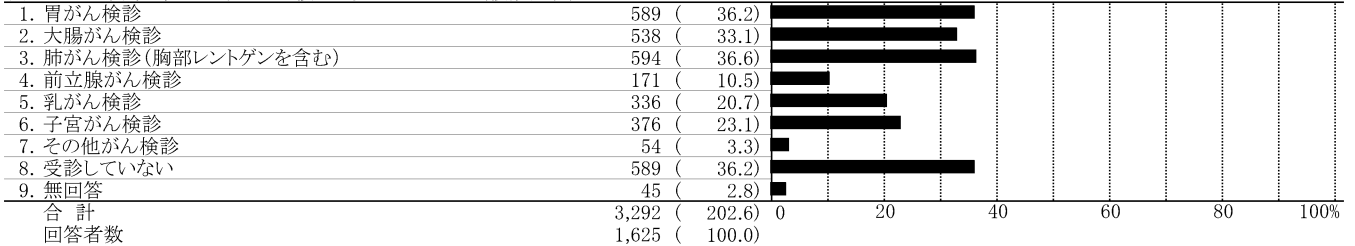
問2. 健康のために生活習慣としてどのようなことを実践していますか(複数回答)



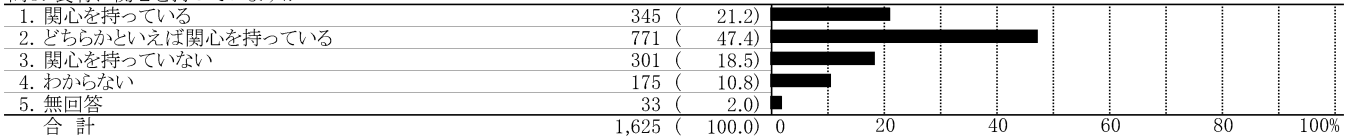
問3. 毎年、健康診断(市・職場・人間ドックなど)を受診していますか



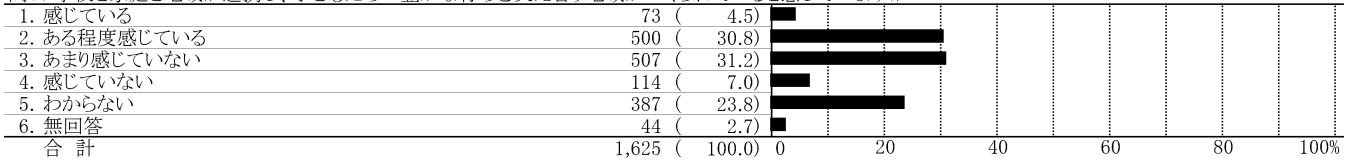
問4. この1年間に、どのようながん検診を受診しましたか(複数回答)



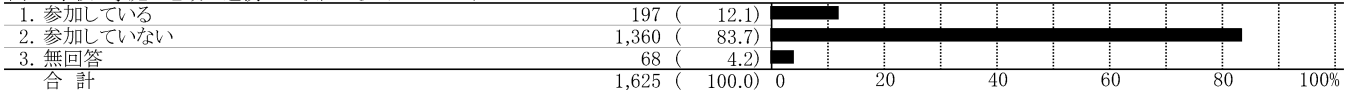
問5. 食育に関心を持っていますか



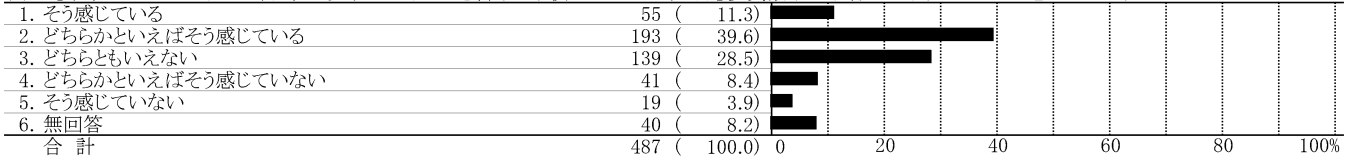
問6. 学校と家庭と地域が連携し、子どもたちの豊かな育ちを支え合う地域がつくられていると感じていますか



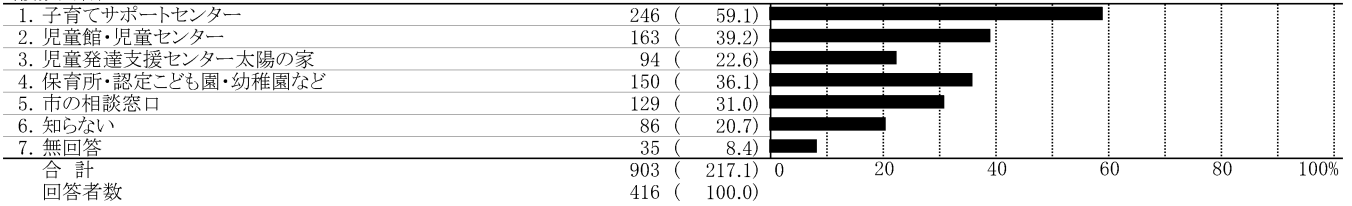
問7. 学校と家庭と地域が連携した取組に参加していますか



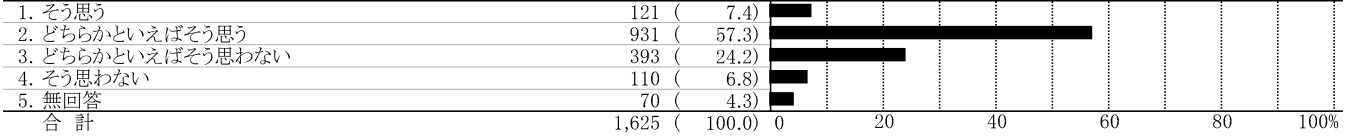
問8. 「中学生までのお子さん(小学生以下のお子さんも含みます。)がいっしょの方」多賀城市は子育てしやすいまちだと感じていますか



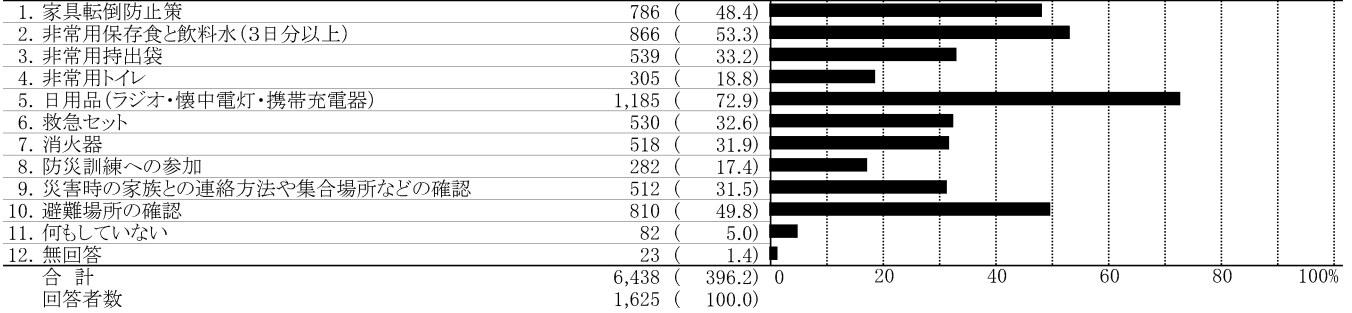
問9. [小学生までのお子さんがいらっしゃる方]妊娠や出産、子どもの成長や発達など子育てに関する様々な悩みに対応する市の相談窓口を知っていますか
(複数回答)



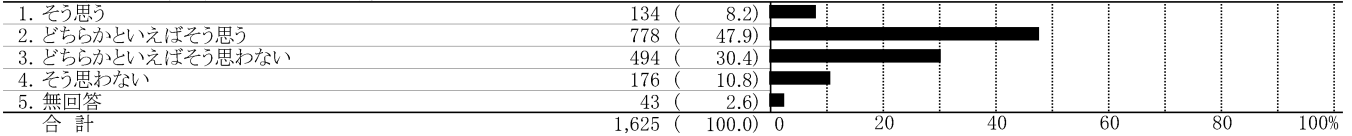
問10. 行政の災害に対する備えが整っていると思いますか



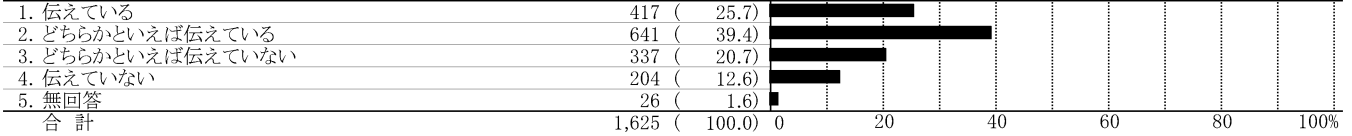
問11. あなたの家庭では、災害から身を守るため、どのような準備をしていますか(複数回答)



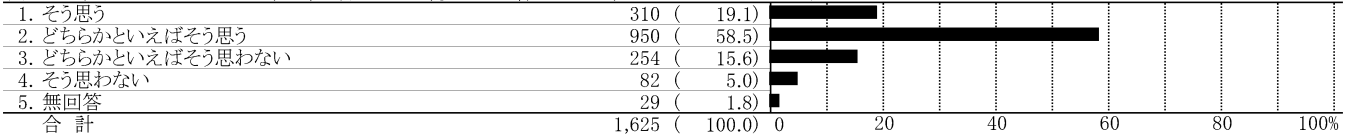
問12. 災害時に地域で助け合いができる環境になっていると思いますか



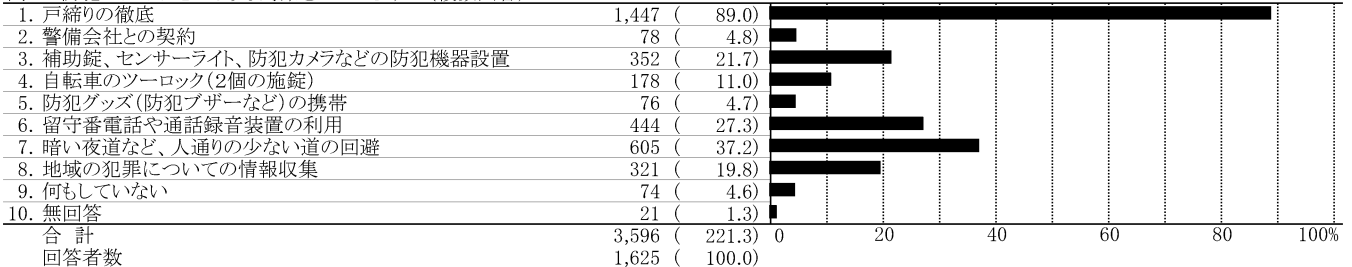
問13. 東日本大震災をはじめとした災害で経験したことを周囲の人に伝えていますか



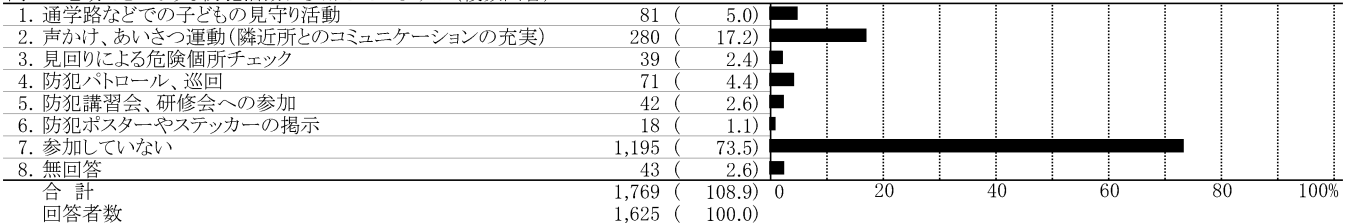
問14. お住まいになっている地域は、犯罪も少なく、安心して暮らせる地域になっていると思いますか



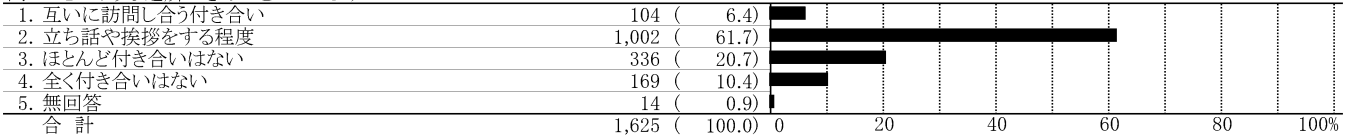
問15. 防犯のためにどのような対策をしていますか(複数回答)



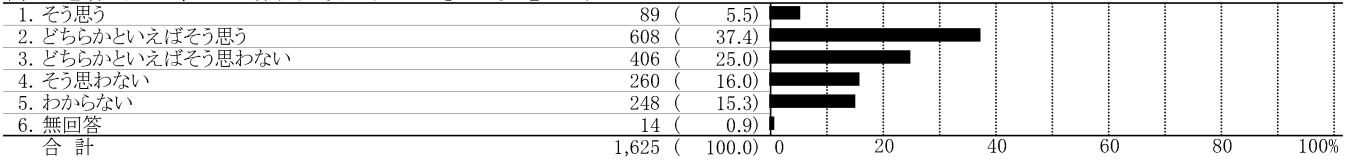
問16. 地域でどのような防犯活動に参加していますか(複数回答)



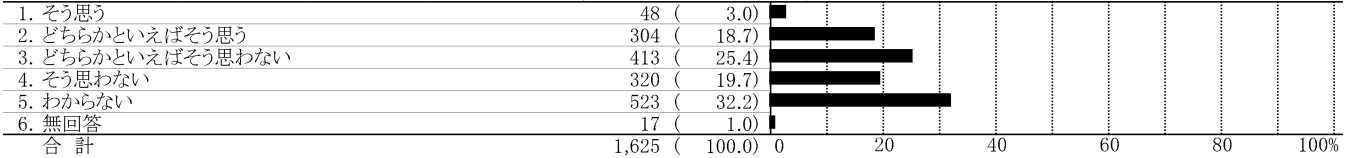
問17. どのような近所づきあいをしていますか



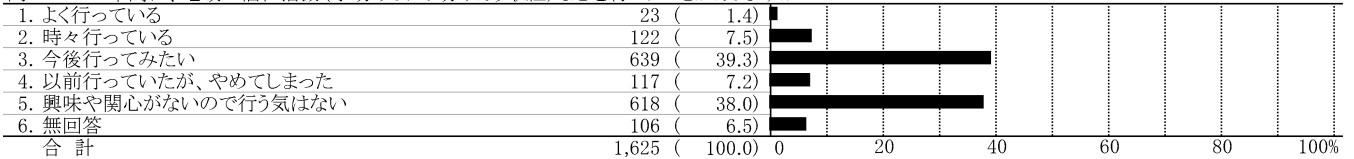
問18. 地域において、互いに助けあい支えあいができていると思いますか



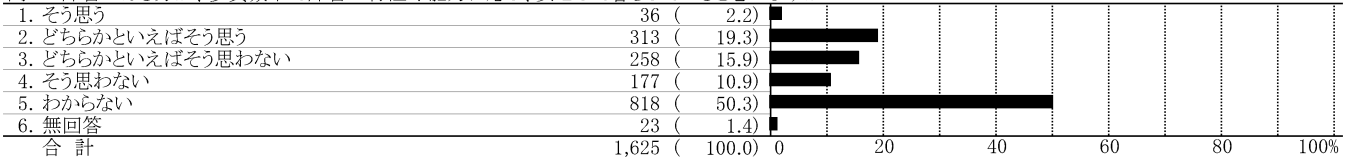
問19. 地域において、要配慮者(障害者や高齢者、75歳以上の一人暮らしの方など)を助け合う仕組みが整っていると思いますか



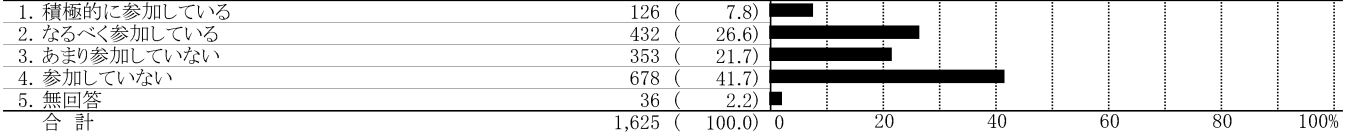
問20. この1年間に、地域の福祉活動(手助けしたり助けあう取組)などを行ったことがありますか



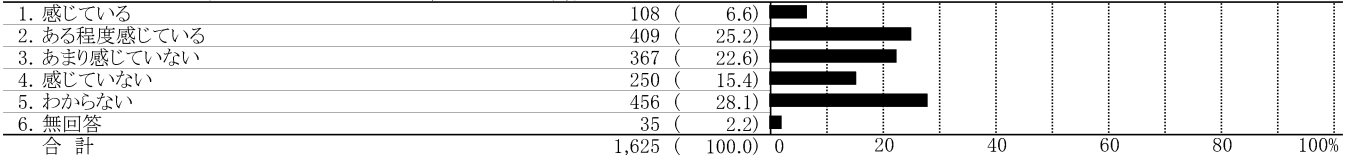
問21. 障害のある方が、多賀城市で障害の特性や能力に応じ、安心して暮らしていると思いますか



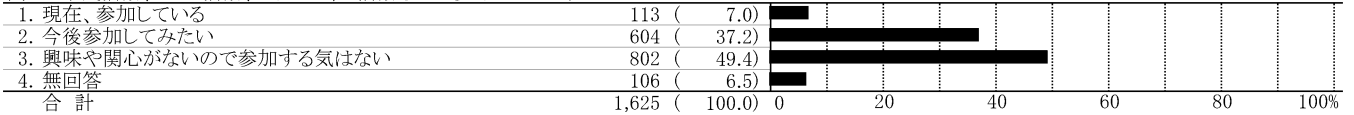
問22. 地域自治活動(町内会、子ども会、老人会、地域清掃、見守り活動など)にどの程度参加していますか



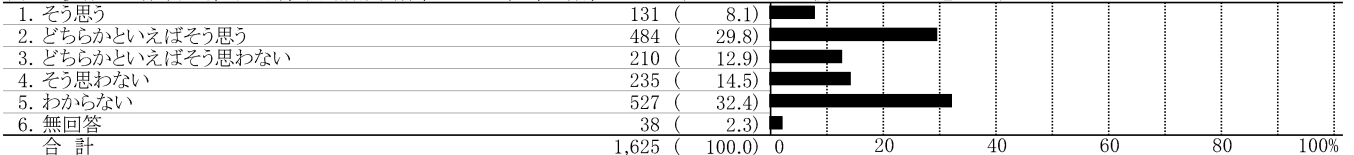
問23. 町内会活動が地域のつながりづくりや課題解決につながり、暮らしやすい生活の場づくりに役立っていると感じていますか



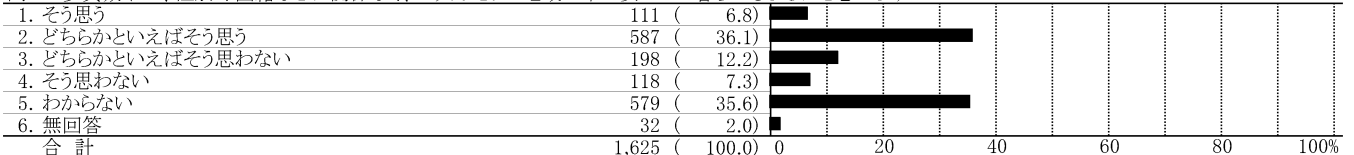
問24. 市民活動、NPO活動、ボランティア活動などに参加していますか



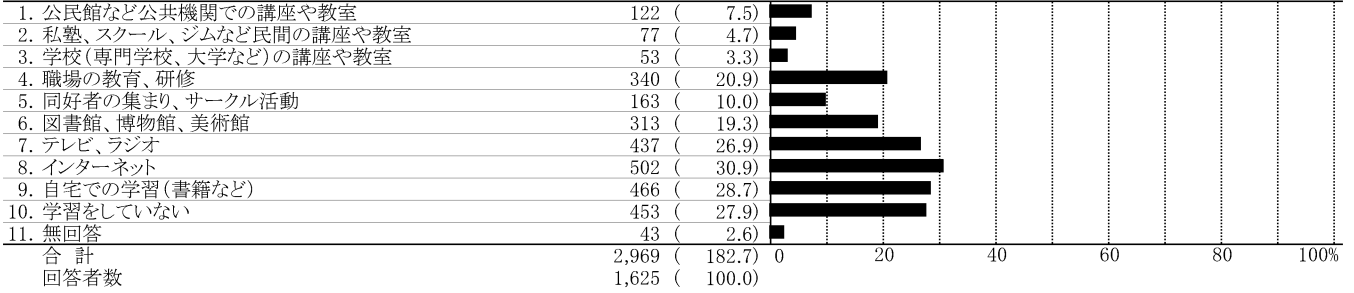
問25. 多様な主体(市民、町内会、市民活動団体、ボランティア、企業、NPOなど)がまちづくりに関わっていると思いますか



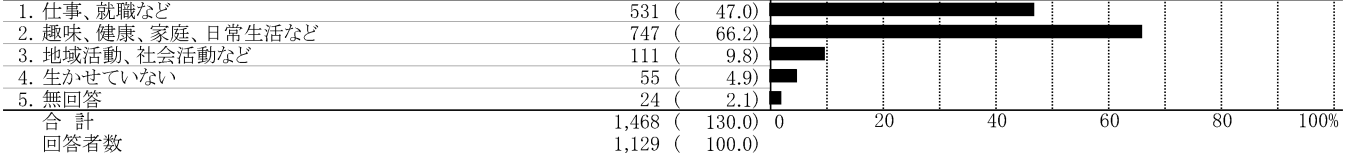
問26. 多賀城市が、性別や国籍などに関係なく、一人ひとりが地域の中で安心して暮らせるまちだと思えますか



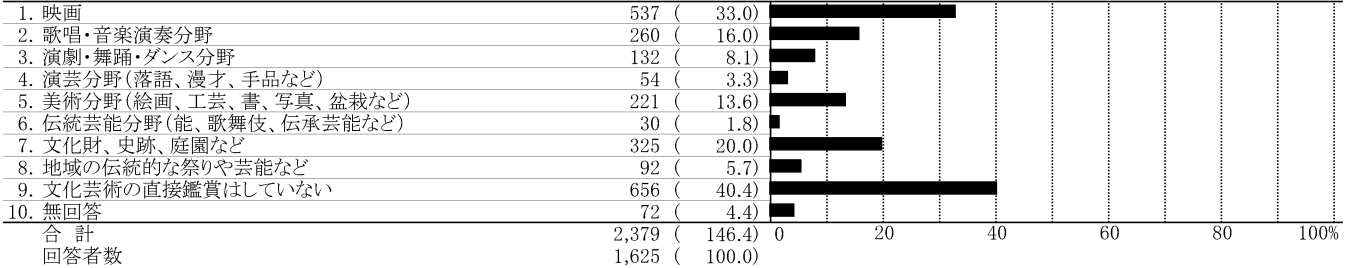
問27. この1年間に、どのような場所や方法で学習をしたことがありますか(複数回答)



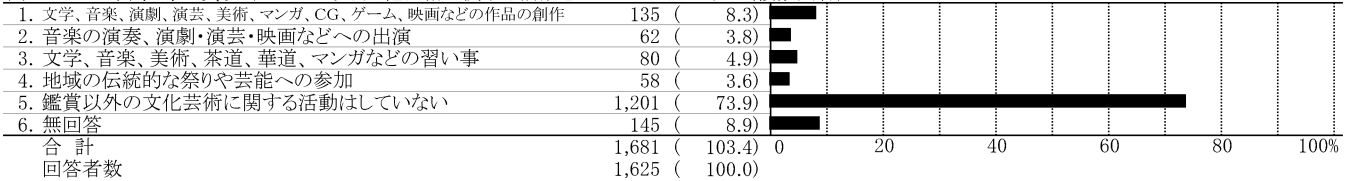
問27-2. [問27で1~9に○をつけた方]学習した成果をどのように生かしていますか、又は生かせると思いますか(複数回答)



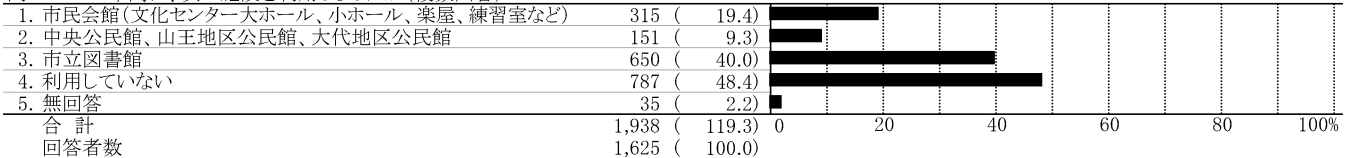
問28. この1年間に、どのような文化芸術を映画館、ホール、展覧会、美術館、祭り、史跡などで直接鑑賞しましたか(複数回答)



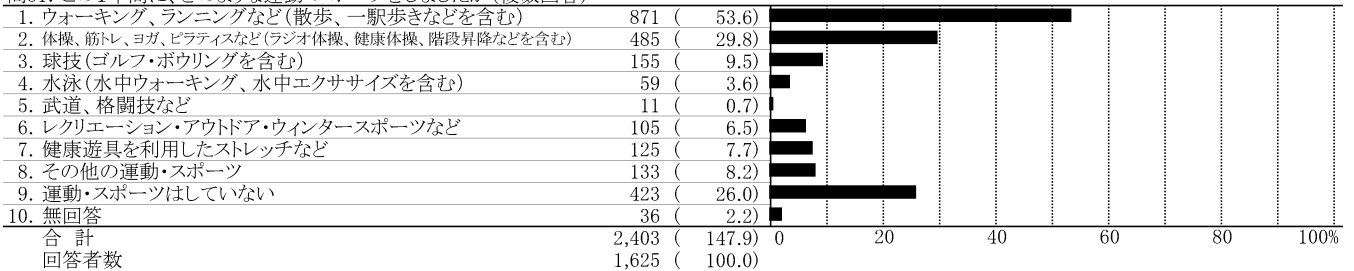
問29. この1年間に、鑑賞以外でどのような文化芸術に関する活動をしたことがありますか(複数回答)



問30. この1年間に、次の施設を利用しましたか(複数回答)

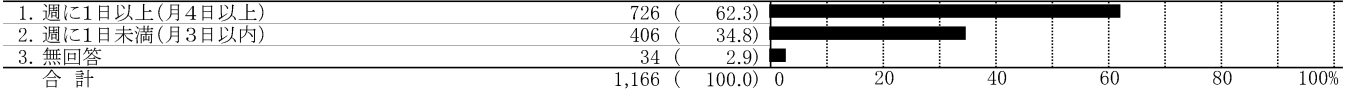


問31. この1年間に、どのような運動・スポーツをしましたか(複数回答)

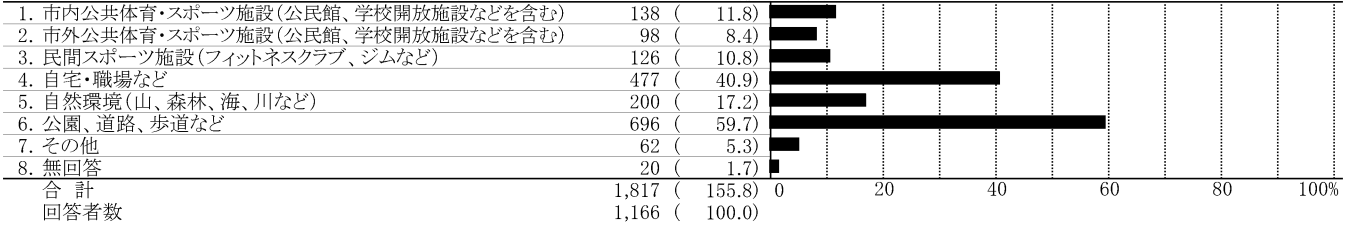


多賀城市 まちづくりアンケート

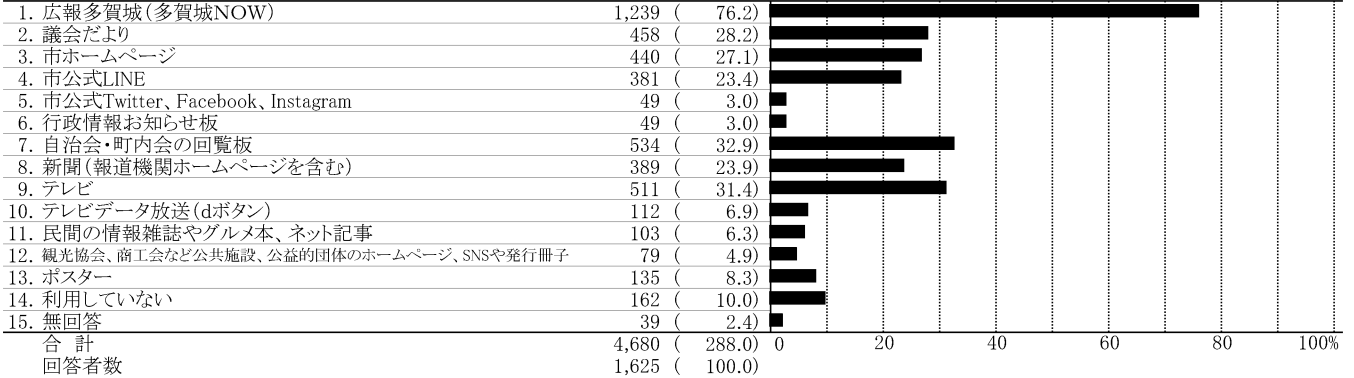
問31-2. [問31で1～8に○をつけた方]この1年間に、どのくらいの割合で運動・スポーツをしましたか



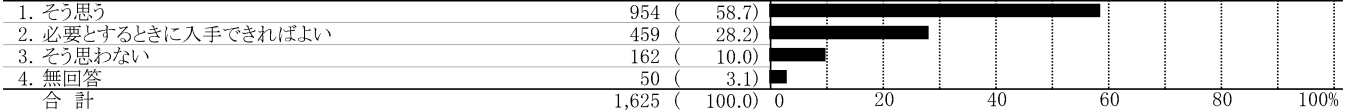
問31-3. [問31で1～8に○をつけた方]どのような場所で運動・スポーツをしていますか(複数回答)



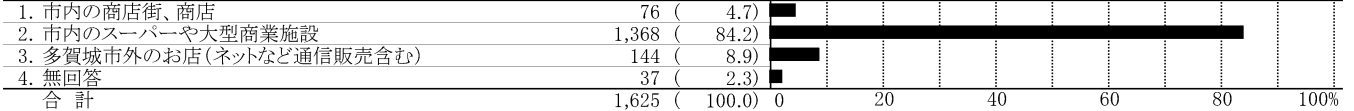
問32. この1年間に、市政情報を含めたまちの情報を得るため、どの情報媒体を利用したことがありますか(複数回答)



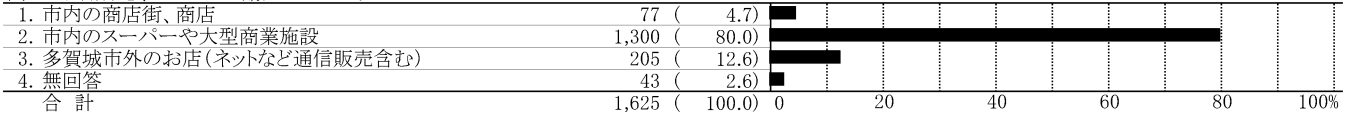
問33. 広報多賀城について、冊子による全戸配付が今後も必要だと思いますか



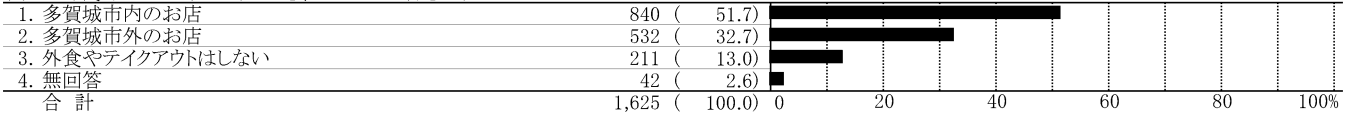
問34. 食料品を、主にどこで購入していますか



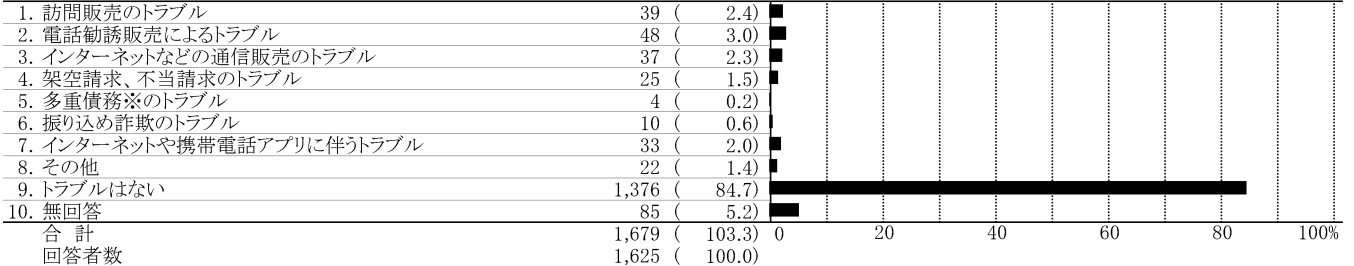
問35. 日用品を、主にどこで購入していますか



問36. 外食やテイクアウトをするとき、主にどこに行きますか

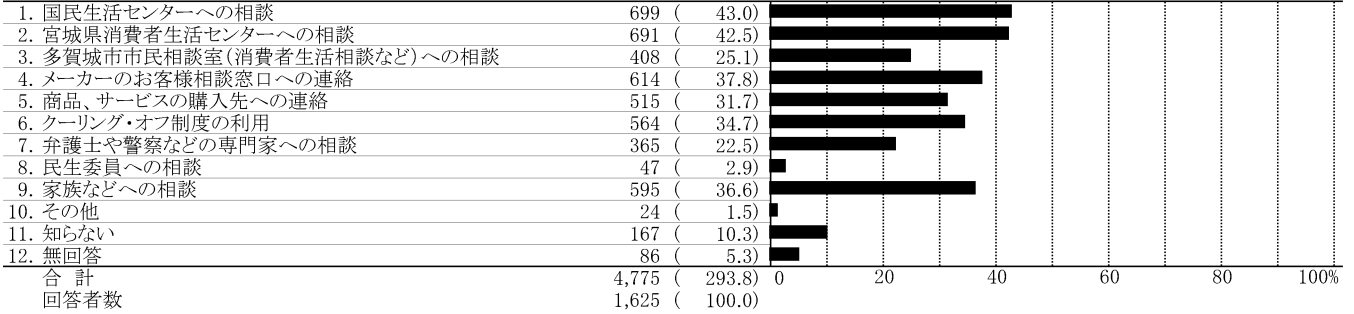


問37. この1年間に、次のような消費生活に関わるトラブルにあったことがありますか(複数回答)

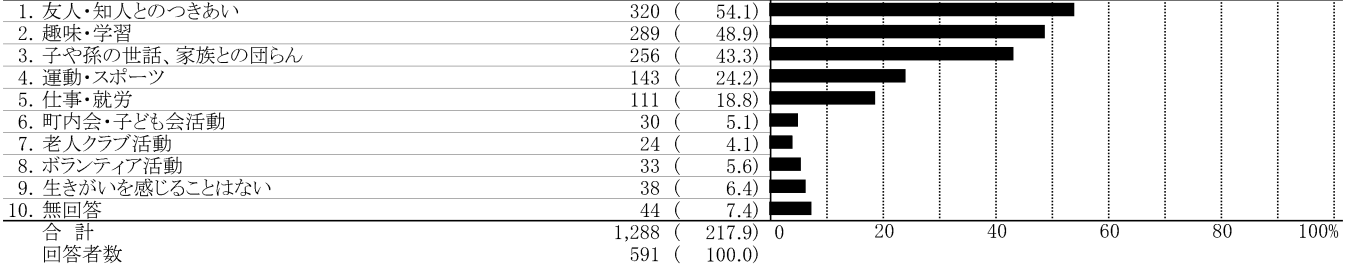


多賀城市 まちづくりアンケート

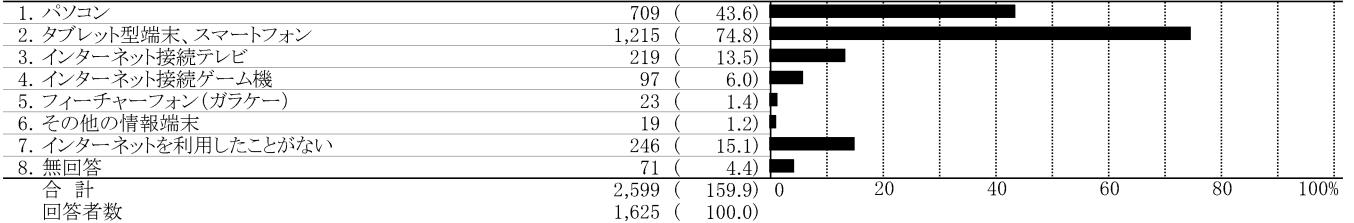
問38. 消費者生活トラブルにあった場合に、どのような相談方法や解決方法があるかを知っていますか(複数回答)



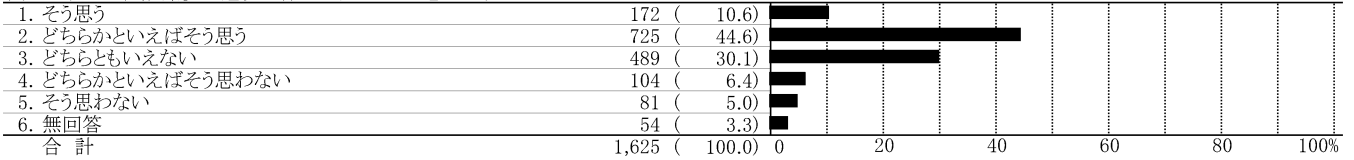
問39. [65歳以上の方]日々の暮らしの中で、どのようなことに生きがいを感じますか(複数回答)



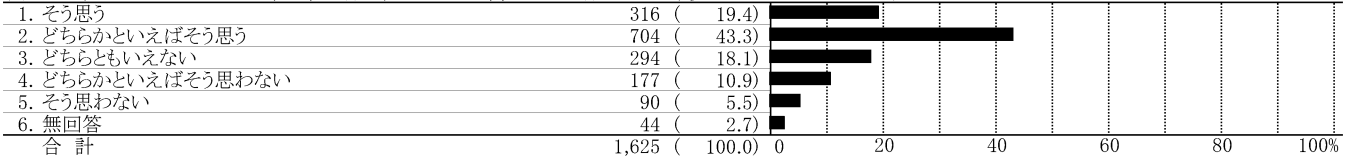
問40. この1年間に、インターネットの利用(電子メールの送受信、ホームページの閲覧、LINEなどSNSの利用など)に当たって、どの情報媒体を利用したことがありますか(複数回答)



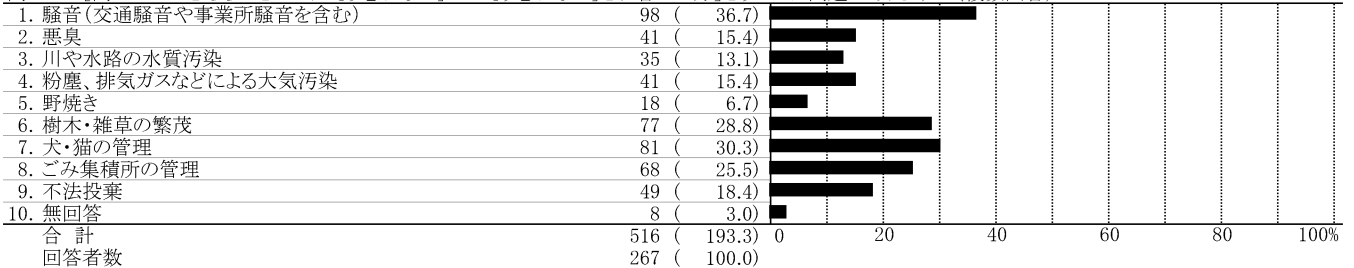
問41. 市内の自然環境が適切に保全されていると思いますか



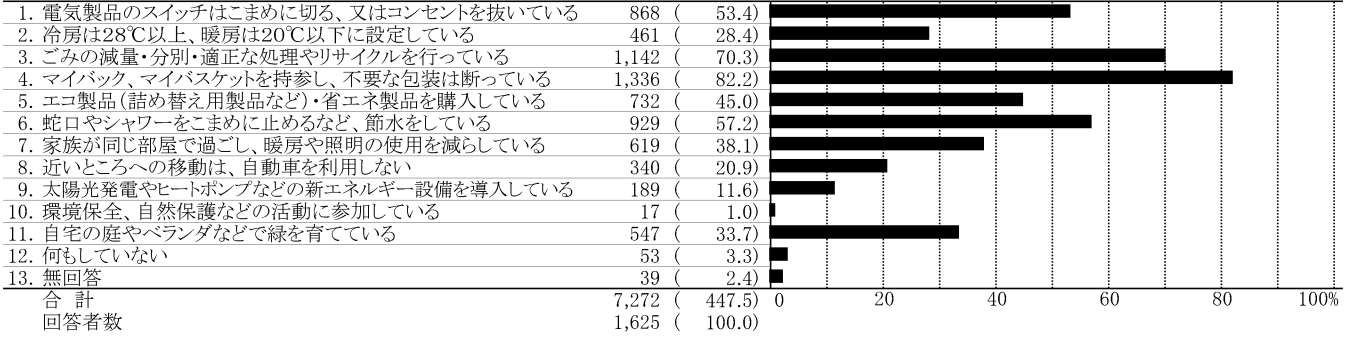
問42. お住まいになっている地域は、生活公害などがなく、快適な生活ができる環境になっていると思いますか



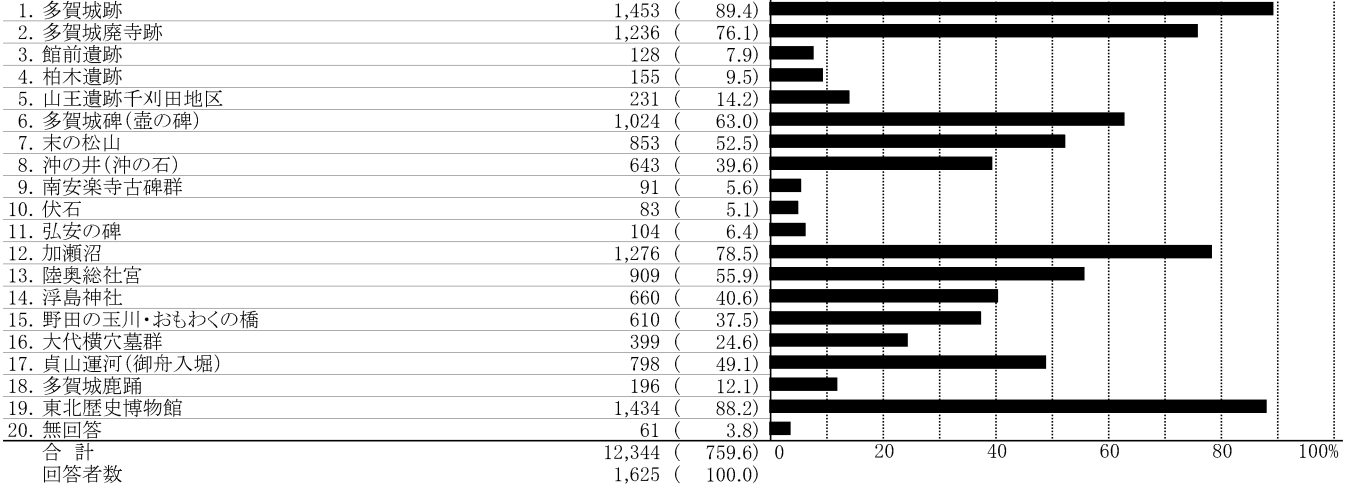
問42-2. [問42で「4. どちらかといえばそう思わない」「5. そう思わない」とお答えの方]どういった問題がありますか(複数回答)



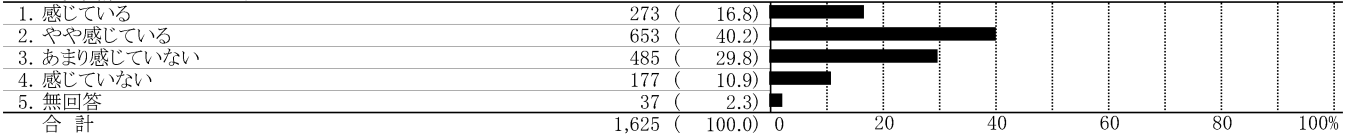
問43. 地球環境のために、どのような取り組みを積極的に行っていますか(複数回答)



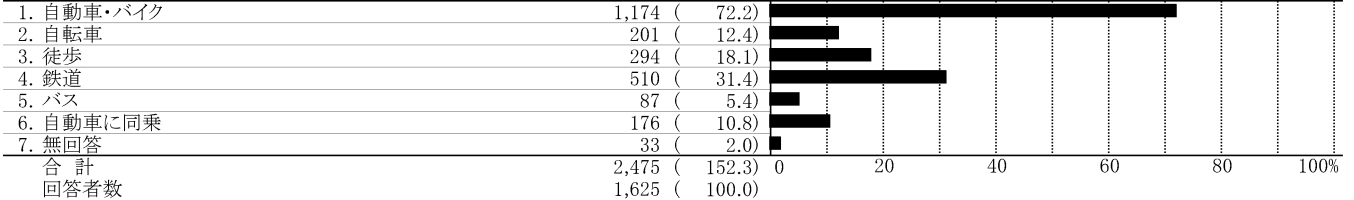
問44. 次の文化財等を知っていますか(複数回答)



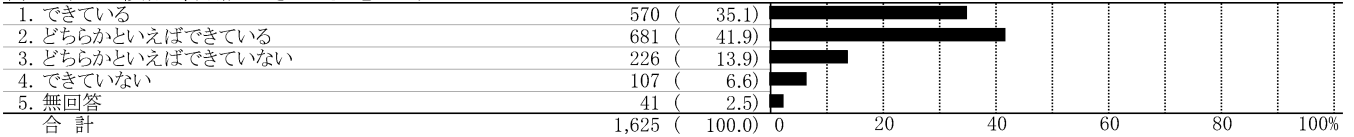
問45. 多賀城市の歴史や文化を身近に感じていますか



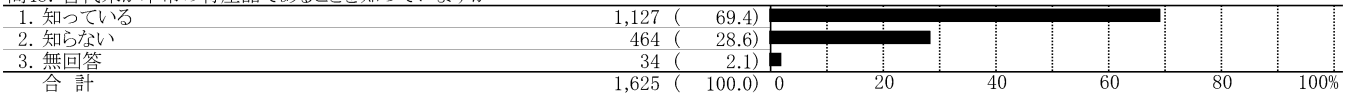
問46. 自宅から市内・市外への主な移動手段は何ですか(2つまで)



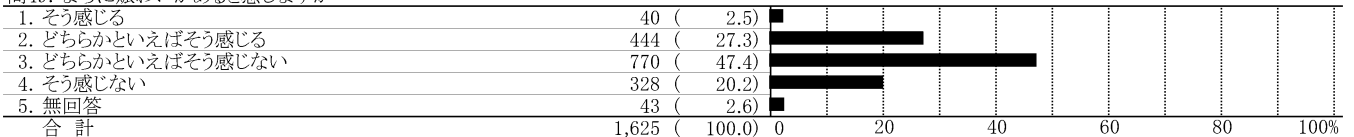
問47. 市内の移動が、円滑にできていると思いますか



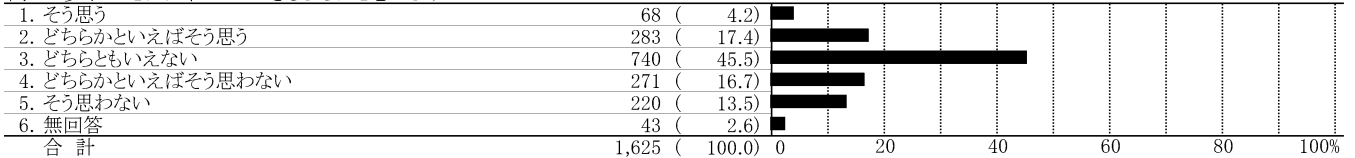
問48. 古代米が本市の特産品であることを知っていますか



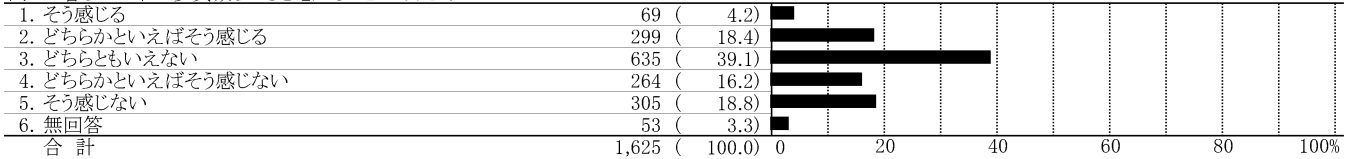
問49. まちに賑わいがあると感じますか



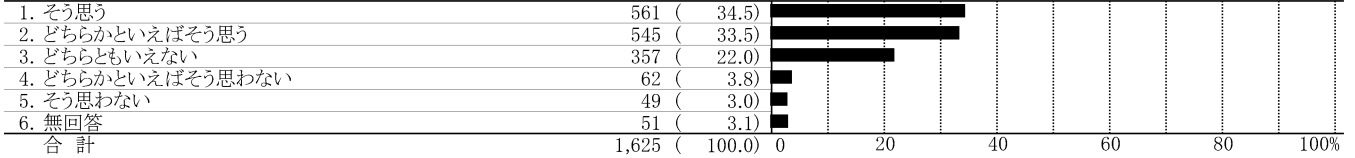
問50. 多くのことにチャレンジできるまちだと思いますか



問51. 暮らしの中で多賀城らしさを感じることはありませんか

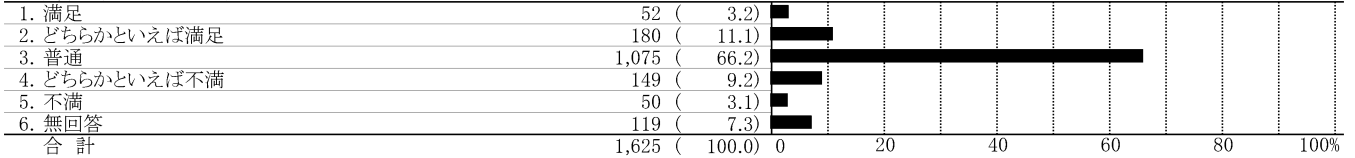


問52. このまちに住み続けたいと思いますか



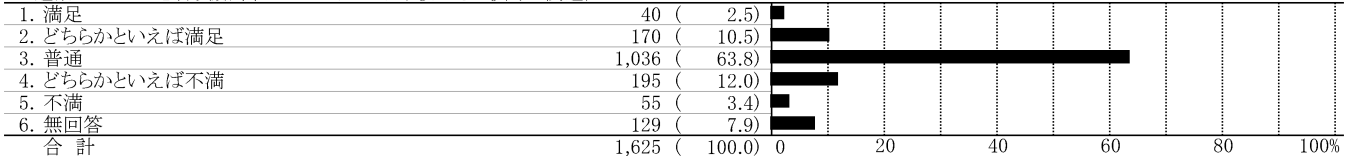
問53. 現在の満足度

1. 学習の機会(問27関連)



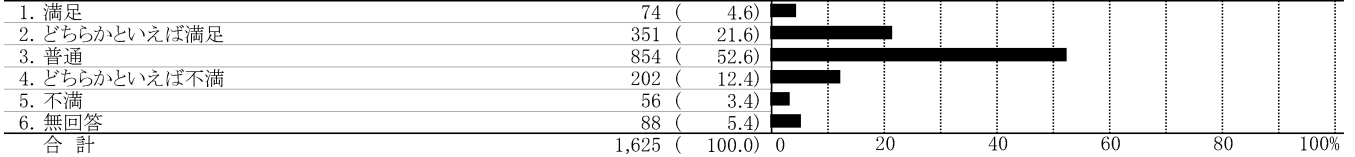
問53. 現在の満足度

2. 運動・スポーツを行う機会(スポーツイベントや教室など。問31関連)



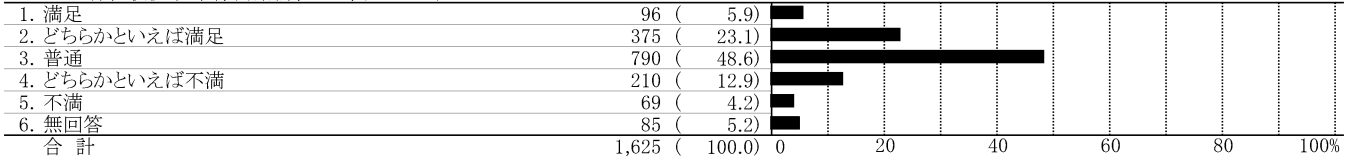
問53. 現在の満足度

3. まちなみの景観



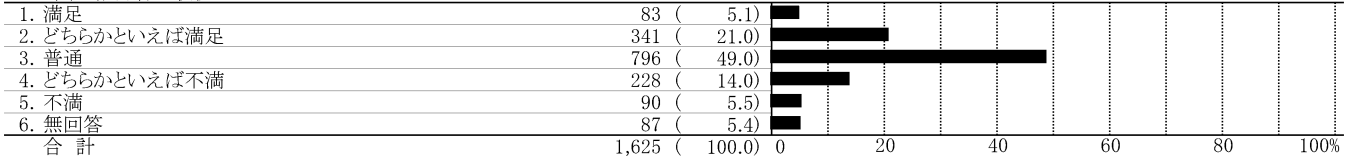
問53. 現在の満足度

4. まちの緑化状況(公園、街路樹、生垣、花壇など)



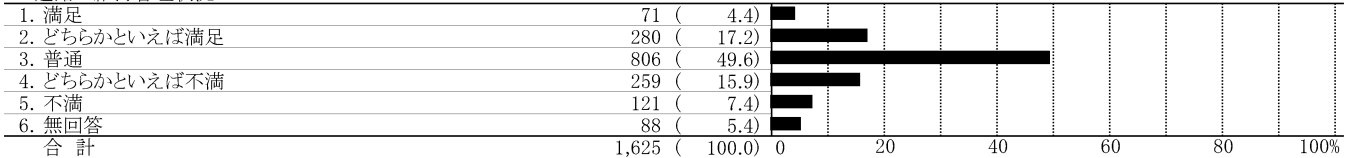
問53. 現在の満足度

5. 公園の維持管理状況

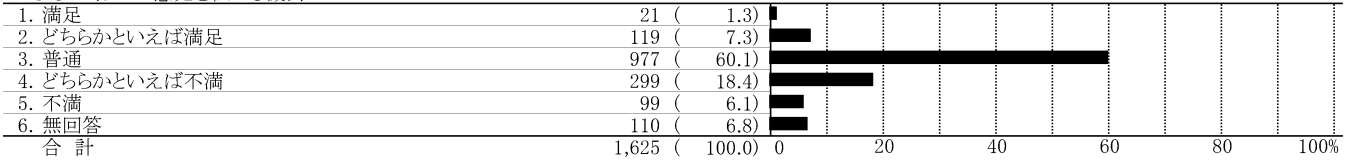


問53. 現在の満足度

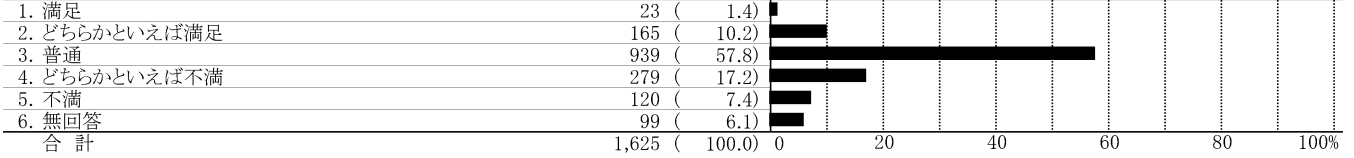
6. 道路の維持管理状況



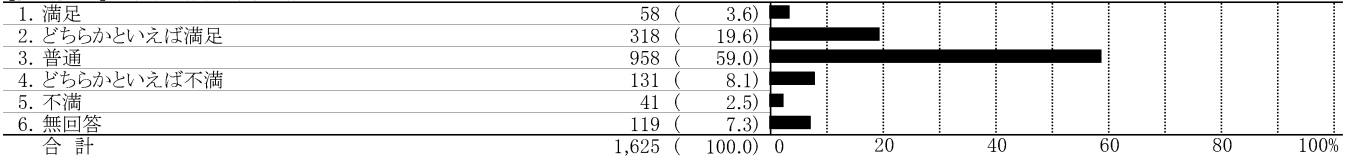
問53. 現在の満足度
7. まちづくりへの意見を伝える機会



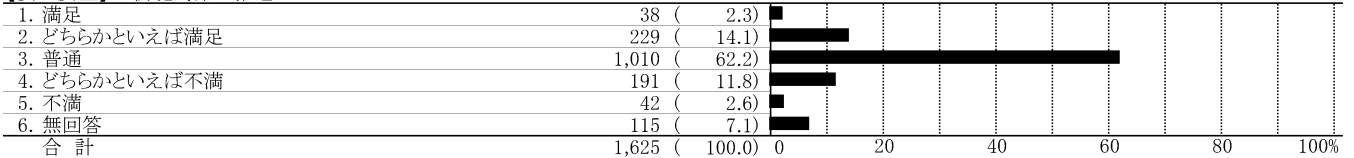
問53. 現在の満足度
8. 市民の理解と信頼に応える行政経営



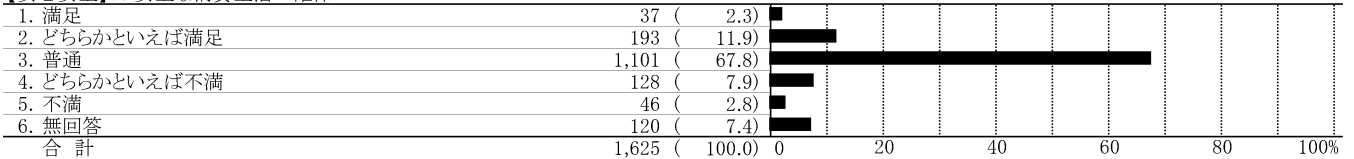
問54. まちづくりについて「現在の満足度」
【安心安全】1. 防災・減災対策の推進



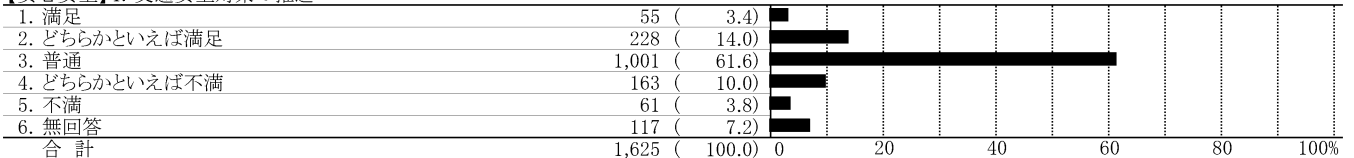
問54. まちづくりについて「現在の満足度」
【安心安全】2. 防犯対策の推進



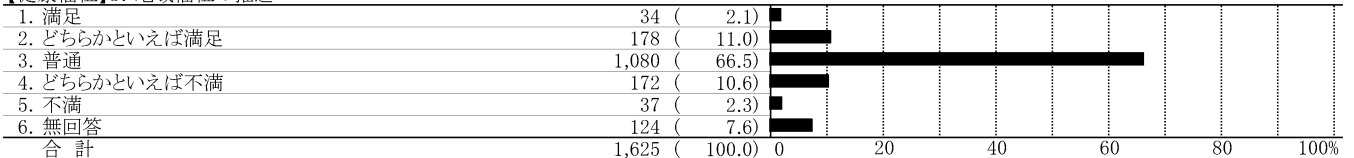
問54. まちづくりについて「現在の満足度」
【安心安全】3. 安全な消費生活の確保



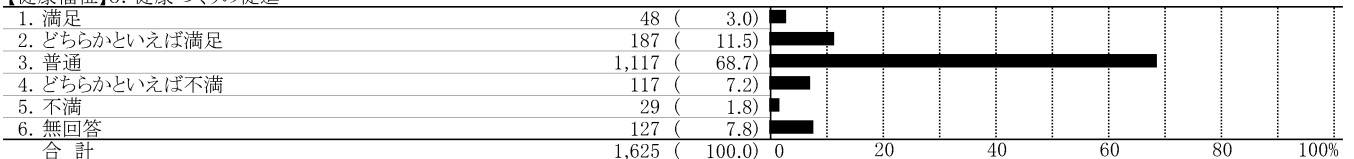
問54. まちづくりについて「現在の満足度」
【安心安全】4. 交通安全対策の推進



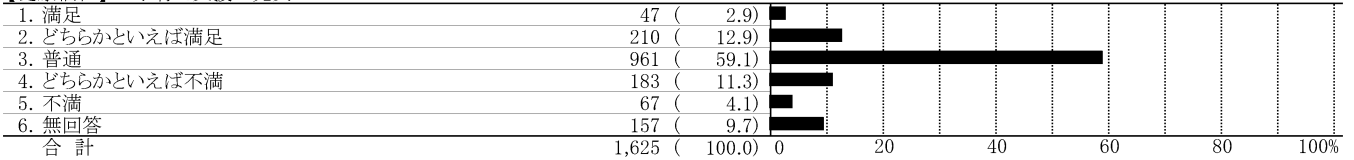
問54. まちづくりについて「現在の満足度」
【健康福祉】5. 地域福祉の推進



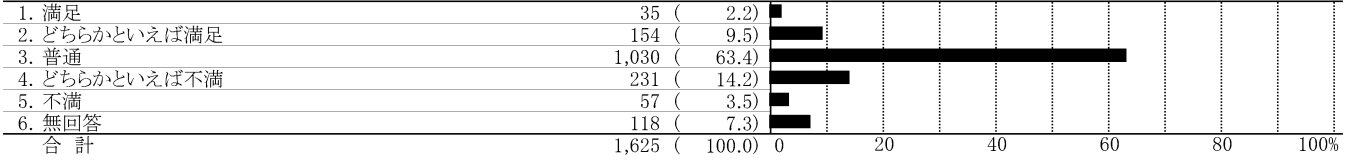
問54. まちづくりについて「現在の満足度」
【健康福祉】6. 健康づくりの促進



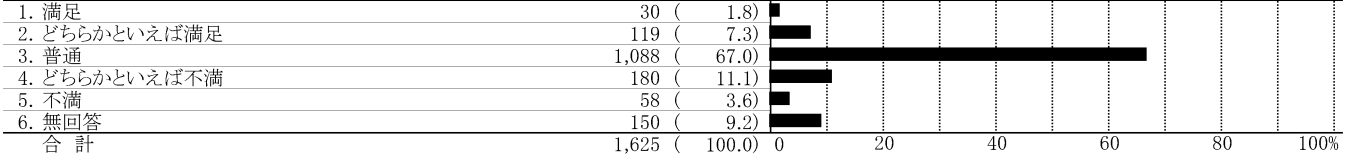
問54. まちづくりについて「現在の満足度」
【健康福祉】7. 子育て支援の充実



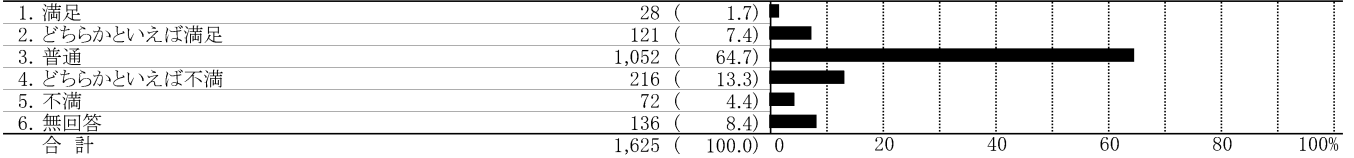
問54. まちづくりについて「現在の満足度」
【健康福祉】8. 高齢者福祉の推進



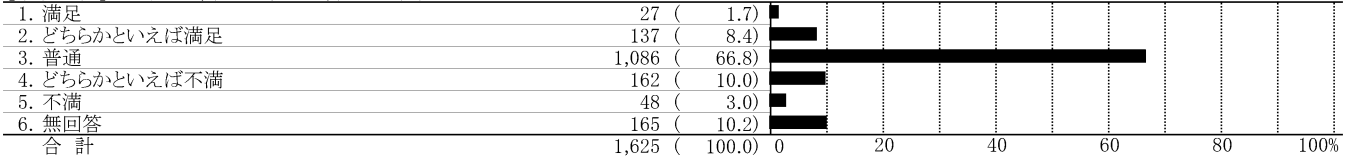
問54. まちづくりについて「現在の満足度」
【健康福祉】9. 障害者(児)福祉の推進



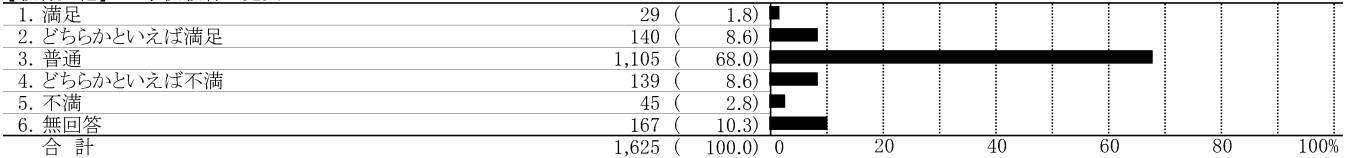
問54. まちづくりについて「現在の満足度」
【健康福祉】10. 社会保障等の充実



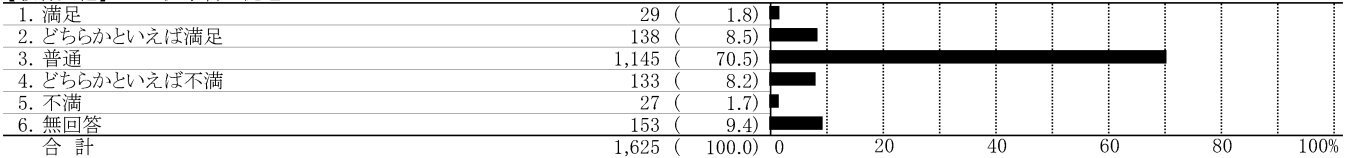
問54. まちづくりについて「現在の満足度」
【教育文化】11. 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上



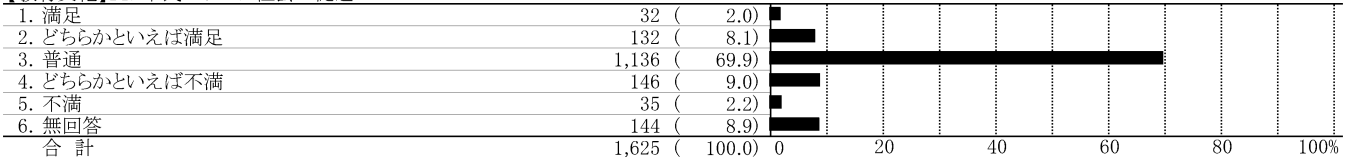
問54. まちづくりについて「現在の満足度」
【教育文化】12. 学校教育の充実



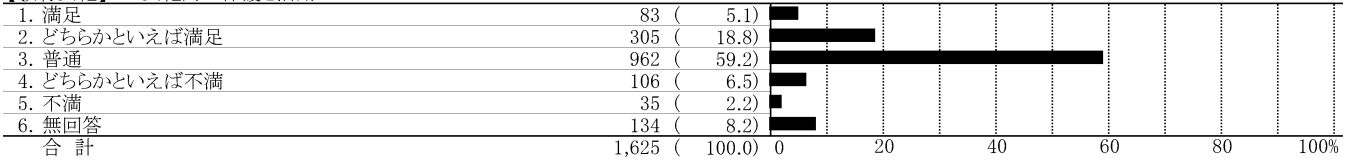
問54. まちづくりについて「現在の満足度」
【教育文化】13. 生涯学習の促進



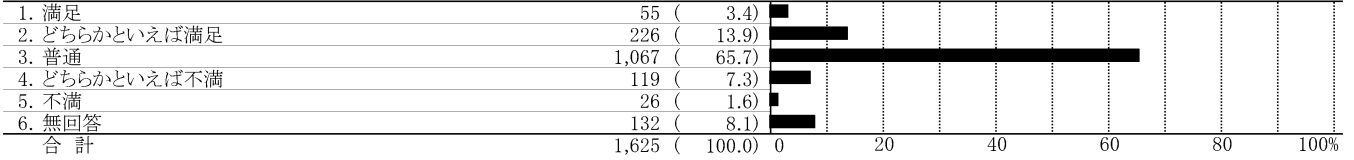
問54. まちづくりについて「現在の満足度」
【教育文化】14. 市民スポーツ社会の促進



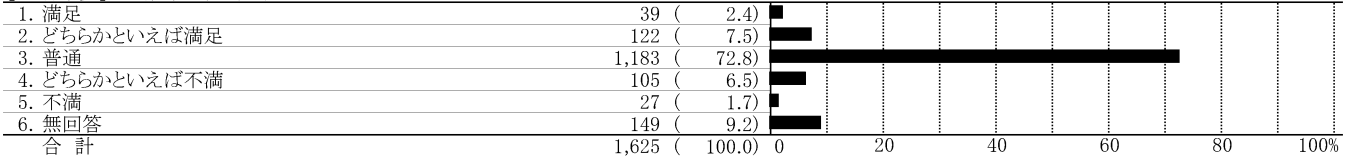
問54. まちづくりについて「現在の満足度」
【教育文化】15. 文化財の保護と活用



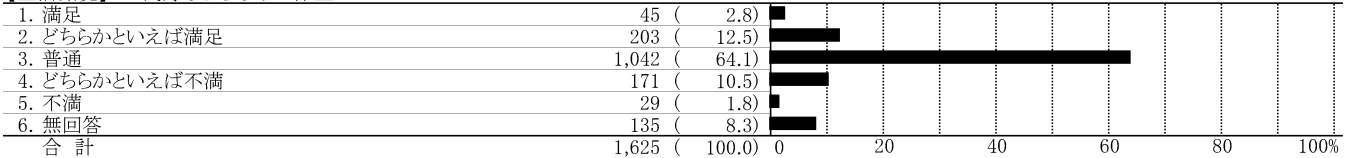
問54. まちづくりについて「現在の満足度」
【生活環境】16. 自然と生活環境の調和



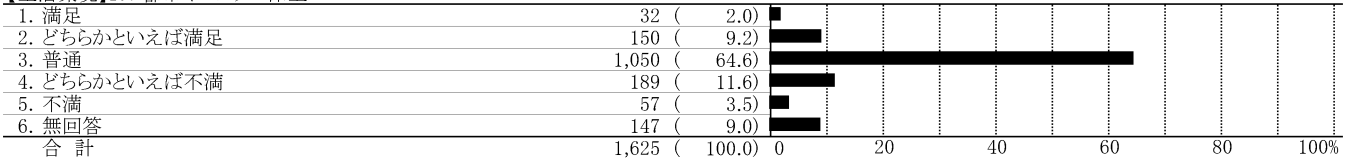
問54. まちづくりについて「現在の満足度」
【生活環境】17. 循環型社会の促進



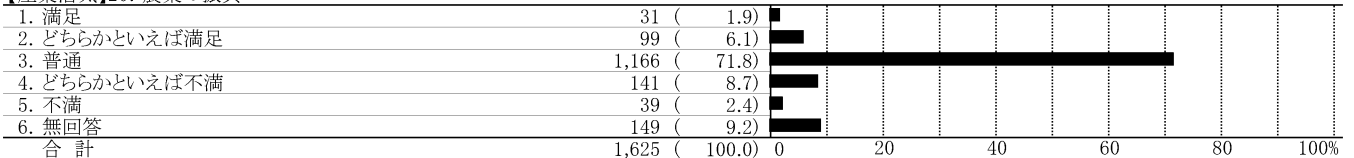
問54. まちづくりについて「現在の満足度」
【生活環境】18. 良好なまちなみの保全



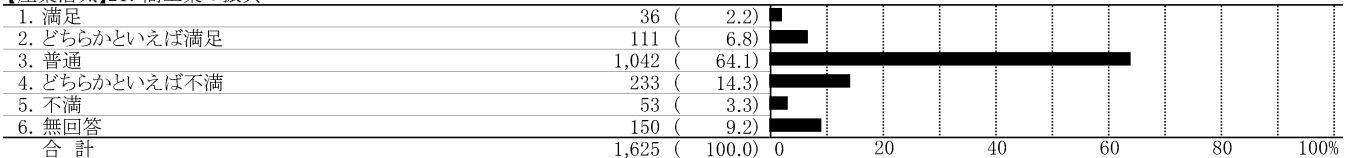
問54. まちづくりについて「現在の満足度」
【生活環境】19. 都市インフラの保全



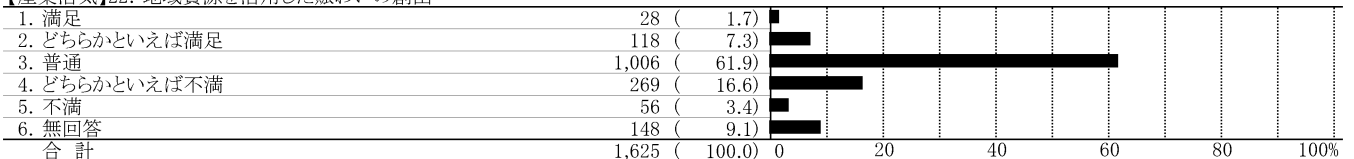
問54. まちづくりについて「現在の満足度」
【産業活気】20. 農業の振興



問54. まちづくりについて「現在の満足度」
【産業活気】21. 商工業の振興

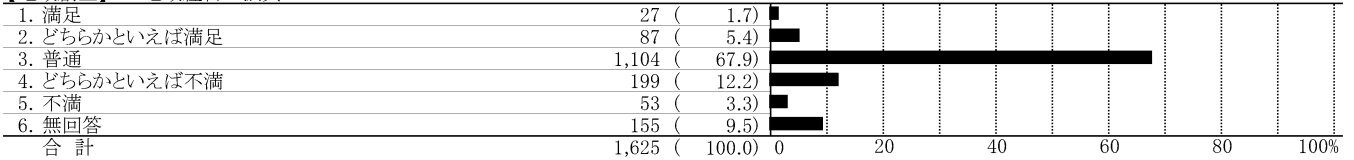


問54. まちづくりについて「現在の満足度」
【産業活気】22. 地域資源を活用した賑わいの創出



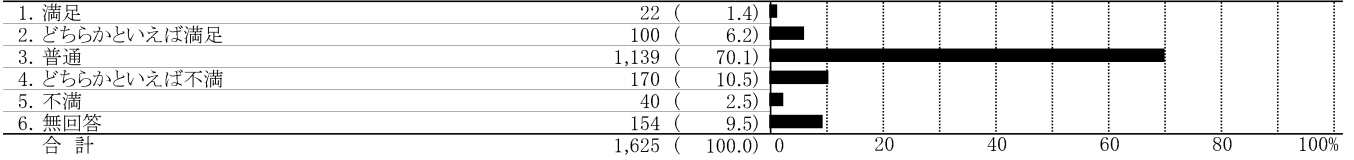
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【地域創生】23. 地域経営の振興



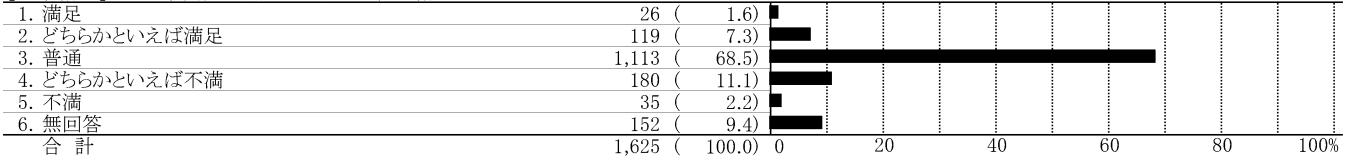
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【地域創生】24. 多様な主体との連携・協働によるまちづくりの推進



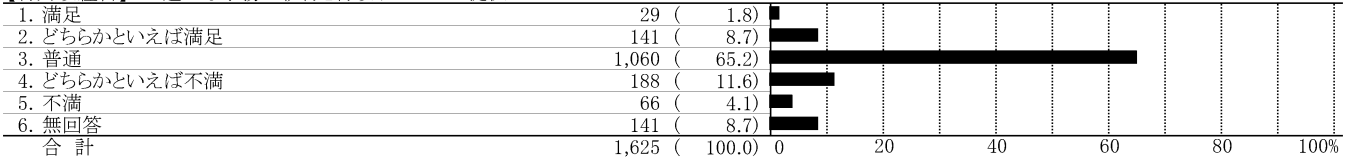
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【地域創生】25. 地域資源を活用した市民文化の創造



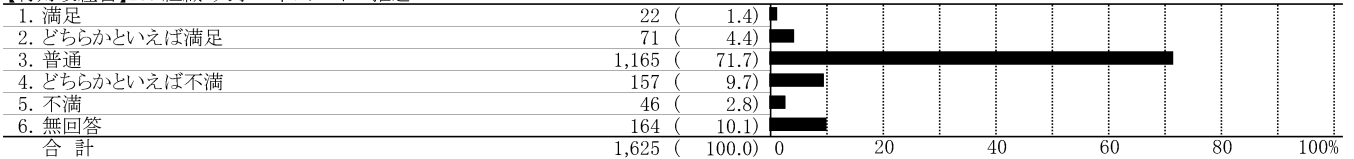
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【行財政経営】26. 適正な事務の執行と行政サービスの提供



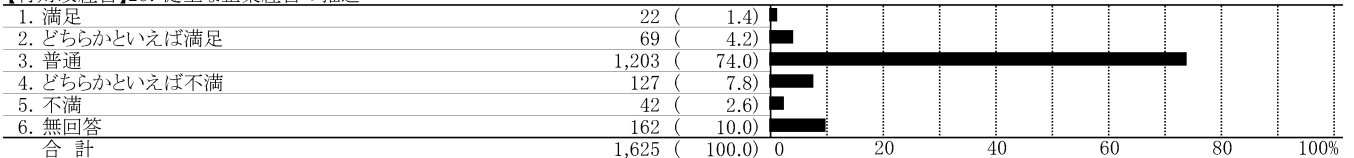
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【行財政経営】27. 組織・人事マネジメントの推進



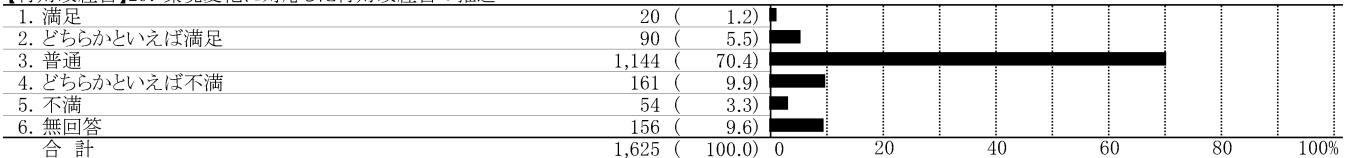
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【行財政経営】28. 健全な企業経営の推進



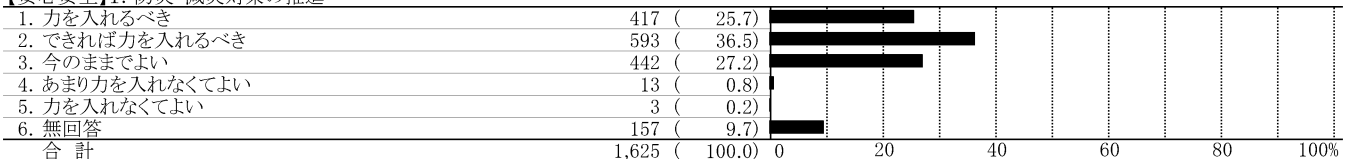
問54. まちづくりについて「現在の満足度」

【行財政経営】29. 環境変化に対応した行財政経営の推進



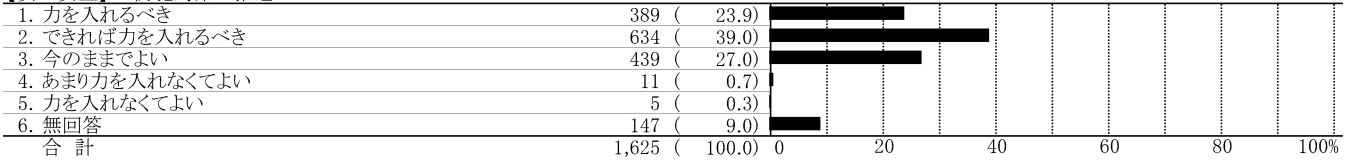
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【安心安全】1. 防災・減災対策の推進



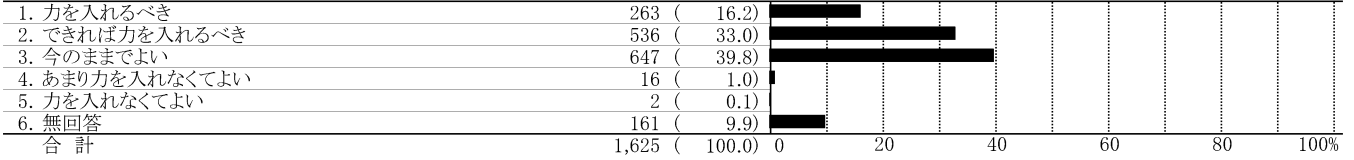
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【安心安全】2. 防犯対策の推進



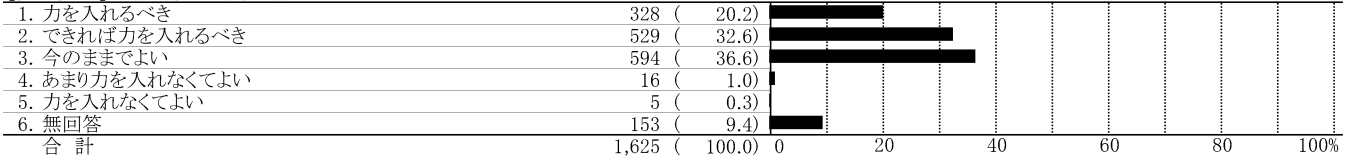
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【安心安全】3. 安全な消費生活の確保



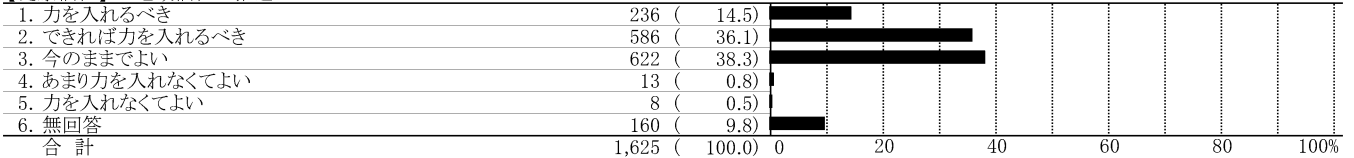
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【安心安全】4. 交通安全対策の推進



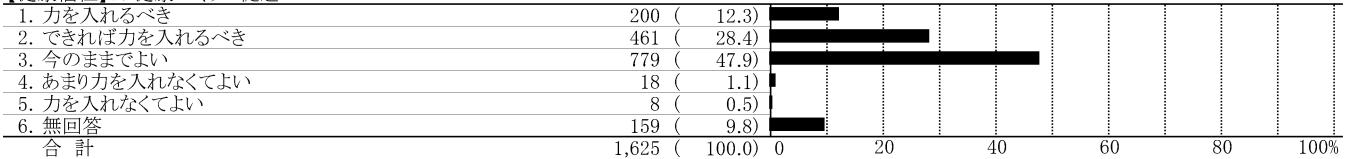
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【健康福祉】5. 地域福祉の推進



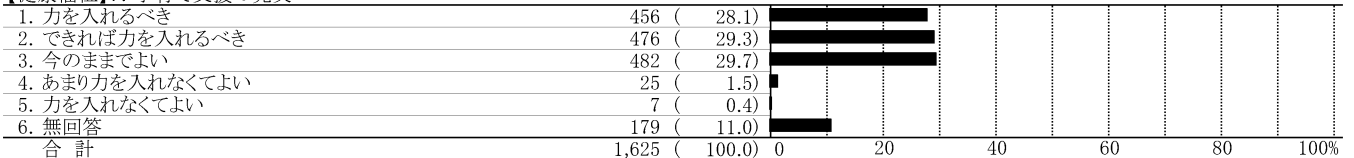
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【健康福祉】6. 健康づくりの促進



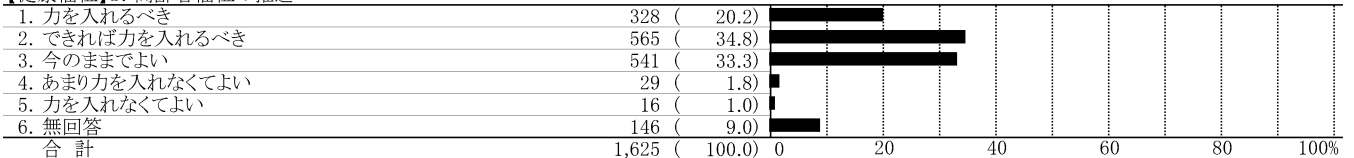
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【健康福祉】7. 子育て支援の充実



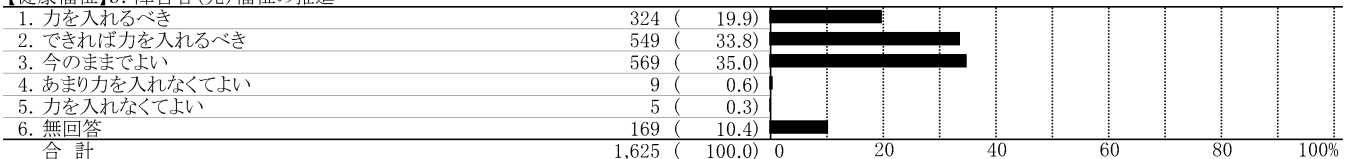
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【健康福祉】8. 高齢者福祉の推進



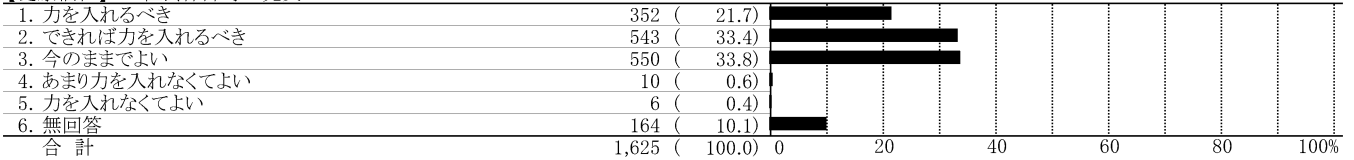
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【健康福祉】9. 障害者(児)福祉の推進



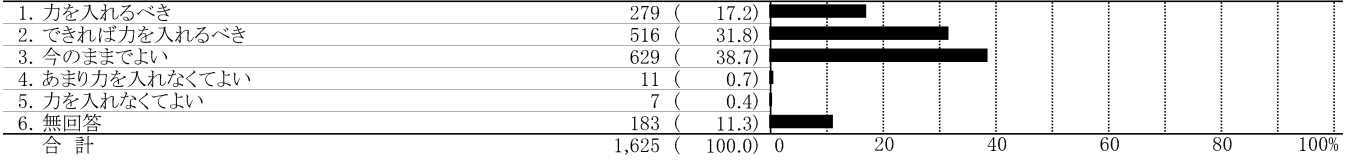
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【健康福祉】10. 社会保障等の充実



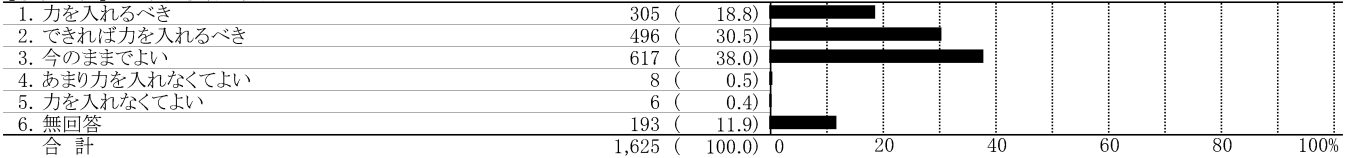
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【教育文化】11. 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上



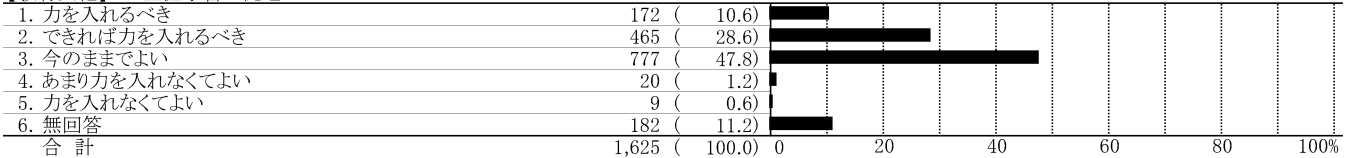
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【教育文化】12. 学校教育の充実



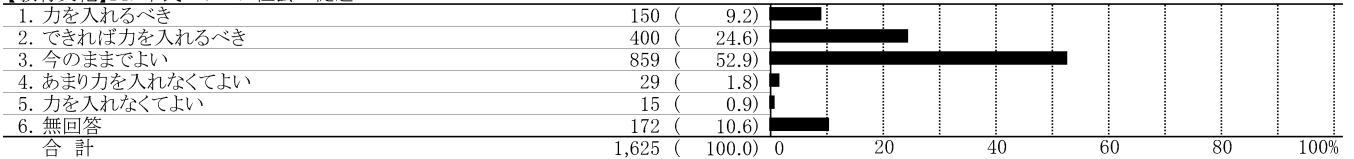
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【教育文化】13. 生涯学習の促進



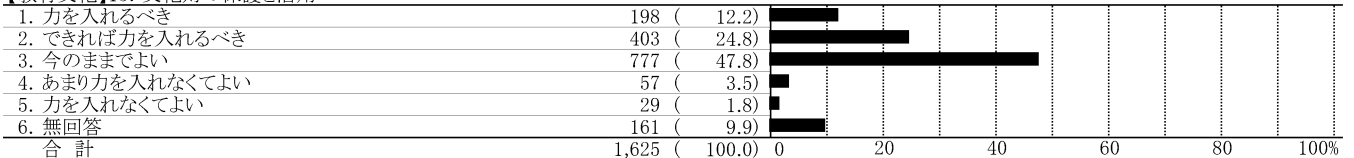
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【教育文化】14. 市民スポーツ社会の促進



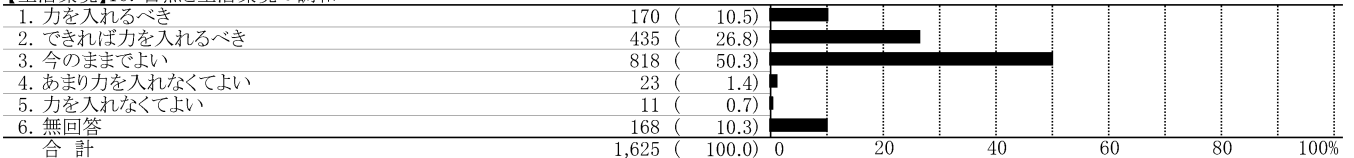
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【教育文化】15. 文化財の保護と活用



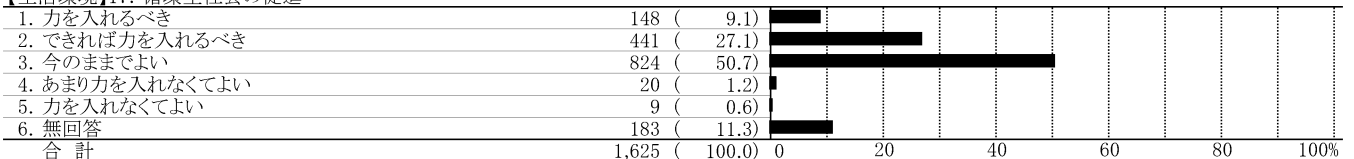
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【生活環境】16. 自然と生活環境の調和



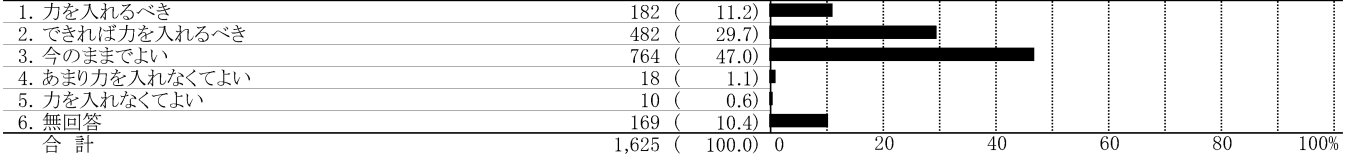
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【生活環境】17. 循環型社会の促進



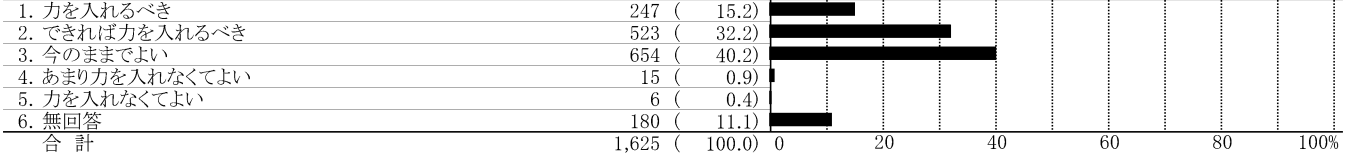
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【生活環境】18. 良好なまちなみの保全



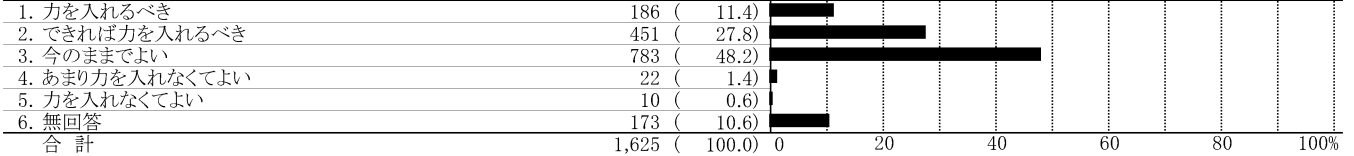
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【生活環境】19. 都市インフラの保全



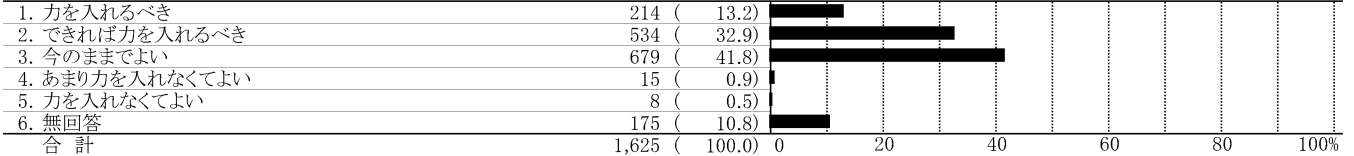
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【産業活気】20. 農業の振興



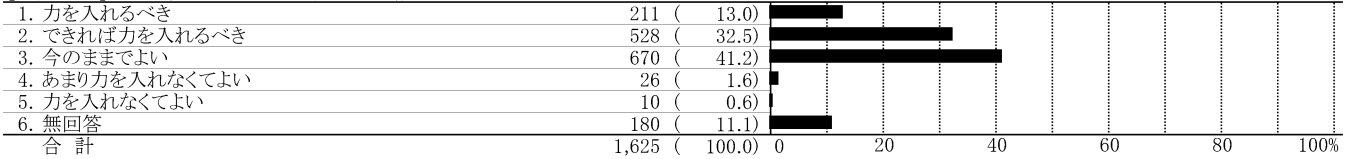
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【産業活気】21. 商工業の振興



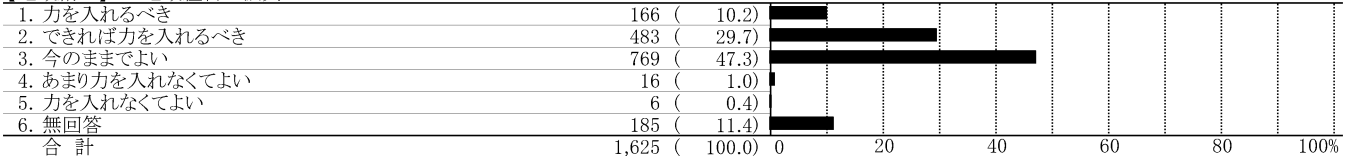
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【産業活気】22. 地域資源を活用した販賣の創出



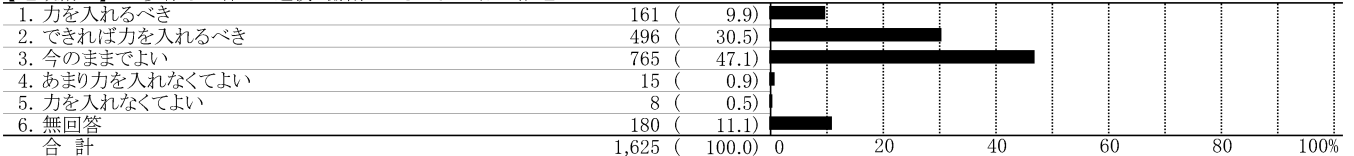
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【地域創生】23. 地域経営の振興



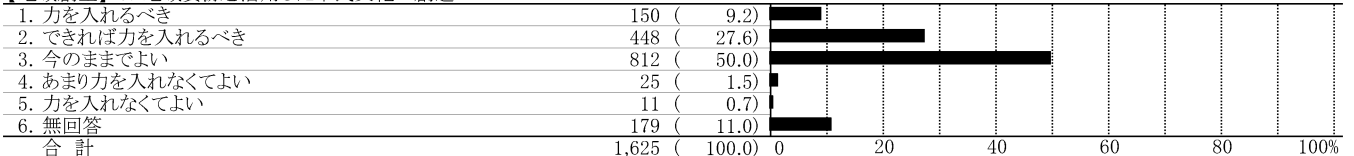
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【地域創生】24. 多様な主体との連携・協働によるまちづくりの推進



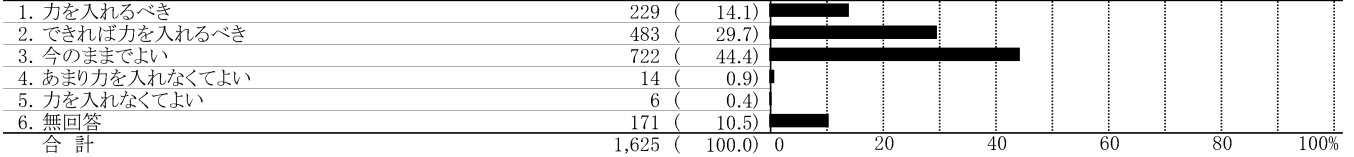
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【地域創生】25. 地域資源を活用した市民文化の創造



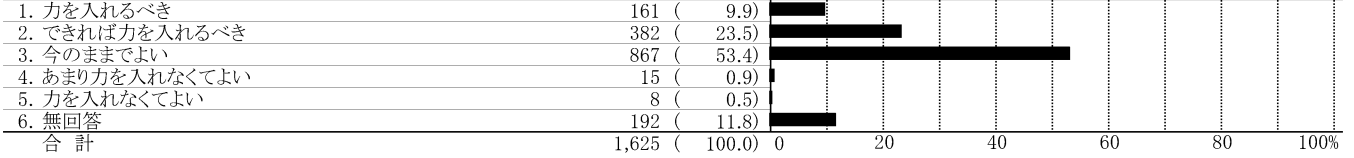
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【行財政経営】26. 適正な事務の執行と行政サービスの提供



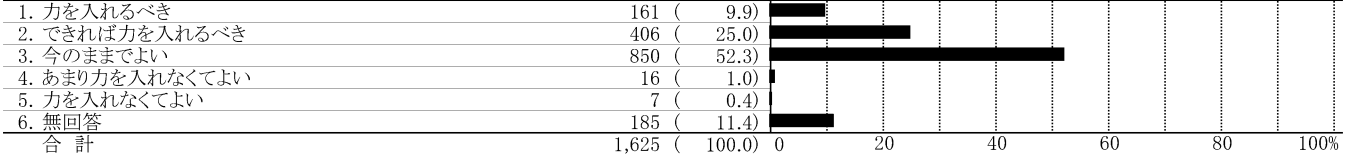
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【行財政経営】27. 組織・人事マネジメントの推進



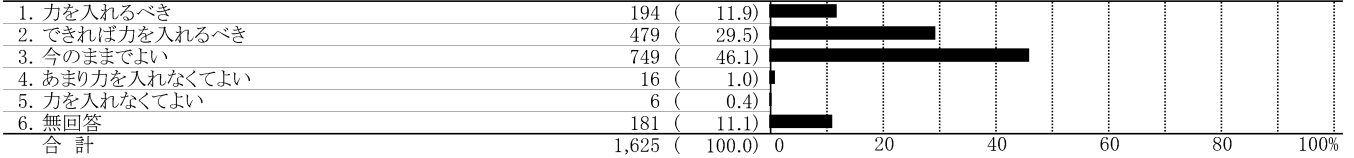
問54. まちづくりについて「今後の重要度」

【行財政経営】28. 健全な企業経営の推進

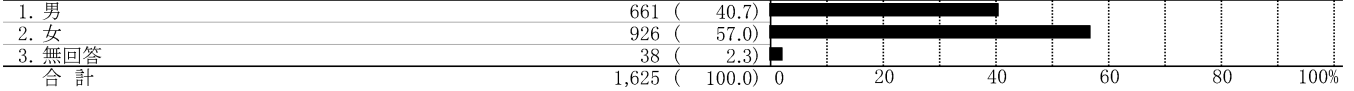


問54. まちづくりについて「今後の重要度」

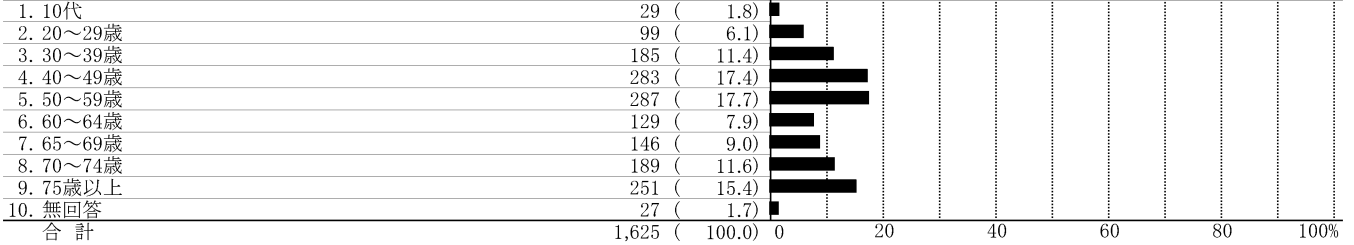
【行財政経営】29. 環境変化に対応した行財政経営の推進



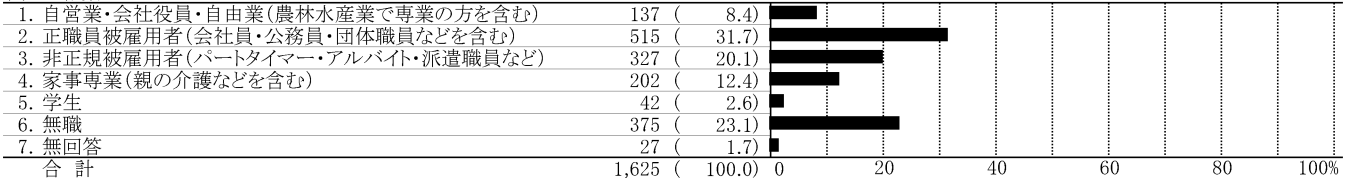
問55. 性別



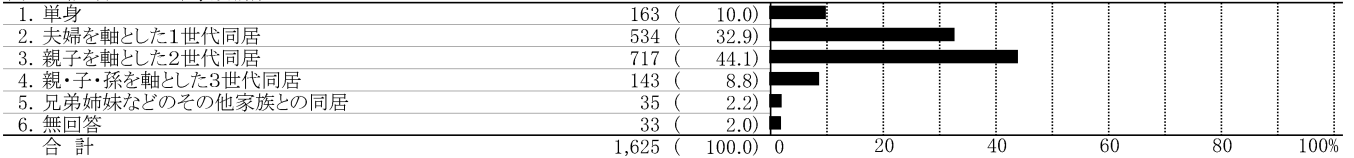
問56. 年齢



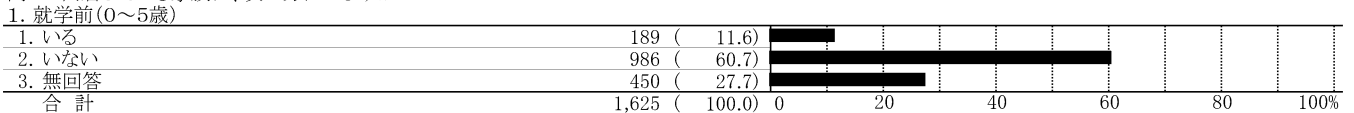
問57. 職業



問58. (同居している)家族構成



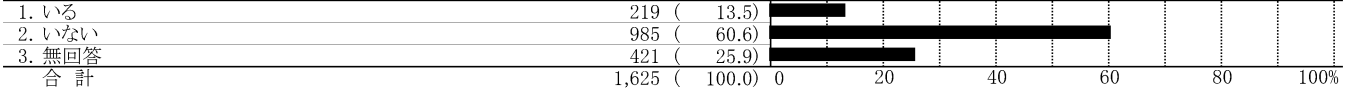
問59. 同居している家族に、次の方はいますか



多賀城市 まちづくりアンケート

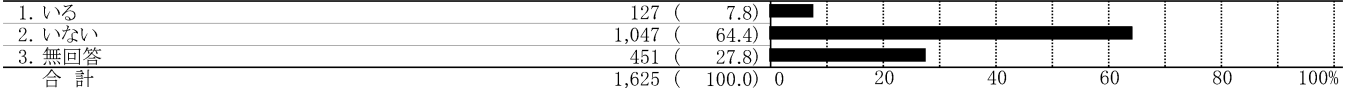
問59. 同居している家族に、次の方はいますか

2. 小学生



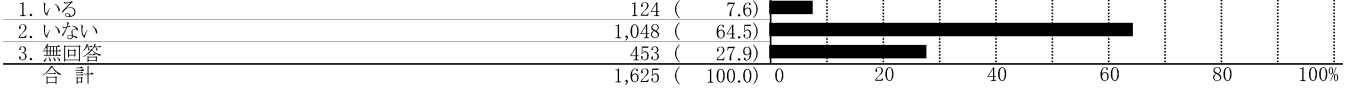
問59. 同居している家族に、次の方はいますか

3. 中学生



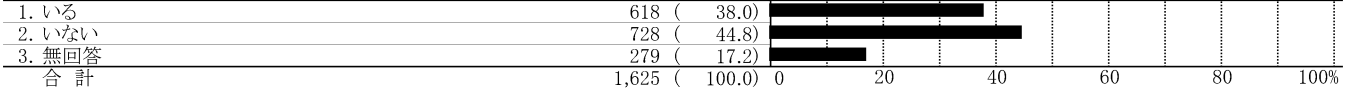
問59. 同居している家族に、次の方はいますか

4. 高校生



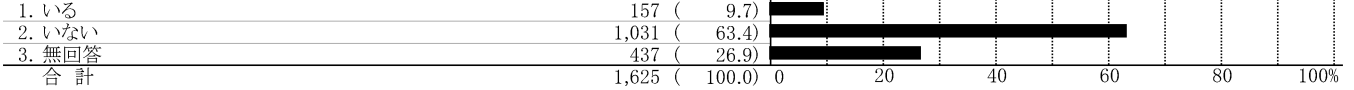
問59. 同居している家族に、次の方はいますか

5. 65歳以上の方

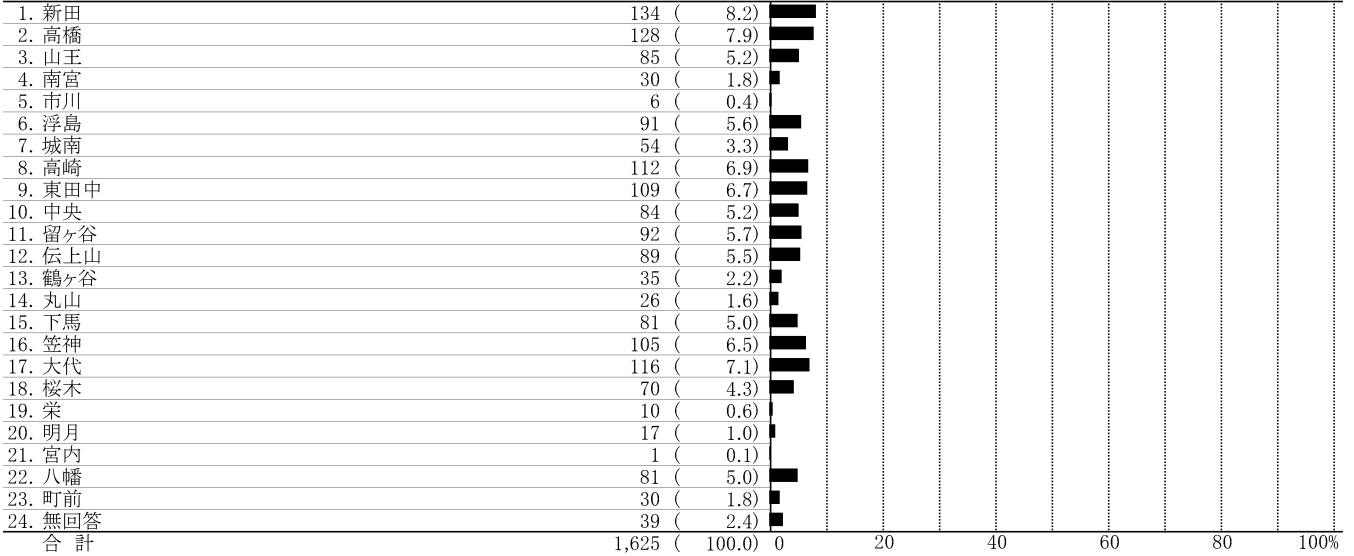


問59. 同居している家族に、次の方はいますか

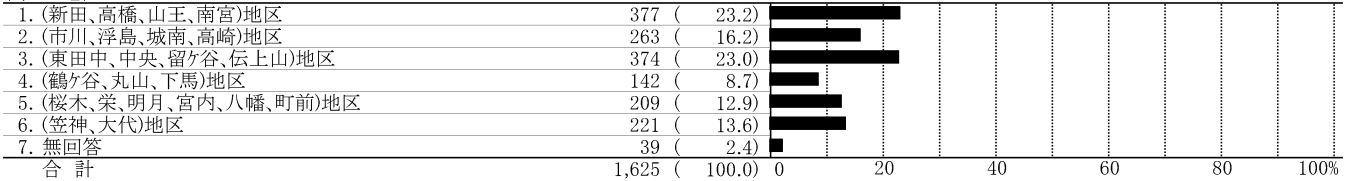
6. 障害のある方



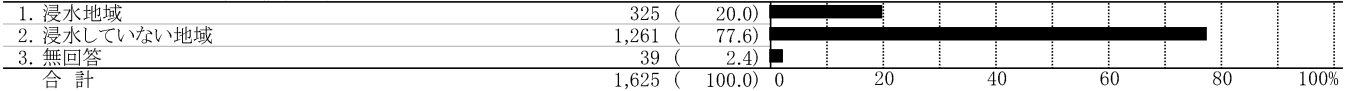
問60. 地区



問60. 地区



問60. 東日本大震災での浸水被害の有無



問61. 主にどの駅を利用していますか

